熊谷市地域公共交通網形成計画（案）

【平成 27 年第２回地域公共交通会議】

平成 27 年 11 月 25 日

【 目 次 】

序　はじめに ……1
序－１　計画策定の目的 ……1
序－２　計画策定フロー ……1

１　熊谷市内の公共交通に関する現況整理 ……2
１－１　地域特性の整理 ……2
１－２　既存公共交通の現状把握 ……7
１－３　連携計画における施策の達成状況の整理 ……22
１－４　上位計画での公共交通に関する位置付けの整理及び関連計画との整合性 ……23
１－５　秩父鉄道新駅及びラグビーワールドカップ 2019 ……25

２　地域住民のニーズ把握 ……26
２－１　熊谷市公共交通に関する市民アンケート調査 ……26
２－２　ゆうゆうバス利用者アンケート調査 ……41
２－３　秩父鉄道新駅の利用に関するアンケート調査 ……50

３　本市を取り巻く社会的要因の検証 ……56
３－１　公共交通を取り巻く課題の整理 ……56
３－２　新たな交通結節点の必要性の検証 ……61
３－３　望ましい公共交通網のあり方 ……62

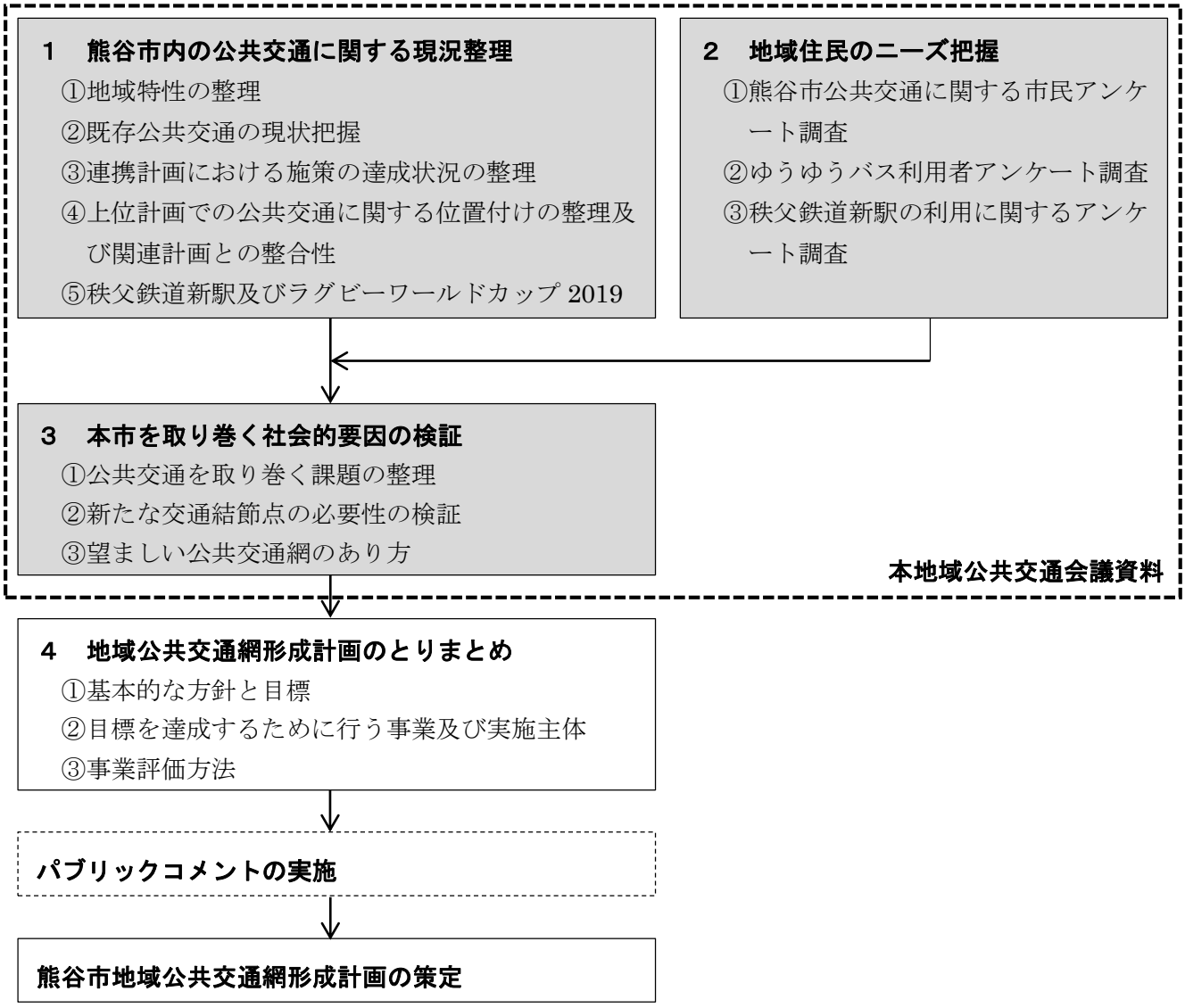
序　はじめに

序－１　計画策定の目的

人口減少及び少子高齢化社会に対応した本市の公共交通ネットワークのあり方について、秩父鉄道新駅設置及びラグビーワールドカップ 2019 開催という要素も加味して検討し、「熊谷市地域公共交通総合連携計画（平成 23 年３月策定）」を継承しつつ、複数の交通モードの連携、行田市域との連携も含めた広域性の検討、新交通システム等の視点を取り入れ、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成１９年法律第５９号。以下「法」という。）第５条第１項に規定する地域公共交通網形成計画（以下「網形成計画」という。）を作成する。

序－２　計画策定フロー

■計画策定フロー



１　熊谷市内の公共交通に関する現況整理

１－１　地域特性の整理

（１）位置・地形

熊谷市は、関東平野の中央、埼玉県の北部、東京都心から 50～70 ㎞圏に位置し、東は行田市、鴻巣市、西は深谷市、南は東松山市、吉見町、滑川町、嵐山町、北は群馬県に接している。

市域は東西に約 14 ㎞、南北に約 20 ㎞、面積は 159.82 ㎢であり、埼玉県内では５番目に広い面積となっている。市域の大半は平坦な地形で、西部は櫛挽台地、南部は江南台地及び比企丘陵の一部となっており、また、利根川・荒川という日本を代表する二大河川が流れ、豊かな水と肥沃な大地により、自然環境が形成されている。

■熊谷市の位置

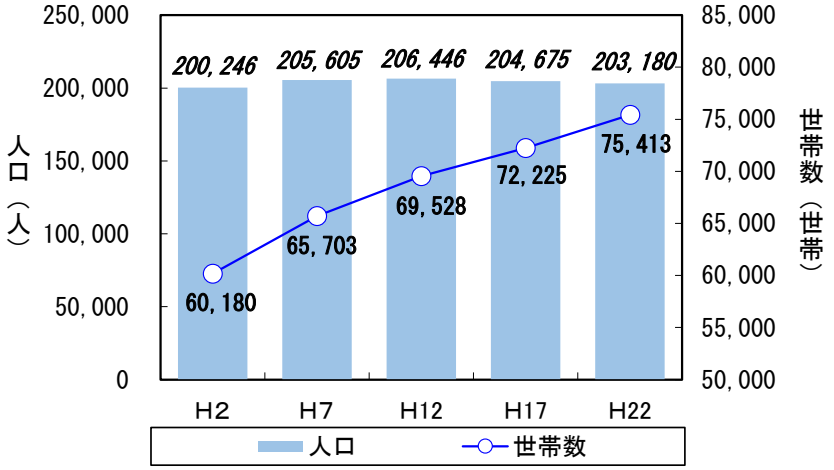


（２）人口動向

①総人口・世帯数の推移

熊谷市の総人口は平成 12 年頃をピークに微減傾向で、最新の国勢調査である平成 22 年時点では 203,180 人となっている。その一方で、世帯数は年々増加傾向にあるため、１世帯当り人員は減少傾向にあり、平成 22 年時点で 2.7 人/世帯となっており、核家族化が進行している。

■総人口及び世帯数の推移



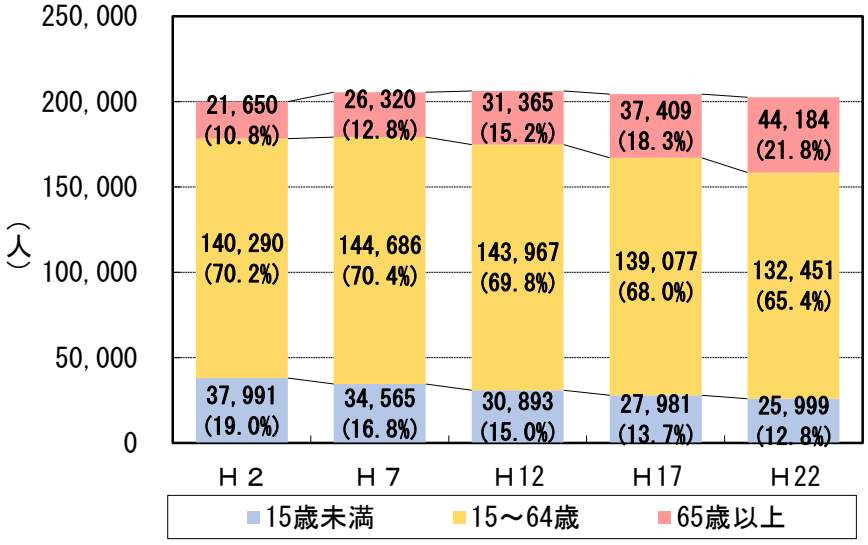
資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

※平成 17 年以前は熊谷市、妻沼町、大里町（村）、江南町を合算している。

②年齢３区分別人口の推移

平成 22 年における年齢別人口構成は、年少人口（０～14 歳）割合が 12.8%、生産年齢人口（15～64 歳）割合が 65.4%、老年人口（65 歳以上）割合が 21.8%と少子高齢化が進展しており、老年人口は 20 年間（平成２年～平成 22 年）で 2.04 倍と大幅に増加している。

■年齢３区分人口構成数（率）の推移



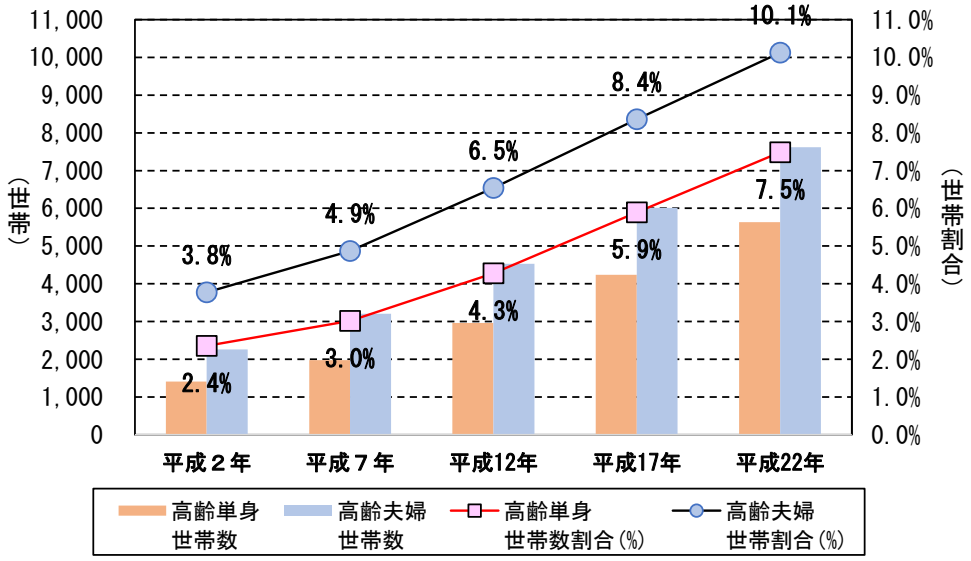
資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

※上段が実数、下段が構成比を示す。年齢不詳は含まない。

③高齢者世帯

高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯数は一貫して増加傾向にあり、平成 22 年にはそれぞれ全世帯の 7.5%、10.1%を占めており、日常生活の足の確保の重要性が高まっている。

■高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯の推移



資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

※高齢単身世帯：65 歳以上の人一人のみの一般世帯をいう。

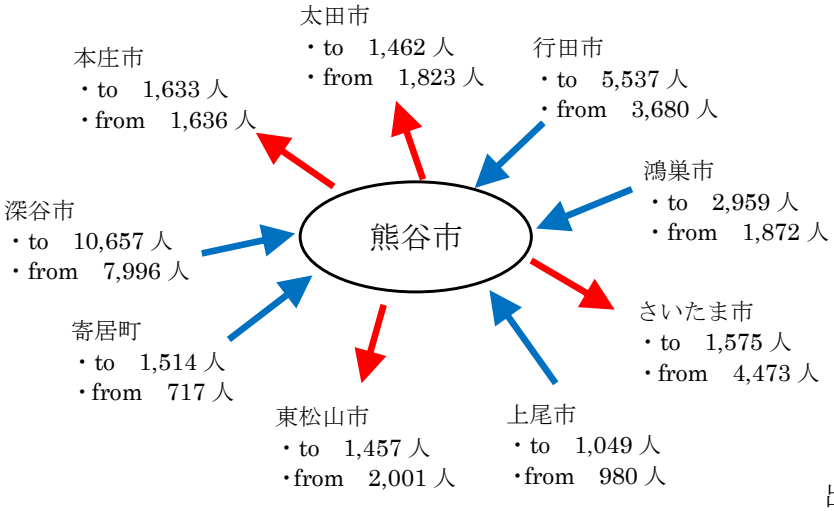
高齢夫婦世帯：夫 65 歳以上，妻 60 歳以上の夫婦 1 組のみの一般世帯をいう。

（３）交通手段特性

１）通勤・通学流動

通勤・通学流動を見ると、流入･流出の両方が 2,000 人を超えている自治体は、行田市、深谷市の隣接自治体で、両市ともに流入が流出を上回っている。

■通勤・通学状況（to（熊谷市へ）流出が 1,000 人を超える市町）



	熊谷市へ (to)	熊谷市から (from)	移動者比較 (to−from)
さいたま市	1,575	4,473	−2,898
行田市	5,537	3,680	1,857
本庄市	1,633	1,636	−3
東松山市	1,457	2,001	−544
鴻巣市	2,959	1,872	1,087
深谷市	10,657	7,996	2,661
上尾市	1,049	980	69
寄居町	1,514	717	797
太田市	1,462	1,823	−361

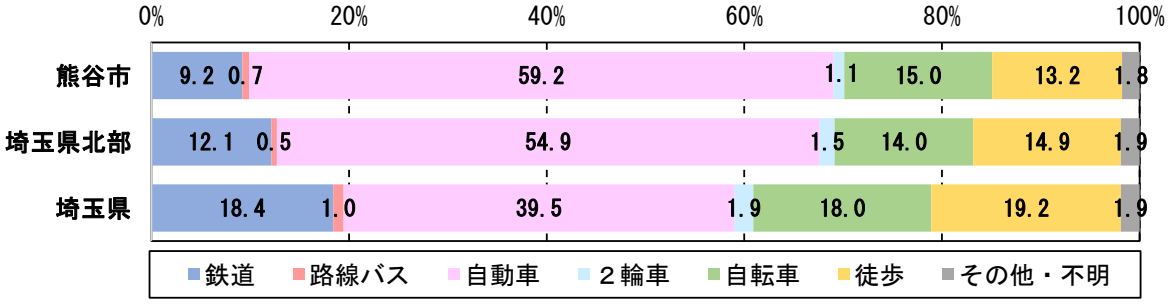
出典：国勢調査（平成 22 年）

2）東京都市圏ＰＴ調査による交通手段特性

①代表交通手段

熊谷市の代表交通手段分担率（平成 20 年）は、自動車分担率が 59.2%と最も多く、次いで自転車（15.0%）、徒歩（13.2%）、鉄道（9.2%）の順で、路線バスは 0.7%と少ない。また、埼玉県北部、埼玉県全域と比較しても、自動車が高く、鉄道、徒歩が少なくなっており、自動車への依存度が高いことが伺えられる。

■平成 20 年代表交通手段別分担率（全目的、発生集中交通量）



②鉄道駅端末交通手段

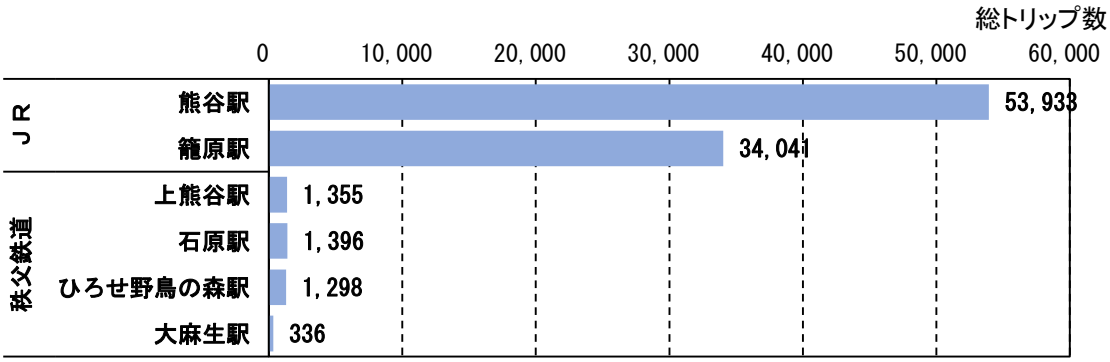
端末交通手段総トリップ数は、熊谷駅が 53,933 トリップと全体の 58.4%を占め、次いで籠原駅が 34,041 トリップで、両駅で 95.3%を占めている。

端末交通手段分担率（平成 20 年）を見ると、熊谷駅は徒歩、自転車が多く、次いで路線バスと乗用車が同程度となっており、籠原駅は徒歩、乗用車、自転車が多い。

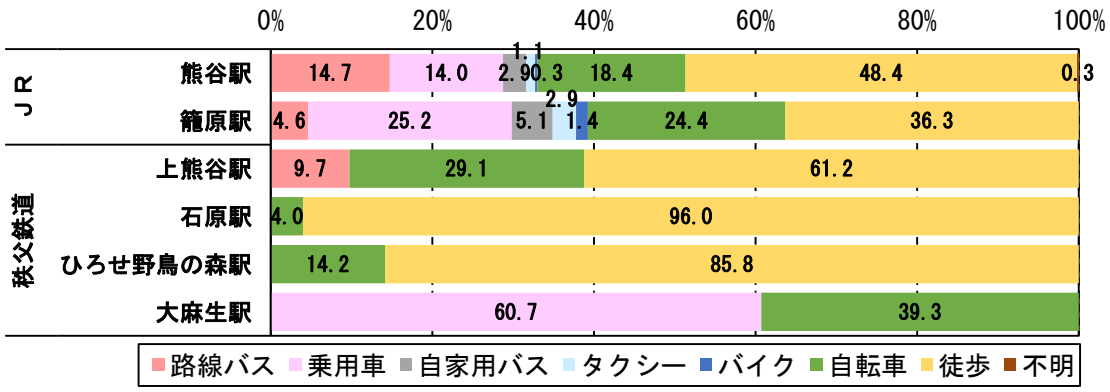
上熊谷駅、石原駅及びひろせ野鳥の森駅はほぼ徒歩または自転車の利用、大麻生駅は乗用車または自転車の利用となっている。

熊谷駅と籠原駅は端末交通手段トリップ数も多く、交通手段も路線バスや乗用車で移動する割合が高いため、秩父鉄道各駅と比較して広域的な利用であることが伺えられる。

■鉄道駅別端末交通手段総トリップ数（平成 20 年）

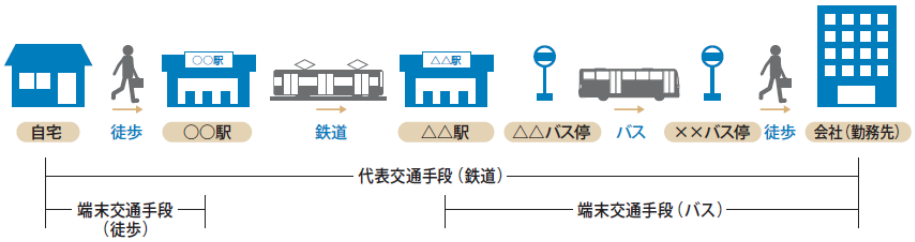


■鉄道駅別端末交通手段分担率（平成 20 年）



（参考）代表交通手段と端末交通手段とは

１つのトリップ※の中で、いくつかの交通手段を乗り換えた場合、そのトリップの中の主な交通手段を代表交通手段、出発地・目的地と代表交通手段をつなぐ交通手段を端末交通手段という。主な交通手段の集計上の優先順位は、鉄道→バス→自動車→二輪車、徒歩の順としている。下図の場合、鉄道が代表交通手段で、自宅から鉄道駅（徒歩）と鉄道駅から会社（バス）までの交通手段が端末交通手段となる。



※トリップ：人がある目的を持って、ある地点からある地点への移動する単位で、１回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても１トリップと数える。

３）自動車保有台数

自動車保有台数の５年間の増減を見ると、総人口は横ばいであるが、主に自家用に使用される割合が高い乗用車と軽自動車の合計では 1.03 倍と増加傾向にあり、依然として自動車への依存度が高い。

■自動車保有台数の推移

	乗用車	軽自動車	合計（乗用車＋軽自動車）	（参考）総人口※
平成22年	85,123	47,142	132,265	202,532
平成23年	84,582	49,354	133,936	201,523
平成24年	84,370	50,240	134,610	203,624
平成25年	83,773	51,618	135,391	202,539
平成26年	83,000	53,737	136,737	201,787
伸び率（H26/H22）	0.98	1.14	1.03	1.00

出典：関東運輸局埼玉運輸支局熊谷自動車検査登録事務所、熊谷市市民税課

※住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

１－２　既存公共交通の現状把握

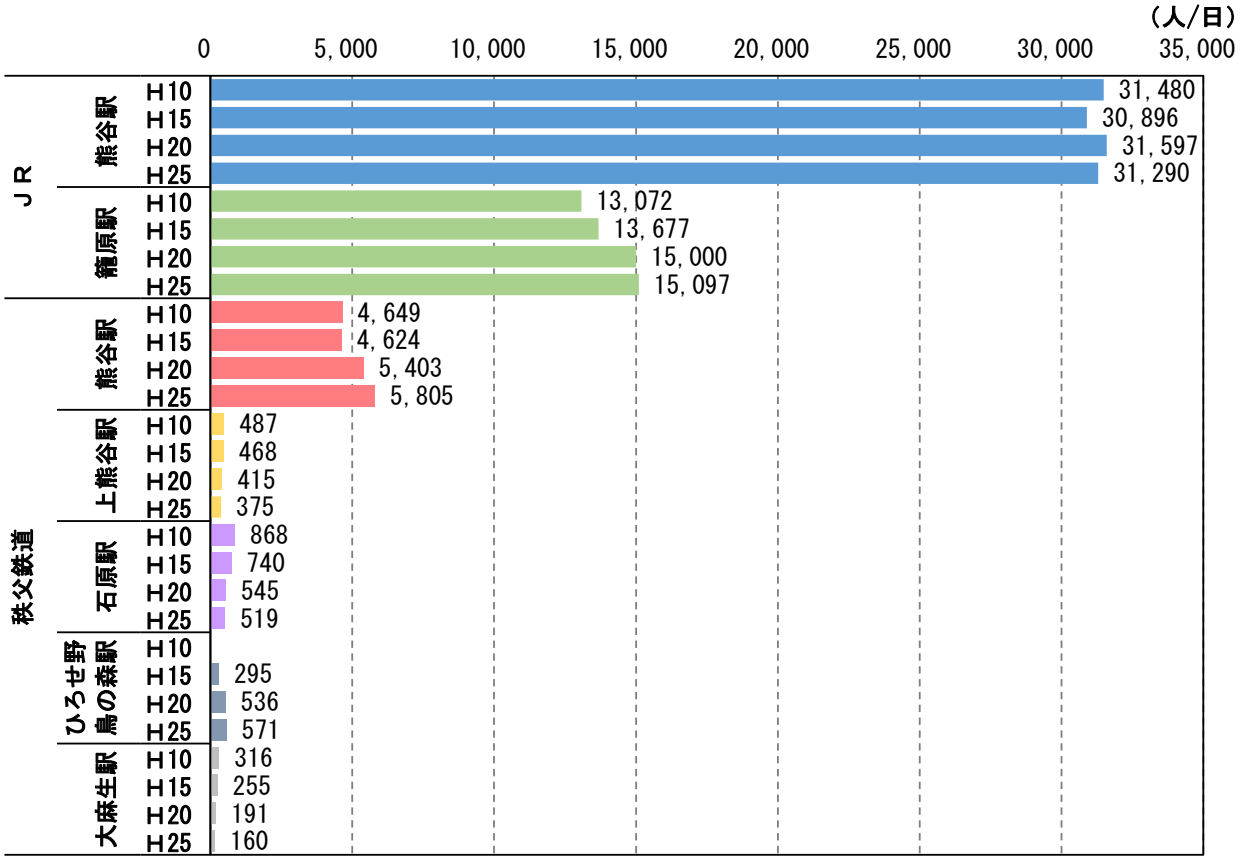
（１）鉄道

熊谷市内の鉄道はJR上越・北陸新幹線やJR高崎線、秩父鉄道が東西方向に走り、本市の公共交通の主要な結節点となっている熊谷駅やJR高崎線の始発駅でもある籠原駅、秩父鉄道の各駅を有している。

駅別１日平均利用者数（平成25年）をみると、熊谷駅が37,095人/日（JR熊谷駅31,290人と秩父鉄道熊谷駅5,805人との合計）と最も多く、また、籠原駅の利用者数は増加傾向にある。

なお、平成27年３月の上野東京ラインと北陸新幹線の開業や、秩父鉄道新駅の計画もあり、本市の鉄道に関する状況には変化が見られる。

■駅別１日平均利用者数の推移



資料：東日本旅客鉄道㈱、秩父鉄道㈱

※秩父鉄道ひろせ野鳥の森駅は平成15年３月27日開業

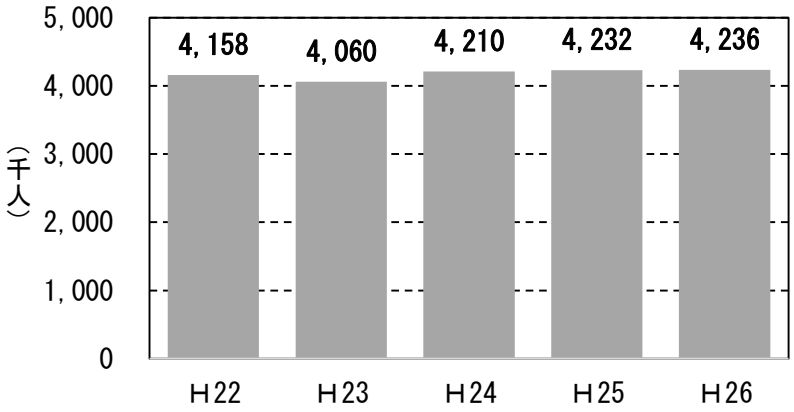
（２）民間路線バス

民間路線バスは熊谷駅を起点として、籠原駅、深谷駅、東松山駅、小川駅などと結んでいる国際十王交通㈱が運行する路線、市内の妻沼地区、群馬県の太田駅及び西小泉駅などを結ぶ朝日自動車㈱による路線、熊谷－太田シャトルバスなど 29 系統が運行している。

しかし、平成５年に秩父鉄道観光バスの路線バス事業からの撤退を皮切りに、平成 17 年に熊谷駅と深谷市の本畠車庫を結ぶ路線が、平成 21 年には熊谷駅と滑川町の森林公園駅を結ぶ路線の一部が、平成 27 年には熊谷駅と行田市の行田車庫を結ぶ路線が廃止となっている。

国際十王交通㈱と朝日自動車㈱の運賃は対距離運賃制度で、熊谷駅と籠原駅周辺より近距離区間において 100 円区間を運用している。

■民間路線バスの年間利用者数の推移



※資料：バス事業者データ提供（国際十王交通㈱と朝日自動車㈱のみの合算）

■民間路線バスの日運行本数

事業者名	起点	区間	平日	休日
国際十王交通㈱	熊谷駅	熊谷駅～小川町駅・循環器病センター	44.5 本	33 本
		熊谷駅～深谷駅	6.5 本	5.5 本
		熊谷駅～籠原駅	31 本	25.5 本
		熊谷駅～新島車庫	25 本	17 本
		熊谷駅～上岡～東松山駅	73.5 本	52.5 本
		熊谷駅～南河原支所～犬塚	20 本	15.5 本
		熊谷駅～平塚～立正大学	90 本	51.5 本
		熊谷駅～くまがやドーム	18 本	25.5 本
		熊谷駅～熊谷スポーツ文化公園（ラグビー場）	2.5 本	－
		熊谷駅～中条学校～葛和田	21 本	16.5 本
		熊谷駅～森林公園西口～森林公園駅	２本	２本
		熊谷駅～箱田車庫	13.5 本	－
朝日自動車㈱	熊谷駅	熊谷駅～西小泉駅	８本	６本
		熊谷駅～太田駅	39.5 本	30 本
		熊谷駅～妻沼聖天前	29 本	16.5 本
		熊谷駅～妻沼（旧道経由）	25.5 本	19 本
		熊谷駅～妻沼（バイパス経由）	43 本	30.5 本
㈱矢島タクシー	熊谷駅	シャトル 500（熊谷駅～太田駅）	23 本	17 本
国際十王交通㈱	籠原駅	籠原駅～深谷日赤病院	33 本	28 本

■公共交通路線図



※１　主な公共施設：バス路線上にある主な公共施設
※２　大規模店舗：延床面積 5,000 ㎡以上（資料：大型小売店総覧 2011）
※３　病院：病床数 20 床以上（資料：埼玉県ホームページ）
※４　主な公園・緑地：面積約 10ha 以上

（3）ゆうゆうバス

1）運行サービス概要

ゆうゆうバスは民間路線バスを補完しつつ、移動制約者や来訪者の足を確保するため、平成 11 年 10 月から本格運行を開始し、その後、地域の要望等により運行ルートの見直しを随時行い、平成 17 年 10 月には、旧大里町及び旧妻沼町との合併を受けコミュニティバス路線を抜本的に見直し、4 路線を運行している。

さらに、平成 22 年度に策定した「熊谷市地域公共交通総合連携計画」に基づき、平成 23 年 10 月からは、平成 19 年に合併した旧江南町と熊谷駅・籠原駅を結ぶ路線と、熊谷駅を中心に中心市街地を循環する路線の 2 路線の運行を開始している。

■ゆうゆうバスの運行サービス　　※運行車両数：7 台

路線名	運行日	運行時間帯	運行本数	運行事業者
さくら号	毎日運行（1/1～1/3 運休）	6：35～21：08	5 往復/日	㈱協同観光バス
グライダー号（時計回り）		6：45～21：59	5 本/日	
ムサシトミヨ号（反時計回り）		6：35～21：08	5 本/日	
ひまわり号		6：30～21：15	12 往復/日	北斗交通㈱
ほたる号		6：20～20：09	6 本/日	国際十王交通㈱
直実号		7：50～17：50	11 本/日	

【運賃】

○1 回：100 円

○1 日乗車券：300 円

○回数券（11 枚綴り）：1,000 円

※運賃無料対象者：未就学児、障害者手帳を所持している方及びその介助・付添人 1 人、ゆうゆうパス 70 を所持している方（70 歳以上の運転免許返納者）



▲さくら号



▲グライダー号



▲ムサシトミヨ号



▲ひまわり号（H28.2 に更新予定）

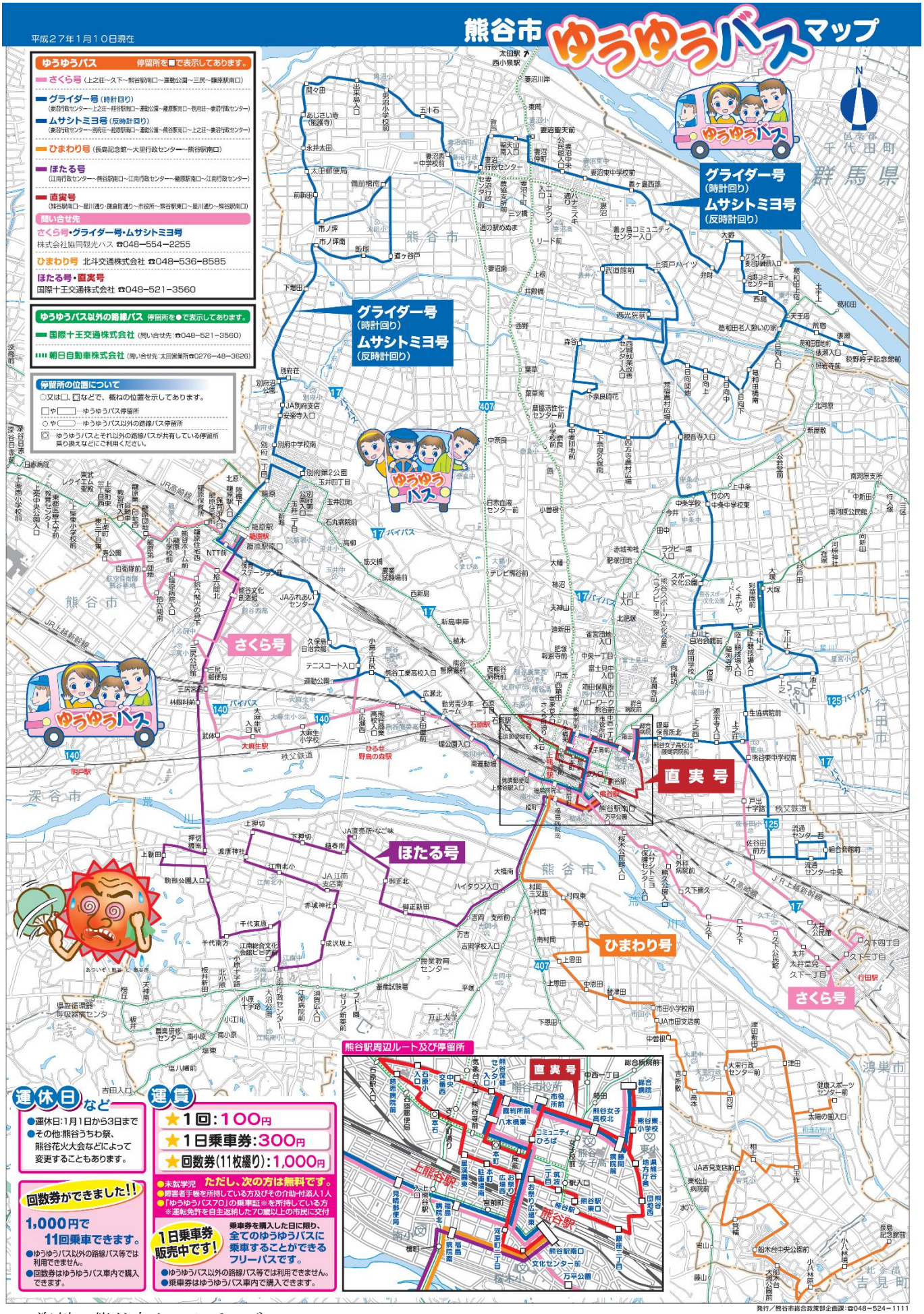


▲ほたる号



▲直実号

■ゆうゆうバスの運行ルート図



資料：熊谷市ホームページ

熊谷市 ゆうゆうバス時刻表

運賃
- ★1回：100円
- ★1日乗車券：300円
- ★回数券(11枚綴り)：1,000円

●未就学児　ただし、次の方は無料です。
●障害者手帳を所持している方及びその介助・付添人1人
●「ゆうゆうパス70」の乗車証※を所持している方
※運転免許を自主返納した70歳以上の市民に交付

回数券ができました!!
1,000円で11回乗車できます。
●ゆうゆうバス以外の路線バス等では利用できません。
●回数券はゆうゆうバス車内で購入できます。

さくら号

上之荘→久下→熊谷駅南口→運動公園→三尻→籠原駅南口

停留所名	1便	2便	3便	4便	5便
上之荘		9:35	13:22	16:31	19:48
熊谷東中学校南		9:36	13:23	16:32	19:49
戸出十字路		9:37	13:24	16:33	19:49
佐谷田前方		9:39	13:26	16:35	19:51
太井公民館		9:43	13:30	16:39	19:54
久下四丁目		9:46	13:33	16:42	19:56
久下三丁目		9:47	13:34	16:43	19:57
久下一丁目		9:49	13:36	16:45	19:59
太井堂免		9:50	13:37	16:46	20:00
太井		9:51	13:38	16:47	20:01
久下公民館	6:35	9:53	13:40	16:49	20:03
下久下	6:36	9:54	13:41	16:50	20:04
上久下	6:37	9:55	13:42	16:51	20:05
久下熊久	6:38	9:56	13:43	16:52	20:06
熊久公園入口	6:39	9:57	13:44	16:53	20:07
外科病院前	6:41	9:59	13:46	16:55	20:09
ムサシトミヨ保護センター入口	6:44	10:02	13:49	16:58	20:12
桜木公民館入口	6:45	10:03	13:50	16:59	20:13
万平公園	6:46	10:04	13:51	17:00	20:14
熊谷駅南口	6:48	10:06到着	13:53	17:03	20:16
総合病院	↓		↓	↓	20:26
藤間病院前	↓		↓	↓	20:28
熊谷女子高校北	↓		↓	↓	20:29
市役所前	↓		↓	↓	20:30
裁判所前	↓		↓	↓	20:31
八木橋東	↓		↓	↓	20:32
熊谷駅南口	↓	10:32	↓	↓	20:40
福島病院北	6:50	10:34	13:55	17:05	
見晴郵便局	6:51	10:35	13:56	17:06	
南運動場	6:52	10:36	13:57	17:07	
堤公園入口	6:53	10:37	13:58	17:08	
勤労青少年ホーム	6:55	10:39	14:00	17:10	
天田屋前	6:56	10:40	14:01	17:11	
熊谷商業高校入口	6:57	10:41	14:02	17:12	
広瀬西	7:00	10:44	14:05	17:15	
運動公園	7:04	10:48	14:09	17:22	
大麻生小学校	↓	10:52	14:13	17:26	
大麻生駅入口	↓	10:53	14:14	17:27	
武体	↓	10:54	14:15	17:28	
三尻宮島	↓	10:56	14:17	17:30	
三尻郵便局	↓	10:57	14:18	17:31	
三尻公民館	↓	10:58	14:19	17:32	
熊谷文化創造館	↓	11:00	14:21	17:34	
拾六間北	↓	11:02	14:23	17:36	
拾六間火の見下	↓	11:04	14:25	17:38	
籠原病院北口	↓	11:05	14:26	17:39	
拾六間南	↓	11:06	14:27	17:40	
自衛隊前	↓	11:08	14:29	17:42	
寿公園	↓	11:10	14:31	17:44	
籠原団地	↓	11:12	14:33	17:46	
籠原保育所	↓	11:14	14:35	17:48	
ＮＴＴ前	↓	11:17	14:38	17:51	
籠原駅南口	7:12	11:18	14:39	17:54	

籠原駅南口→三尻→運動公園→熊谷駅南口→久下→上之荘

停留所名	1便	2便	3便	4便	5便
籠原駅南口	7:15	11:21	14:42	17:57	
ＮＴＴ前	7:16	11:22	14:43	17:58	
籠原保育所	7:18	11:24	14:45	18:00	
籠原団地	7:20	11:26	14:47	18:02	
寿公園	7:23	11:29	14:50	18:05	
自衛隊前	7:25	11:31	14:52	18:07	
拾六間南	7:27	11:33	14:54	18:09	
籠原病院入口	7:28	11:34	14:55	18:10	
拾六間火の見下	7:29	11:35	14:56	18:11	
拾六間北	7:31	11:37	14:58	18:13	
熊谷文化創造館	7:33	11:39	15:00	18:15	
三尻公民館	7:36	11:42	15:03	18:18	
三尻郵便局	7:37	11:43	15:04	18:19	
三尻宮島	7:38	11:44	15:05	18:20	
武体	7:40	11:46	15:07	18:22	
大麻生駅入口	7:41	11:47	15:08	18:23	
大麻生小学校	7:42	11:48	15:09	18:24	
運動公園	7:50	11:51	15:12	18:28	
熊谷文化創造館	7:53	11:54	15:15	18:31	
広瀬西	7:56	11:57	15:18	18:34	
天田屋前	7:58	12:00	15:21	18:37	
勤労青少年ホーム	8:00	12:01	15:22	18:38	
見晴郵便局	8:01	12:02	15:23	18:39	
南運動場	8:03	12:04	15:25	18:41	
堤公園入口	8:04	12:05	15:26	18:42	
八木橋東		12:17	↓	↓	
裁判所前		12:18	↓	↓	
市役所前		12:19	↓	↓	
熊谷女子高校北		12:20	↓	↓	
藤間病院前		12:21	↓	↓	
総合病院		12:23	↓	↓	
熊谷駅南口	8:34	12:33	↓	↓	20:40
万平公園	8:35		15:31	18:48	20:41
桜木公民館入口	8:36		15:32	18:49	20:42
ムサシトミヨ保護センター入口	8:37		15:33	18:50	20:43
外科病院前	8:39		15:35	18:52	20:45
熊久公園入口	8:42		15:38	18:55	20:47
久下熊久	8:43		15:39	18:56	20:48
上久下	8:44		15:40	18:57	20:49
下久下	8:45		15:41	18:58	20:50
久下公民館	8:47		15:43	19:00	20:52
太井	8:49		15:45	19:02	20:54
太井堂免	8:50		15:46	19:03	20:54
久下一丁目	8:51		15:47	19:04	20:55
久下三丁目	8:53		15:49	19:06	20:57
久下四丁目	8:54		15:50	19:07	20:58
太井公民館	8:58		15:54	19:11	21:01
佐谷田前方	9:01		15:57	19:14	21:04
戸出十字路	9:03		15:59	19:16	21:06
熊谷東中学校南	9:04		16:00	19:17	21:07
上之荘	9:05		16:01	19:18	21:08

直実号（右回り）

熊谷駅南口→星川通り・鎌倉町通り→市役所→熊谷駅東口→星川通り→熊谷駅南口

	1便	3便	5便	7便	9便	11便
熊谷駅南口	7:50	9:25	11:05	13:55	15:35	17:10
河原町二丁目	7:51	9:26	11:06	13:56	15:36	17:11
お祭り広場西	7:53	9:28	11:08	13:58	15:38	17:13
本町駐車場南	7:54	9:29	11:08	13:58	15:38	17:14
星渓園東	7:55	9:30	11:09	13:59	15:39	17:15
本石	7:57	9:32	11:11	14:01	15:41	17:17
慈恵病院前	7:58	9:33	11:12	14:02	15:42	17:18
石原小入口	8:01	9:36	11:15	14:05	15:45	17:21
中央交番西	8:02	9:37	11:16	14:06	15:46	17:22
熊谷保健センター入口	8:03	9:38	11:17	14:07	15:47	17:23
八木橋東	8:04	9:39	11:18	14:08	15:48	17:24
本町	8:05	9:40	11:19	14:09	15:49	17:25
コミュニティひろば	8:06	9:41	11:20	14:10	15:50	17:26
市役所前	8:09	9:44	11:23	14:13	15:53	17:29
熊谷女子高校北	8:10	9:45	11:24	14:14	15:54	17:30
藤間病院前	8:11	9:46	11:25	14:15	15:55	17:31
総合病院	↓	9:48	11:27	14:17	15:57	17:33
熊谷東小	↓	9:49	11:28	14:18	15:58	17:34
県熊谷地方庁舎	8:12	9:50	11:29	14:19	15:59	17:35
熊谷団地西	8:13	9:51	11:30	14:20	16:00	17:36
銀座二丁目	8:15	9:53	11:32	14:22	16:02	17:38
熊谷駅東口	8:16	9:54	11:33	14:23	16:03	17:39
筑波二丁目	8:18	9:56	11:35	14:25	16:05	17:41
お祭り広場東	8:18	9:56	11:35	14:25	16:05	17:41
文化センター前	8:21	9:59	11:38	14:28	16:08	17:44
熊谷駅南口	8:27	10:05	11:43	14:33	16:13	17:50

直実号（左回り）

熊谷駅南口→星川通り→熊谷駅東口→市役所→鎌倉町通り・星川通り→熊谷駅南口

	2便	4便	6便	8便	10便
熊谷駅南口	8:35	10:15	13:05	14:45	16:25
河原町二丁目	8:36	10:16	13:06	14:46	16:26
お祭り広場東	8:38	10:18	13:08	14:48	16:28
筑波二丁目	8:38	10:18	13:08	14:48	16:28
熊谷駅東口	8:40	10:20	13:10	14:50	16:30
銀座二丁目	8:41	10:21	13:11	14:51	16:31
熊谷団地西	8:43	10:23	13:13	14:53	16:33
県熊谷地方庁舎	8:43	10:23	13:13	14:53	16:33
熊谷東小	8:44	10:24	13:14	14:54	16:34
総合病院	8:45	10:25	13:15	14:55	16:35
熊谷東小	8:46	10:26	13:16	14:56	16:36
藤間病院前	8:47	10:27	13:17	14:57	16:37
熊谷女子高校北	8:48	10:28	13:18	14:58	16:38
市役所前	8:50	10:30	13:20	15:00	16:40
コミュニティひろば	8:51	10:31	13:21	15:01	16:41
本町	8:53	10:33	13:23	15:03	16:43
八木橋東	8:54	10:34	13:24	15:04	16:44
熊谷保健センター入口	8:55	10:35	13:25	15:05	16:45
中央交番西	8:56	10:36	13:26	15:06	16:46
石原小入口	8:57	10:37	13:27	15:07	16:47
慈恵病院前	9:00	10:39	13:29	15:09	16:50
本石	9:02	10:41	13:31	15:11	16:52
星渓園東	9:04	10:43	13:33	15:13	16:54
本町駐車場南	9:05	10:44	13:34	15:14	16:55
お祭り広場西	9:06	10:45	13:35	15:15	16:56
文化センター前	9:08	10:47	13:37	15:17	16:58
熊谷駅南口	9:15	10:53	13:43	15:23	17:05

グライダー号（時計回り）

妻沼行政センター→上之荘→熊谷駅南口→運動公園→籠原駅南口→別府荘→あじさい寺→妻沼行政センター

停留所名	1便	2便	3便	4便	5便
妻沼行政センター	6:45	9:45	12:50	16:20	19:40
登戸	6:46	9:46	12:51	16:21	19:41
聖天山南入口	6:47	9:47	12:52	16:22	19:42
妻沼聖天前	6:48	9:48	12:53	16:23	19:43
妻沼中央公民館入口	6:51	9:51	12:56	16:26	19:46
妻沼東中学校前	6:52	9:52	12:57	16:27	19:47
善ヶ島西部	6:53	9:53	12:58	16:28	19:48
善ヶ島コミュニティセンター入口	6:54	9:54	12:59	16:29	19:49
井財	6:55	9:55	13:00	16:30	19:50
大野	6:56	9:56	13:01	16:31	19:51
グライダー妻沼訓練所入口	6:57	9:57	13:02	16:32	19:52
向野コミュニティセンター前	6:58	9:58	13:03	16:33	19:53
西島	6:59	9:59	13:04	16:34	19:54
荒宿	↓	10:01	13:06	16:36	↓
倹瀬	↓	10:02	13:07	16:37	↓
荻野吟子記念館前	↓	10:04	13:09	16:39	↓
倹瀬	↓	10:05	13:10	16:40	↓
荒宿	↓	10:06	13:11	16:41	↓
葛和田老人憩の家	7:00	10:07	13:12	16:42	19:55
葛和田橋南	7:01	10:08	13:13	16:43	19:56
日向下	7:03	10:10	13:15	16:45	19:58
日向中	7:04	10:11	13:16	16:46	19:59
日向上	7:05	10:12	13:17	16:47	20:00
日向団地	7:06	10:13	13:18	16:48	20:01
上須戸ハイツ	↓	10:19	13:24	16:54	↓
武道館前	↓	10:21	13:26	16:56	↓
西光院前	↓	10:23	13:28	16:58	↓
西城就業改善センター入口	7:10	10:26	13:31	17:01	20:05
森谷	7:11	10:27	13:32	17:02	20:06
下奈良時花	7:14	10:30	13:35	17:05	20:09
中妻団地前	7:15	10:31	13:36	17:06	20:10
下奈良久保南	7:16	10:32	13:37	17:07	20:11
四方寺農村広場	7:17	10:33	13:38	17:08	20:12
荒宿農村広場	7:18	10:34	13:39	17:09	20:13
観音寺入口	7:19	10:35	13:40	17:10	20:14
中条中学校東	7:22	10:38	13:43	17:13	20:17
スポーツ文化公園	7:23	10:39	13:44	17:14	20:18
上川上自治会館前	7:24	10:40	13:45	17:15	20:19
騎上競技場入口	7:25	10:41	13:46	17:16	20:20
大塚	7:27	10:43	13:48	17:18	20:22
下川上	7:28	10:44	13:49	17:19	20:23
池上	7:29	10:45	13:50	17:20	20:24
上之	7:30	10:46	13:51	17:21	20:25
生協病院前	7:32	10:48	13:53	17:23	20:27
上之荘	7:33	10:49	13:54	17:24	20:28
流通センター中央	↓	↓	↓	17:29	↓
組合会館前	↓	↓	↓	17:30	↓
流通センター西	↓	↓	↓	17:31	↓
源宮寺入口	7:34	10:50	13:55	17:38	20:29
上之西	7:35	10:51	13:56	17:39	20:30
銀座保育所北	7:36	10:52	13:57	17:40	20:31
総合病院	7:39	10:55	14:00	17:43	20:34
藤間病院前	↓	10:57	14:02	17:45	20:36
熊谷女子高校北	↓	10:58	14:03	17:46	20:37
市役所前	7:43	10:59	14:04	17:47	20:38
裁判所前	7:44	11:00	14:05	17:48	20:39
八木橋東	7:45	11:01	14:06	17:49	20:40
熊谷駅南口	8:03	11:16	14:21	18:04	20:58
福島病院北	8:05	11:18	14:27	18:06	21:00
見晴郵便局	8:06	11:19	14:28	18:07	21:01
南運動場	8:07	11:20	14:29	18:08	21:02
堤公園入口	8:08	11:21	14:30	18:09	21:03
勤労青少年ホーム	8:10	11:23	14:32	18:11	21:05
広瀬北	8:11	11:24	14:33	18:12	21:06
熊谷工業高校入口	8:14	11:27	14:36	18:15	21:09
小島土井尻	8:15	11:28	14:37	18:16	21:10
運動公園	8:19	11:32	14:41	18:20	21:11
テニスコート入口	8:20	11:33	14:42	18:21	21:12
Ｊ Ａふれあいセンター	8:23	11:36	14:45	18:24	21:15
保育ステーション前	8:26	11:39	14:48	18:27	21:18
籠原駅南口	8:37	11:45	14:54	18:33	21:24
ＮＴＴ前	8:38	11:46	14:55	18:34	21:25
別府一丁目	8:41	11:49	14:58	18:37	21:28
別府第二公園	8:43	11:51	15:00	18:39	21:30
別府中学校南	8:45	11:53	15:02	18:41	21:32
安妻寺入口	8:46	11:54	15:03	18:42	21:33
Ｊ Ａ別府支店	8:47	11:55	15:04	18:43	21:34
別府荘公園	8:48	11:56	15:05	18:44	21:35
別府荘	8:49	11:57	15:06	18:45	21:36
下増田	8:54	12:02	15:11	18:50	21:41
市ノ坪南	8:55	12:03	15:12	18:51	21:42
飯塚	8:56	12:04	15:13	18:52	21:43
道ヶ谷戸	8:57	12:05	15:14	18:53	21:44
蒲前橋南	8:59	12:07	15:16	18:55	21:46
市ノ坪	9:01	12:09	15:18	18:57	21:48
前新田	9:02	12:10	15:19	18:58	21:49
太田郵便局	9:03	12:11	15:20	18:59	21:50
永井太田	9:04	12:12	15:21	19:00	21:51
あじさい寺（能護寺）	9:05	12:13	15:22	19:01	21:52
蘭ヶ田	9:06	12:14	15:23	19:02	21:53
出来島入口	9:07	12:15	15:24	19:03	21:54
男沼小学校前	9:08	12:16	15:25	19:04	21:55
五十石	9:09	12:17	15:26	19:05	21:56
妻沼西中学校前	9:10	12:18	15:27	19:06	21:57
妻沼行政センター	9:14	12:20	15:29	19:08	21:59

ムサシトミヨ号（反時計回り）

妻沼行政センター→あじさい寺→別府荘→籠原駅南口→運動公園→熊谷駅南口→上之荘→妻沼行政センター

停留所名	1便	2便	3便	4便	5便
妻沼行政センター	6:35	9:50	12:35	15:45	18:45
五十石	6:36	9:51	12:36	15:46	18:46
男沼小学校前	6:37	9:52	12:37	15:47	18:47
出来島入口	6:38	9:53	12:38	15:48	18:48
妻沼中央公民館入口	6:39	9:54	12:39	15:49	18:49
妻沼東中学校前	6:40	9:55	12:40	15:50	18:50
あじさい寺（能護寺）	6:41	9:56	12:41	15:51	18:51
永井太田	6:42	9:57	12:42	15:52	18:52
太田郵便局	6:43	9:58	12:43	15:53	18:53
前新田	6:44	9:59	12:44	15:54	18:54
市ノ坪	6:45	10:00	12:45	15:55	18:55
蒲前橋南	6:47	10:02	12:47	15:57	18:57
道ヶ谷戸	6:49	10:04	12:49	15:59	18:59
飯塚	6:50	10:05	12:50	16:00	19:00
市ノ坪南	6:51	10:06	12:51	16:01	19:01
下増田	6:52	10:07	12:52	16:02	19:02
別府荘	6:57	10:12	12:57	16:07	19:07
別府荘公園	6:58	10:13	12:58	16:08	19:08
ＪＡ別府支店	6:59	10:14	12:59	16:09	19:09
安妻寺入口	7:00	10:15	13:00	16:10	19:10
別府中学校南	7:01	10:16	13:01	16:11	19:11
別府第二公園	7:03	10:18	13:03	16:13	19:13
別府一丁目	7:05	10:20	13:05	16:15	19:15
ＮＴＴ前	7:08	10:23	13:08	16:18	19:18
籠原駅南口	7:19	10:29	13:14	16:24	19:24
保育ステーション前	7:20	10:30	13:15	16:25	19:25
ＪＡふれあいセンター	7:22	10:32	13:17	16:27	19:27
久保島自治会館	7:24	10:34	13:19	16:29	19:29
テニスコート入口	7:26	10:36	13:21	16:31	19:31
運動公園	7:27	10:37	13:22	16:32	19:32
小島土井尻	7:28	10:38	13:23	16:33	19:33
熊谷工業高校入口	7:29	10:39	13:24	16:34	19:34
広瀬北	7:31	10:41	13:26	16:36	19:36
勤労青少年ホーム	7:32	10:42	13:27	16:37	19:37
堤公園入口	7:34	10:44	13:29	16:39	19:39
南運動場	7:35	10:45	13:30	16:40	19:40
見晴郵便局	7:36	10:46	13:31	16:41	19:41
福島病院北	7:37	10:47	13:32	16:42	19:42
熊谷駅南口	7:50	10:57	13:42	16:52	19:55
八木橋東	7:58	11:05	13:54	17:00	20:03
裁判所前	7:59	11:06	13:55	17:01	20:04
市役所前	8:00	11:07	13:56	17:02	20:05
熊谷女子高校北	↓	11:08	13:57	17:03	20:06
藤間病院前	↓	11:09	13:58	17:04	20:07
総合病院	8:04	11:11	14:00	17:06	20:09
銀座保育所北	8:06	11:13	14:02	17:08	20:11
上之西	8:07	11:14	14:03	17:09	20:12
源宮寺入口	8:08	11:15	14:04	17:10	20:13
流通センター中央	8:13	↓	↓	↓	↓
組合会館前	8:14	↓	↓	↓	↓
流通センター西	8:15	↓	↓	↓	↓
上之荘	8:22	11:19	14:08	17:14	20:17
生協病院前	8:23	11:20	14:09	17:15	20:18
上之	8:25	11:22	14:11	17:17	20:20
池上	8:26	11:23	14:12	17:18	20:21
下川上	8:27	11:24	14:13	17:19	20:22
大塚	8:28	11:25	14:14	17:20	20:23
騎上競技場入口	8:29	11:26	14:15	17:21	20:24
上川上自治会館前	8:30	11:27	14:16	17:22	20:25
スポーツ文化公園	8:31	11:28	14:17	17:23	20:26
中条中学校東	8:33	11:30	14:19	17:25	20:28
観音寺入口	8:37	11:34	14:23	17:29	20:32
荒宿農村広場	8:38	11:35	14:24	17:30	20:33
四方寺農村広場	8:39	11:36	14:25	17:31	20:34
下奈良久保南	8:40	11:37	14:26	17:32	20:35
中妻団地前	8:41	11:38	14:27	17:33	20:36
下奈良時花	8:42	11:39	14:28	17:34	20:37
森谷	8:45	11:42	14:31	17:37	20:40
西城就業改善センター入口	8:46	11:43	14:32	17:38	20:41
西光院前	↓	11:46	14:35	17:41	↓
武道館前	↓	11:48	14:37	17:43	↓
上須戸ハイツ	↓	11:50	14:39	17:45	↓
日向団地	8:48	11:53	14:42	17:50	20:44
日向上	8:49	11:56	14:45	17:51	20:45
日向中	8:50	11:57	14:46	17:52	20:46
日向下	8:53	12:00	14:49	17:55	20:49
葛和田橋南	8:54	12:01	14:50	17:56	20:50
葛和田老人憩の家	8:55	12:02	14:51	17:57	20:51
荒宿	8:56	12:03	14:52	↓	↓
倹瀬	8:57	12:04	14:53	↓	↓
荻野吟子記念館前	8:59	12:06	14:55	↓	↓
倹瀬	9:00	12:07	14:56	↓	↓
荒宿	9:01	12:08	14:57	↓	↓
西島	9:03	12:10	14:59	17:59	20:53
向野コミュニティセンター前	9:04	12:11	15:00	18:00	20:54
グライダー妻沼訓練所入口	9:05	12:12	15:01	18:01	20:55
大野	9:06	12:13	15:02	18:02	20:56
井財	9:07	12:14	15:03	18:03	20:57
善ヶ島コミュニティセンター入口	9:08	12:15	15:04	18:04	20:58
善ヶ島西部	9:09	12:16	15:05	18:05	20:59
妻沼東中学校前	9:10	12:17	15:06	18:06	21:00
妻沼中央公民館入口	9:11	12:18	15:07	18:07	21:01
妻沼聖天前	9:14	12:21	15:10	18:10	20:04
聖天山南入口	9:15	12:22	15:11	18:11	20:05
登戸	9:16	12:23	15:12	18:12	20:06
妻沼行政センター	9:20	12:25	15:14	18:14	21:08

ほたる号

江南行政センター→熊谷駅南口→江南行政センター→籠原駅南口→江南行政センター

停留所名	1便	2便	3便	4便	5便	6便
江南行政センター	6:20	8:27	10:30	14:00	16:20	18:20
成沢坂上	6:22	8:29	10:32	14:02	16:22	18:22
赤城神社	6:23	8:30	10:33	14:03	16:23	18:23
ＪＡ江南	6:24	8:31	10:34	14:04	16:24	18:24
江南北小	6:25	8:32	10:35	14:05	16:25	18:25
渡津神社	6:26	8:33	10:36	14:06	16:26	18:26
上押切	6:27	8:34	10:37	14:07	16:27	18:27
下押切	6:28	8:35	10:38	14:08	16:28	18:28
樋春南	6:29	8:36	10:39	14:09	16:29	18:29
ＪＡ奥州なご味	6:31	8:38	10:41	14:11	16:31	18:31
御正北	6:33	8:40	10:43	14:13	16:33	18:33
御正新田	6:34	8:41	10:44	14:14	16:34	18:34
福島病院南	6:41	8:48	10:51	14:21	16:41	18:41
熊谷駅南口（到着予定）	6:47	8:54	10:57	14:27	16:47	18:47
熊谷駅南口	6:50	9:00	11:10	14:35	17:00	19:00
福島病院南	6:52	9:02	11:12	14:37	17:02	19:02
御正新田	6:59	9:09	11:19	14:44	17:09	19:09
御正北	7:00	9:10	11:20	14:45	17:10	19:10
ＪＡ奥州なご味	7:02	9:12	11:22	14:47	17:12	19:12
樋春南	7:04	9:14	11:24	14:49	17:14	19:14
下押切	7:05	9:15	11:25	14:50	17:15	19:15
上押切	7:06	9:16	11:26	14:51	17:16	19:16
渡津神社	7:07	9:17	11:27	14:52	17:17	19:17
江南北小	7:08	9:18	11:28	14:53	17:18	19:18
ＪＡ江南	7:09	9:19	11:29	14:54	17:19

2）利用状況

①総利用者数の推移

ゆうゆうバスの総利用者数は、既存ゆうゆうバス（４系統）の再編や、ほたる号と直実号の運行開始により年々微増傾向で、約 213,000 人/年（平成 26 年度）の利用があり、市民の重要な足として必要不可欠な手段となっている。

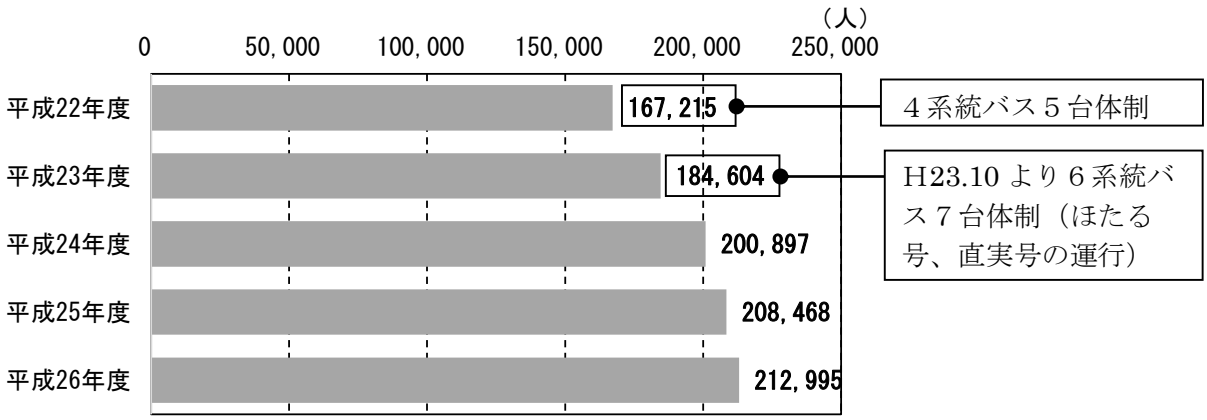
平成 24 年度から平成 26 年度にかけての伸び率を系統別に見ると、ほたる号（1.32 倍）とさくら号（1.29 倍）で大きく増加し、グライダー号、ムサシトミヨ号で減少している。

■ゆうゆうバスの系統別利用者数の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	伸び率 (H26/H24)
さくら号	23,311	22,192	22,290	22,841	28,665	1.29
グライダー号	31,340	31,139	30,504	28,706	27,506	0.90
ムサシトミヨ号	33,193	34,738	32,395	30,473	30,085	0.93
ひまわり号	79,371	80,674	76,254	78,523	76,911	1.01
ほたる号	－	10,612	25,725	33,955	34,004	1.32
直実号	－	5,249	13,729	13,970	15,824	1.15
合計	167,215	184,604	200,897	208,468	212,995	1.06

資料：熊谷市企画課調べ　※ほたる号と直実号は平成 23 年 10 月より運行開始

■ゆうゆうバスの総利用者数の推移



②１便当り平均利用者数

ゆうゆうバスの１便当り平均利用者数（平成 26 年度）は、グライダー号、ムサシトミヨ号及びほたる号で 15 人/便を超えているが、直実号で 4.0 人/便と、各系統で利用状況に差が生じており、さらにダイヤ別にみると、各系統内でも時間帯により偏りが見受けられる。

■系統別１便当り平均利用者数

		H23※	H24	H25	H26
さくら号	上之荘→籠原駅南口	6.2	6.5	6.4	8.3
	籠原駅南口→上之荘	5.2	5.9	6.1	7.6
グライダー号		15.9	16.9	15.9	15.2
ムサシトミヨ号		18.2	17.9	16.8	16.6
ひまわり号	長島記念館→熊谷駅南口	8.9	8.3	8.4	8.3
	熊谷駅南口→長島記念館	9.2	8.8	9.7	9.4
ほたる号		9.8	11.8	15.4	15.7
直実号		2.7	3.4	3.5	4.0

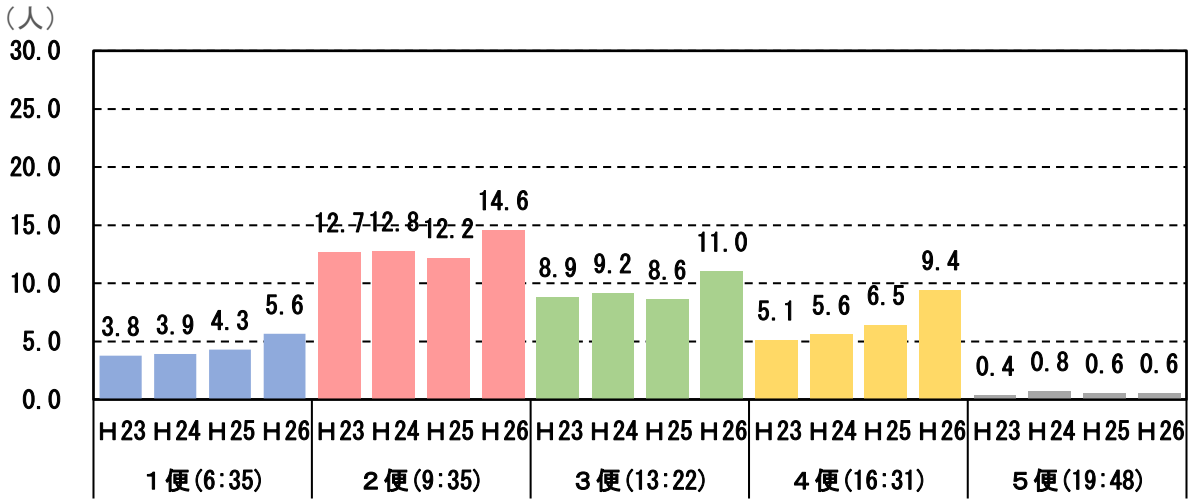
資料：熊谷市企画課調べ　※ほたる号と直実号は平成 23 年 10 月より運行開始

■系統別ダイヤ別の利用傾向

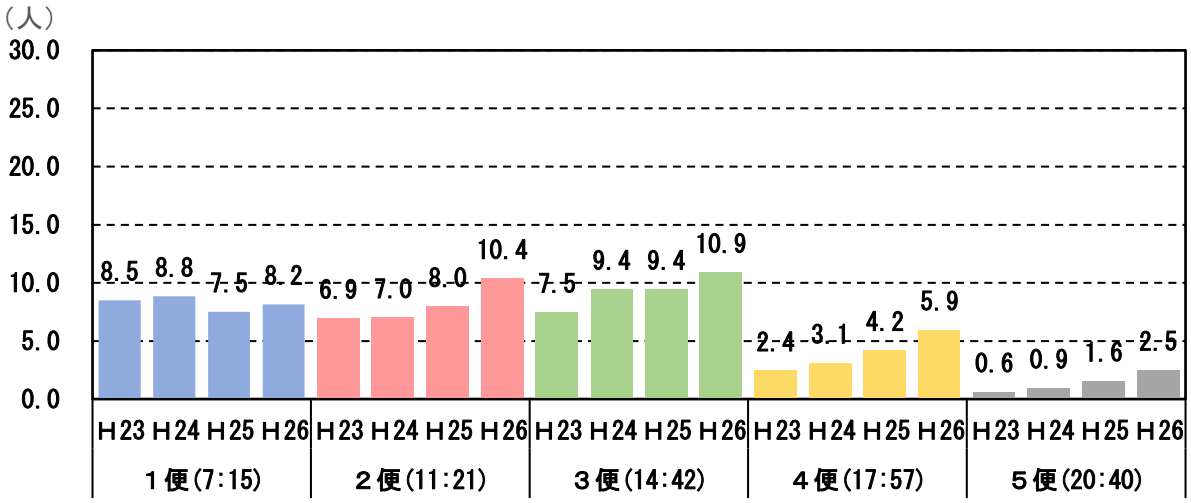
さくら号	・各ダイヤとも前年度と比較して増加しているものの、上之荘 19：48 発で 0.6 人/便、熊谷駅南口 20：40 発で 2.5 人/便と少ない。
グライダー号	・妻沼行政センター９：45 発、12：50 発で 15 人/便以上と多いものの、前年度と比較して６：45 発、16：20 発で減少し、特に 19：40 発で 4.4 人/便と少ない。
ムサシトミヨ号	・妻沼行政センター６：35 発、９：50 発、12：35 発及び 15：45 発で 15 人/便以上と多いものの、その中でも６：35 発と 15：45 発は平成 24 年度より減少傾向が続いている。 ・18：45 発は 4.5 人/便と少なく、平成 23 年度より一貫し減少している。
ひまわり号	・長島記念館前６：50 発、８：30 発、９：25 発で 10 人/便以上と多い。６：30 発は平成 23 年度が 15.0 人/便に対し、平成 26 年度が 9.6 人/便と大きく減少している。 ・熊谷駅南口２便目（７：50 発）、６～10 便目（12：20 発～18：35 発）で 10 人/便以上と多いものの、３～５便目（９：20 発～11：20 発）で 5.0 人/便以下と少ない。
ほたる号	・江南行政センター６：20 発で 21.4 人/便と顕著に多く、２～５便目（８：27 発～16：20 発）で 10 人/便以上と多い。これらダイヤは平成 23 年度より一貫し増加している。 ・18：20 発は 9.8 人/便と他のダイヤより少なく、前年度（11.6 人/便）より 1.8 人/便減少している。
直実号	・右回り、左回りとも全てのダイヤで６人/便未満と少ない。 ・右回り９：25 発と 11：05 発、左回り 10：15 発と 13：05 発で５人/便を超え、平成 23 年度より一貫し増加している。

■さくら号の１便当り平均利用者数（平成 23 年 10 月～平成 27 年３月）

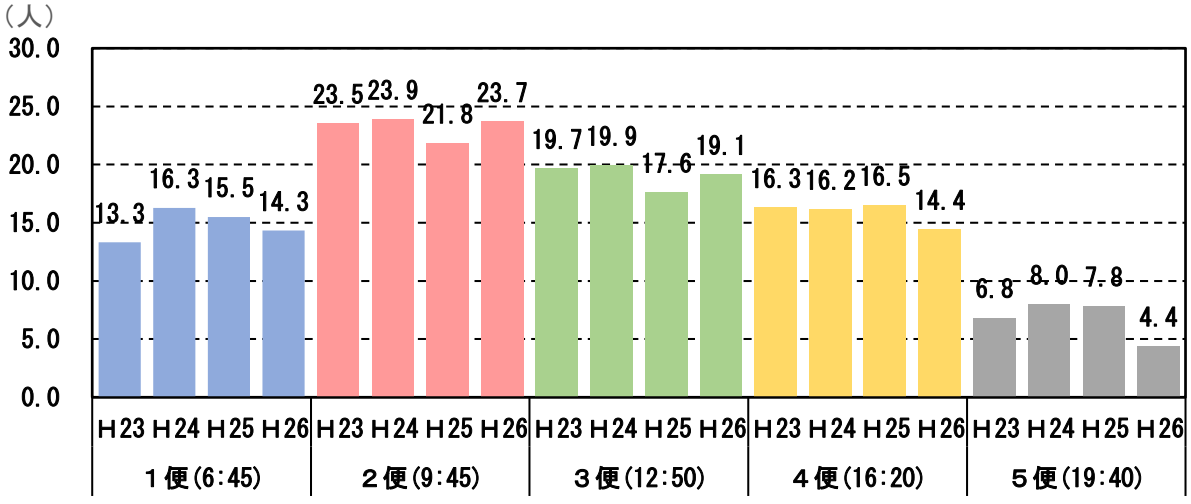
【上之荘→久下→熊谷駅南口→運動公園→三尻→籠原駅南口】



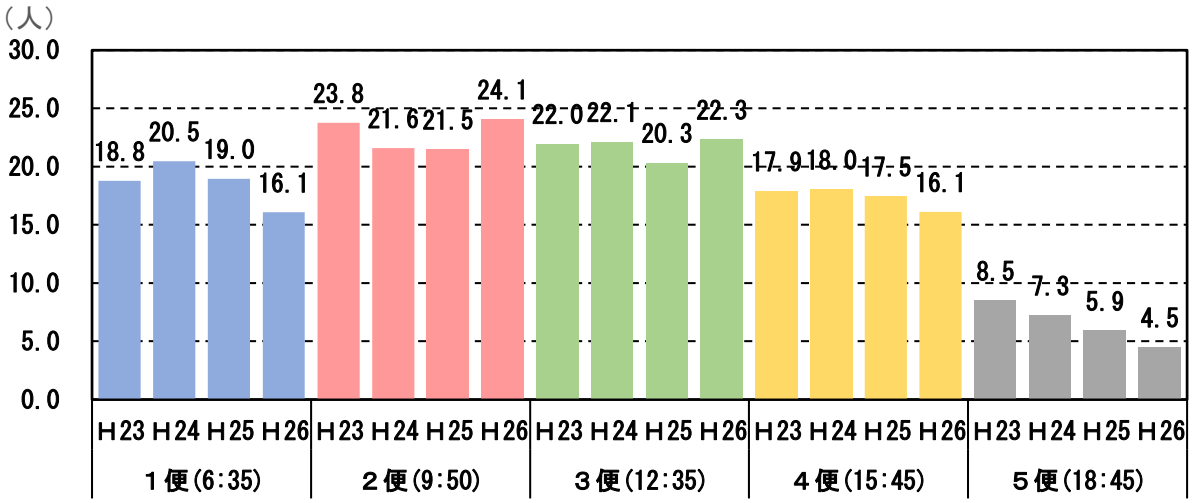
【籠原駅南口→三尻→運動公園→熊谷駅南口→久下→上之荘】



■グライダー号（時計回り）の１便当り平均利用者数（平成 23 年 10 月～平成 27 年３月）



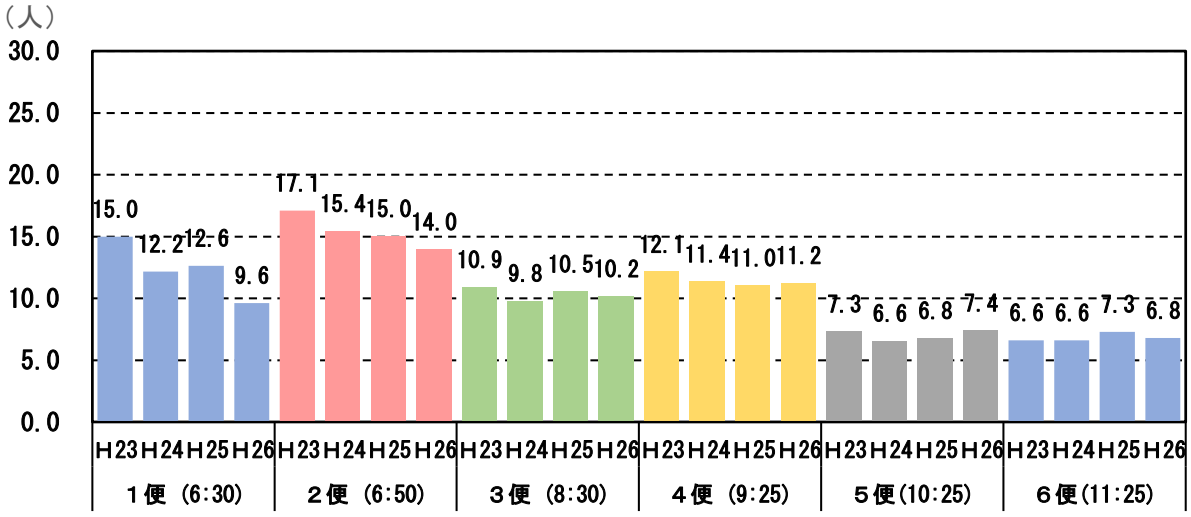
■ムサシトミヨ号（反時計回り）の１便当り平均利用者数（平成 23 年 10 月～平成 27 年３月）



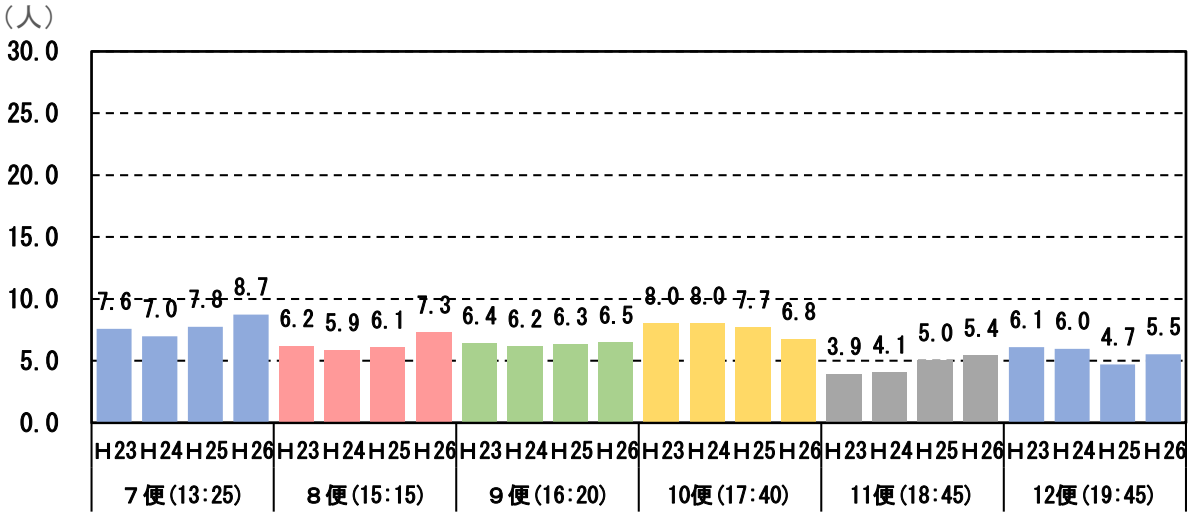
■ひまわり号の１便当り平均利用者数（平成 23 年 10 月～平成 27 年３月）

【長島記念館→大里行政センター→熊谷駅南口】

（１便～６便）

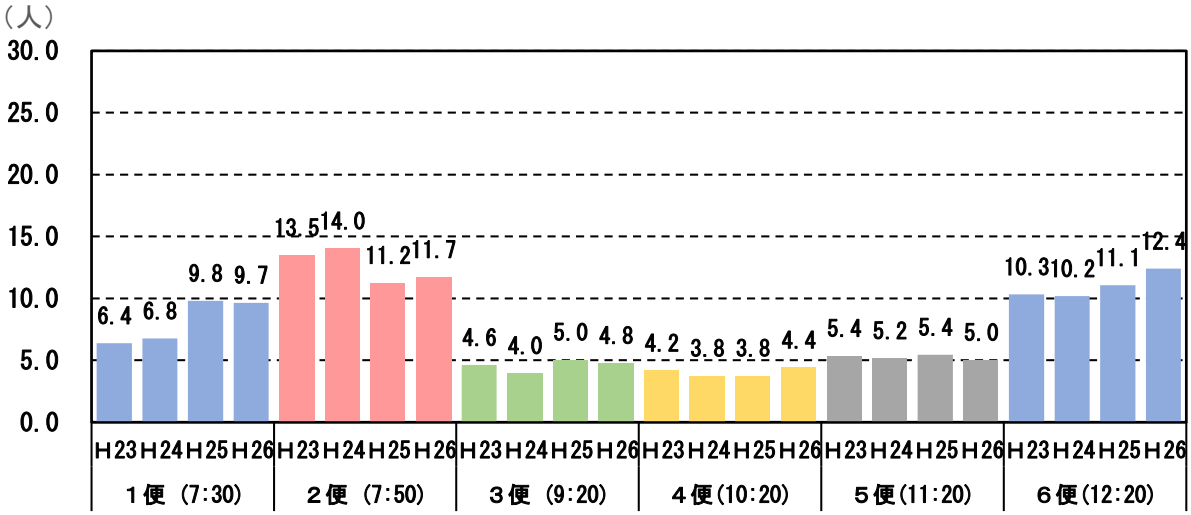


（７便～12 便）

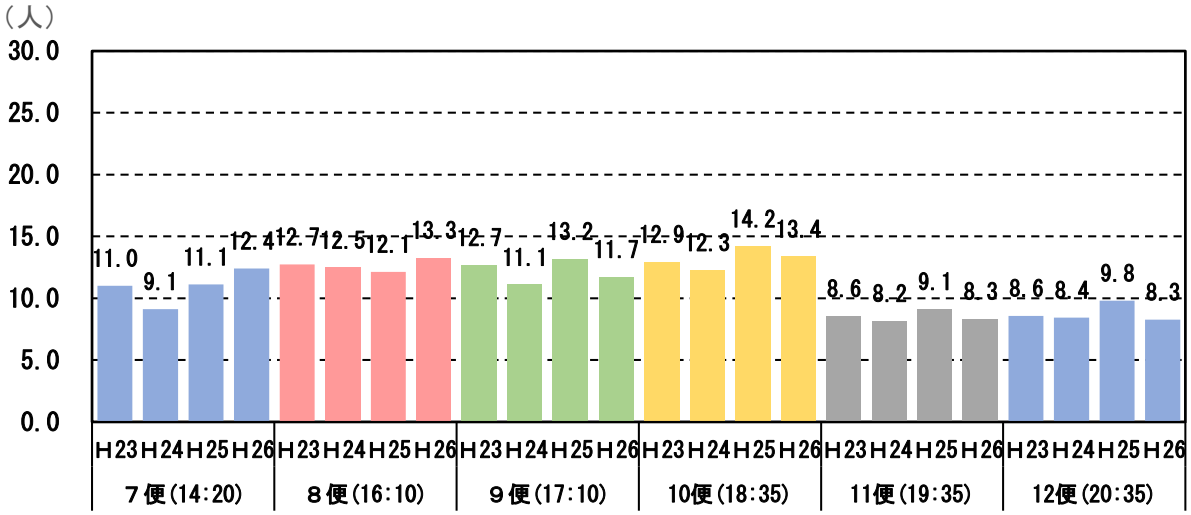


【熊谷駅南口→大里行政センター→長島記念館】

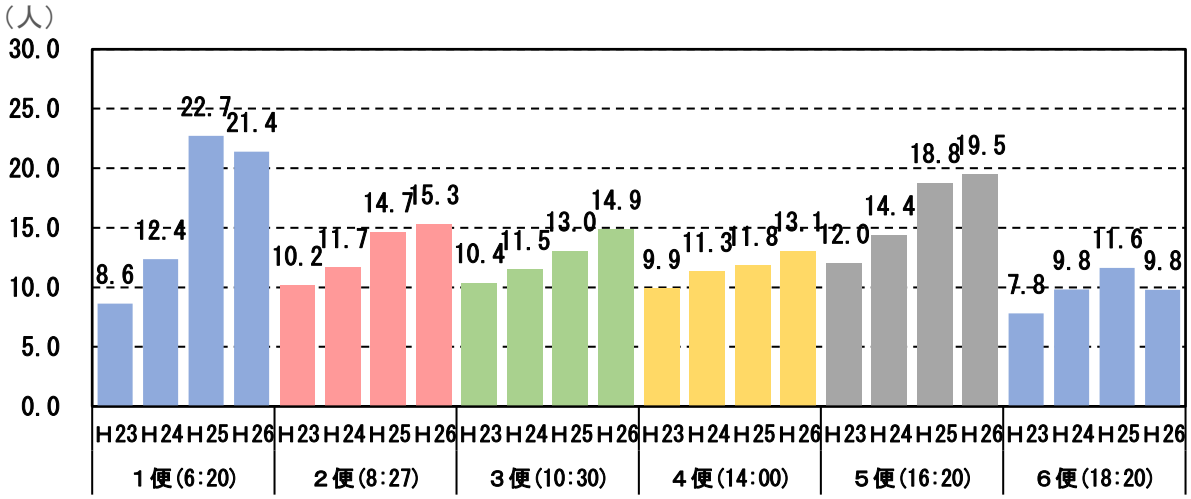
（１便～６便）



（７便～12 便）

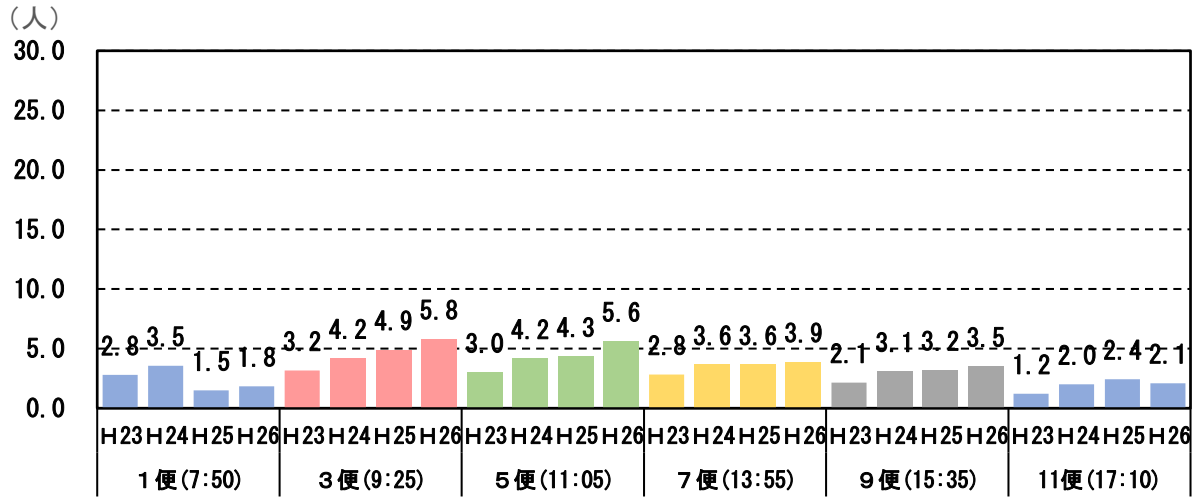


■ほたる号の１便当り平均利用者数（平成 23 年 10 月～平成 27 年３月）

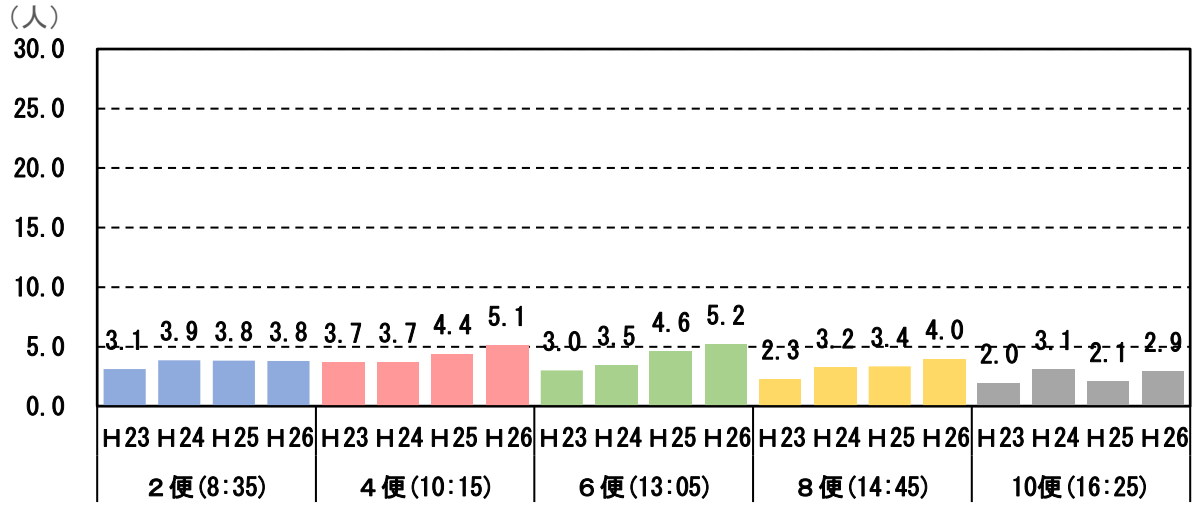


■直実号の１便当り平均利用者数（平成 23 年 10 月～平成 27 年３月）

【右回り（熊谷駅南口→星川通り・鎌倉町通り→市役所→熊谷駅東口→熊谷駅南口）】



【左回り（熊谷駅南口→熊谷駅東口→市役所→鎌倉町通り・星川通り→熊谷駅南口）】



３）運行収支

平成 26 年度の運行収支は 22.6%となっており、平成 22 年度と比較すると、系統数の増加やルートの拡大等による運行経費の他、バス車両の更新に伴う負担増による支出が増加し、3.7 ポイント低くなっている。

■運行収支の推移

	収入	支出	収支差	収支率
平成22年度	15,245,000	57,896,850	△ 42,651,850	26.3%
平成23年度	19,529,836	81,083,372	△ 61,553,536	24.1%
平成24年度	24,375,895	88,347,165	△ 63,971,270	27.6%
平成25年度	24,545,097	88,966,264	△ 64,421,167	27.6%
平成26年度	25,536,757	112,798,749	△ 87,261,992	22.6%

出典：熊谷市企画課調べ

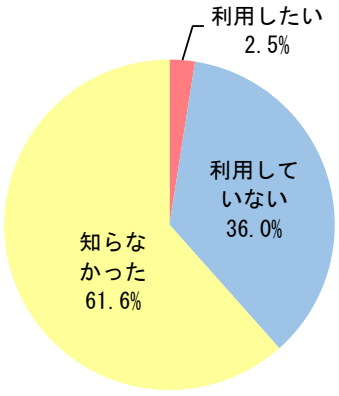
3）平成 25 年度ゆうゆうバスアンケート調査結果の概要

※回収状況：1,043 票、回収率 34.8%

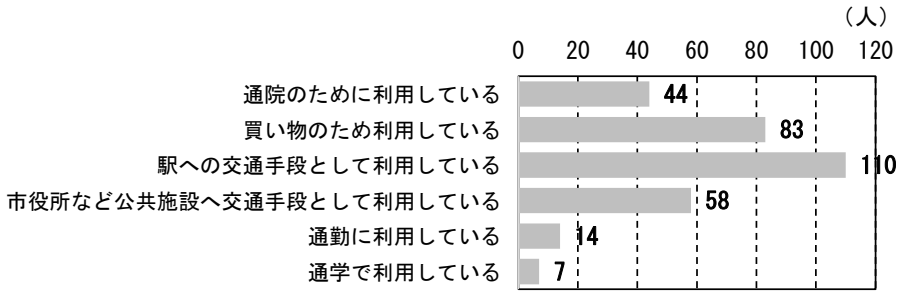
■アンケート調査結果の概要

①ゆうゆうバスの利用頻度	・ゆうゆうバスを利用したことがある方は 21.2%で、「過去に数回利用」、「月に２～１回程度」が多い。
②ゆうゆうバスの利用目的	・利用目的は「駅への交通手段として利用している」「買物のために利用している」が多い。
③新規路線の運行や既存路線の見直しによる使いやすさ	・使いやすさは「大変使いやすくなった」「使いやすくなった」と回答した方が 24.7%で、「運行ルートが長くなり、使いにくくなった」が 5.6%、「運行時間が変更になり、使いにくくなった」が 3.4%を占めている。 ・その他は運行本数の少なさや、ほたる号の運行ルートの見直し、平日と休日での運行ダイヤの変更といった意見が挙がっている。
④１日乗車券 300 円の利用有無と利用意向	・１日乗車券については、知っていた方が 38.4%で、知らなかった方が 61.6%となっており、「利用した」と回答した方は 2.5%と少ない。 ・「知らなかった」方のうち、「次回から利用したい」と回答した方は 30.6%を占めている。
⑤直実号の改善点	・直実号の改善点としては、「運行本数を増やす」が 43.0%と最も多く、次いで「始発・終発時間の変更（14.0%）」、「停留所の新設（13.1%）」、「経路の変更（9.3%）」となっている。

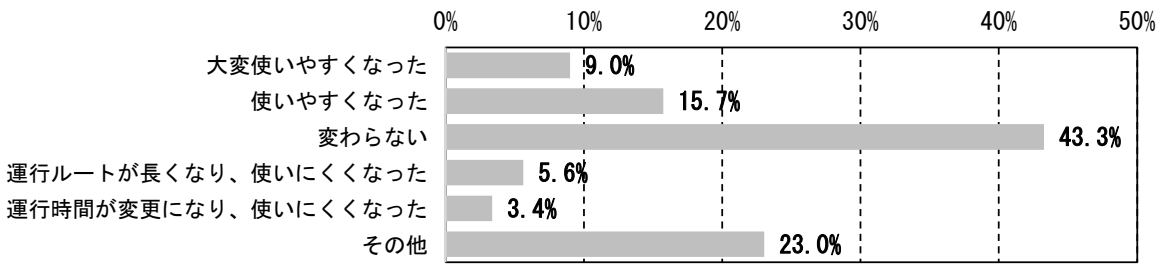
■利用頻度



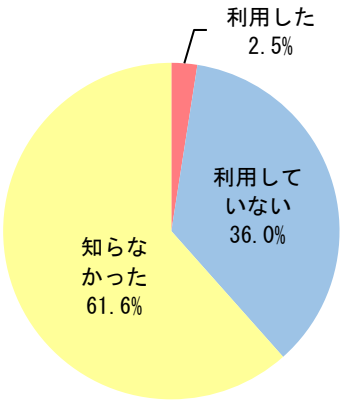
■利用目的



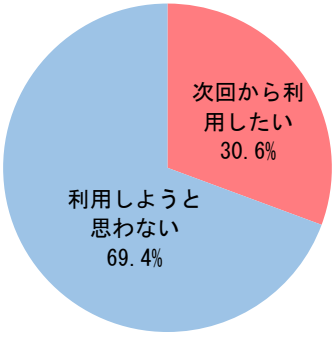
■新規路線の運行や既存路線の見直しによる使いやすさ



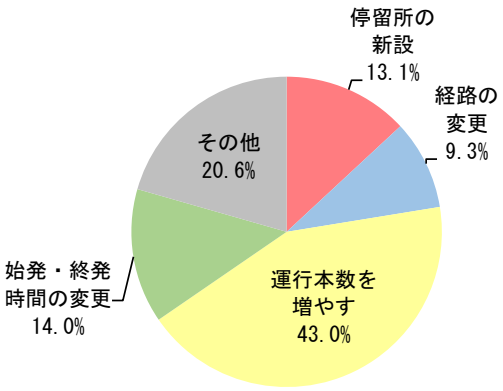
■１日乗車券の利用有無



■１日乗車券の利用意向



■直実号の改善点



（４）タクシー

市内には９つのタクシー事業者があり、埼玉県県北交通における法人タクシーの輸送人員は減少傾向となっている。埼玉県県北交通圏タクシー準特定地域協議会地域計画においては、タクシーが引き続き地域公共交通機関としての機能を十分に発揮できるよう、タクシーサービスの活性化、観光立国実現に向けた取組み、地域公共交通としての役割の強化及び総合交通ネットワークの一員としての機能の向上などの目標が掲げられている。

■市内タクシー事業者の概要

会社名	所在地	車両数
熊谷構内タクシー㈱	熊谷市小島 241-1	44 両
中央タクシー㈱	熊谷市戸出 514	16 両
篭原タクシー㈲	熊谷市大字久保島 682-1	31 両
国際十王交通㈱	熊谷市新島 263-1	18 両
秩鉄タクシー㈱	熊谷市曙町 1-91-7	22 両
七福タクシー㈲	熊谷市弥藤吾 183	26 両
ミツワ交通㈱	熊谷市新堀 1041	13 両
㈲井上商会	熊谷市小江川 1902-15	5 両
㈱ソワニエ	熊谷市末広 1-34-1	１両（福祉車両１両）

資料：一般社団法人埼玉県乗用自動車協会ホームページ

（５）隣接市町で運行中のコミュニティバスの運行状況

より広域的な視点で、公共交通の利便性向上を検討する上での基礎資料として活用するため、隣接市町で運行中のコミュニティバス（定時定路線型のみ）の運行状況について整理する。

■県内隣接市町で運行中のコミュニティバスの運行状況（平成 27 年４月末時点）

自治体名	名称	運行日	日運行便数など	運賃
行田市	市内循環バス	毎日（年末年始除く）	・北西循環コース：８便 ・東循環コース：８便 ・北東循環コース：８便 ・観光拠点循環コース：８便 ・西循環コース：20 便 ・南大通り線コース：20 往復	100 円
鴻巣市	フラワー号	毎日	・川里循環コース：平日 60 便（休日 41 便） ・田間宮コース：９往復 ・常光コース：8.5 往復 ・馬室コース：９往復 ・笠原コース：９往復 ・吹上北コース：９往復 ・吹上南コース：9.5 往復	１回 150 円、小中学生・高校生・65 歳以上：100 円
東松山市	市内循環バス	平日・土曜日	・大谷コース：10 便 ・唐子コース：５往復 ・野本・高坂コース：4.5 往復	100 円
深谷市	くるリン	毎日（年末年始除く）	・北部定期便：12 便 ・東循環便：12 便 ・西循環便：12 便 ・南部シャトル便：11 往復	200 円（１日乗り降り自由）
吉見町	巡回バス	平日、日・祝日	（町内循環コース） ・西コース：７便 ・東南コース：５便 ・北西コース：５便 （町外アクセスコース） ・森林公園駅～道の駅：５便 ・吹上駅～道の駅：５便 ・北本駅～道の駅：４便	100 円、 １日券 200 円
滑川町	ふれあいバス	水・金曜日	・南コース：５便 ・北コース：４便	無料

※嵐山町のみ運行なし

１－３　連携計画における施策の達成状況の整理

平成 22 年度に策定した「熊谷市地域公共交通総合連携計画」で掲げられた目標を達成するために行う７つの事業については、これまで全てスケジュール通り実施されている。

【連携計画の目標（計画期間：平成 23 年度～平成 29 年度）】

＜数値目標（公共交通に満足している市民の割合）＞

現状値（平成 19 年度）45%→平成 24 年度（５年後）50%→平成 29 年度（10 年後）55%

＜計画目標＞

①公共交通不便地域の解消を図り、ゆうゆうバスの社会的価値を高めるよう運行サービスの充実を目指す。

②ゆうゆうバスと鉄道・民間路線バスなど他の公共交通機関との連携･共存を目指す。

③市民自らが過度な自家用車利用の抑制を意識し、さらに公共交通の存在意義を認識することで、自発的な公共交通の利用を目指す。

■連携計画で位置付けた事業及び達成状況

事業名	連携計画でのスケジュール				達成状況
	短期事業			中長期事業	
	H23	H24	H25	H26～H29	
①既存ゆうゆうバス（４系統）の再編（運行ルート・サービス水準の見直し、運賃体系の見直し）		実証実験		本格運行	・H23 年 10 月運行時間帯拡大、運行本数増加、バス停新設 ・H26 年４月ルート延伸
②江南地区・新ゆうゆうバスの導入		実証実験		本格運行	・H23 年 10 月導入済
③熊谷駅周辺・新ゆうゆうバスの導入		実証実験		本格運行	・H23 年 10 月導入済
④鉄道・バスなどの公共交通機関相互が連携するための環境整備 **〇乗継拠点・乗継ポイントの整備（ベンチ・上屋、バスロケーションシステム等の導入）** **〇ゆうゆうバスと民間路線バス・タクシーとの乗継運賃割引の導入検討**		順次整備 検討・協議			・妻沼行政センター、聖天山にベンチ設置 ・H26 バスロケーションシステム社会実験実施 ※乗継運賃割引は検討・協議中
⑤公共交通情報等の提供 **〇公共交通マップの作成** **〇ゆうゆうバス運行情報提供の充実**	実施 実施	継続的実施 継続的実施			・H25 年 10 月公共交通マップ作成済
⑥バリアフリー化の推進 **〇バス車両のバリアフリー化**		順次整備			・ゆうゆうバス車両など順次整備中
⑦モビリティ・マネジメントの実施（公共交通利用促進イベントの開催等）		検討・実施			・H23 御稜威ヶ原工業団地と連携したモビリティマネジメント実施 ・H24～25 ゆうゆうバスＰＲ作戦（中学生への路線図・時刻表チラシ配布、イベント会場への誘導、ニャオざね乗車体験）実施

１－４　上位計画での公共交通に関する位置付けの整理及び関連計画との整合性

（１）上位計画での位置付けの整理

上位計画として「熊谷市総合振興計画　後期基本計画（平成 25 年３月）」での公共交通の位置付けを整理する。

【計画期間】　平成 25 年度～平成 29 年度
【将来都市像】　『川と川　環境共生都市　熊谷』
【将来都市像を実現するための９つの施策の大綱】
①魅力ある郷土をほこれるまち　②市民と行政が協働するまち　③みんなで創る安全なまち
④だれもが安心して健康に暮らせるまち　⑤自然の豊かさがあふれるまち
⑥活力ある産業が育つまち　⑦便利で快適な人にやさしいまち
⑧地域に根ざした教育・文化のまち　⑨効率的でわかりやすい行財政
⑩リーディングプロジェクト

【施策 34】：公共交通を充実する

駅舎や車両のバリアフリー化を進めるとともに、地域や利用者の視点から公共交通相互の連携や停留所の増設等、運行方法についての見直しを地域公共交通会議において協議し、地域、事業者及び行政で協働し進めていきます。

［ 目標値 ］
○公共交通に満足している市民の割合…現状値 47.4%→後期めざそう値 55%
○ゆうゆうバス利用者数……現状値 184,604 人→後期めざそう値 225,000 人

（２）関連計画との整合性

関連計画として「熊谷市環境基本計画（改訂版）（平成 26 年３月）」、「熊谷市地球温暖化対策地域推進計画（平成 21 年３月）」、及び「熊谷市都市環境改善基本計画（平成 22 年 10 月）」の目標や施策との整合を図る。

①熊谷市環境基本計画（改訂版）（平成 26 年３月）

【計画期間】　平成 20 年度～平成 29 年度
【将来の環境像】
：きらめく大河とやすらぎの緑のふるさと　未来へ育み伝える　～　環境共生都市　熊谷　～
【将来の環境像を実現するための４つの環境目標】
①環境負荷の少ないまちを目指します
②環境資源を大切にするまちを創ります
③環境と調和した快適なまちを創造します
④地球環境の保全・創造に寄与する人をつくります

○【施策】移動発生源対策による大気汚染の防止

鉄道やバス事業者に対し、運行ルートの見直しや本数の増加要望等により利便性の向上を図るとともに、「熊谷市ゆうゆうバス」についても利用しやすい運行体制の見直しを図ることにより、公共交通機関の利用を促進し、自家用車の利用を低減します。

②熊谷市地球温暖化対策地域推進計画（平成 21 年３月）

【計画期間】　平成 21 年度～平成 32 年度（中期目標）

【目標年度】　短期目標：平成 24 年度、中期目標：平成 32 年度、長期目標：平成 62 年度

【削減目標】　短期目標：平成 24 年度に基準年度比（平成２年）で７％削減
中期目標：平成 32 年度に平成 18 年度比 25%削減
長期目標：平成 62 年度に平成 18 年度比 50%削減

【取組みの展開】　公共交通等の充実・ゆうゆうバス等の利便性向上

通勤や通学時、不用不急時などでの自動車利用を減らし、二酸化炭素の排出削減を進めていきます。

○通勤通学時でのバス等公共交通機関や自転車利用の促進
○熊谷市ゆうゆうバスや路線バスの充実による利便性の向上の検討
○パークアンドライドの推進
○新交通システムの導入検討
○幹線道路の計画的な整備と交通渋滞箇所の改善による交通流の円滑化の推進

③熊谷市都市環境改善基本計画「エコまちづくり熊谷」（平成 22 年 10 月）

【「エコまちづくり熊谷」の理念】　〔環境への負荷が小さい　ひと中心のまちづくり〕
エコまちづくりで熊谷を元気に！

【環境にやさしく、暮らしやすく、魅力ある中心市街地を目指す「エコまちづくり熊谷」の基本方針】

○移動する人の利便性を損なわずに「自動車から環境負荷の少ない交通手段への転換」を図る

【中心市街地の課題】

○公共交通の充実が必要
・自動車に頼らなくても郊外部から中心市街地により行きやすくする
・自動車に頼らなくても公共交通で２つの商業拠点と市役所周辺間を回遊できるようにする
⇒バスで中心市街地にアクセス
⇒バスで中心市街地を回遊

【計画の目標値】　CO_2目標削減量：10 千 t-C02（平成 32 年度）（運輸部門目標の約半分）

１－５　秩父鉄道新駅及びラグビーワールドカップ 2019

（１）秩父鉄道新駅

①新駅周辺の地域特性

熊谷市と行田市の行政界周辺（熊谷市佐谷田地内）では、平成 29 年３月に新駅が開業する予定である。新駅周辺の地域特性は以下の通りである。

○新駅計画地の南側１㎞圏内に熊谷流通センターが立地し、「熊谷市総合振興計画」の将来都市構造図で産業拠点として位置付けている。

○新駅計画地の西側には住宅地が広がり、「行田市都市計画マスタープラン」で「質の高い住環境を備えた都市生活圏の形成」を図るため、秩父鉄道熊谷駅と持田駅の間に新駅設置を位置付けている。

○国道 125 号を運行していた路線バスの廃止。このため、熊谷・行田の両市民が利活用できるよう、新駅を「小さな拠点」として交通ネットワークを検討する必要がある。

■新駅予定地



②新駅の概要

○位置：熊谷駅から約 3.3 ㎞、持田駅から約 1.5 ㎞の位置に設置

○その他：新駅の１日当たり運行本数（平日）は、現在の運行状況を参考にすると、上り（羽生方面）50 本（うち午前７時・８時台は６本程度）、下り（三峰口方面）50 本（うち午前７時・８時台は７本程度）が見込まれ、熊谷駅での JR 高崎線への乗り換えや、羽生駅での東武伊勢崎線との乗り換えにより、首都圏へのアクセスも向上する。

（２）ラグビーワールドカップ 2019

ラグビーワールドカップは、夏季オリンピック、FIFA サッカーワールドカップに次ぐ、世界３大スポーツ祭典と呼ばれている大会で、2019 年に日本で開催される。2011 年のニュージーランド大会では総観客数が約 141 万人で、そのうち海外から訪れた観光客は約 13 万人、テレビ観戦者数は世界 207 の地域で約 39 億人となっている。

ラグビーワールドカップ 2019 では、県営熊谷ラグビー場をはじめ、全国 12 都市で開催することが決定し、開催都市は、特に観客が試合開催会場に円滑に来場及び帰宅できるよう、十分な量の公共交通（鉄道やバスの臨時運行、シャトルバス等）を準備することが求められ、観客の輸送・交通等に関する業務に取組むことが必要である。

さらに、大会開催を通じて創り上げる資産の将来活用（レガシープログラム）が求められており、開催後のまちづくりにも寄与することが望ましいとされている。なお、２万４千席に改修される県営熊谷ラグビー場は、大会期間中に留まらず、その後の利用も見込まれることから、継続的な交通手段確保を念頭に検討する必要がある。

２　地域住民のニーズ把握

２－１　熊谷市公共交通に関する市民アンケート調査

熊谷市公共交通に関する市民アンケート調査は、日常的な交通行動、公共交通の利用状況やサービスに対する満足度、公共交通の利用意向及び公共交通の維持・確保意向等を把握し、今後の公共交通のあり方を検討するに当たっての基礎資料として活用するために実施した。

調査対象者	住民基本台帳から無作為抽出した 15 歳以上の市民 3,000 人
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査日	平成 27 年 10 月 10 日（土）～平成 27 年 10 月 20 日（火）
調査項目	①回答者の属性（性別、年齢、職種、居住地、運転免許証の有無、自由に使える自動車などの保有状況、自宅近くのバス停留所の有無） ②ゆうゆうバスの認知度 ③日常的な交通行動（主な行き先、交通手段、外出頻度） ④バス（民間の路線バス、ゆうゆうバス）の利用状況等 ○バスの利用状況等（利用頻度、利用目的、利用しない理由、サービスが改善された場合の利用意向、サービスに対する満足度） ○外出する時に困ることの有無と困っている時の外出目的 ⑤鉄道（JR 高崎線・秩父鉄道・新幹線）の利用状況等（主な利用駅、利用目的、サービスに対する満足度 ⑥タクシーの利用状況等（利用頻度、利用目的、サービスに対する満足度） ⑦公共交通の利用意向（公共交通を利用して行きたい場所（上位３位を回答）、利用目的、利用頻度、利用時間帯） ⑧公共交通の維持・確保意向（公共交通の取組みの方向性、公共交通を維持・充実していくための方法、効果的な公共交通の利用促進策）
回収状況	回収票数 1,345 票（回収率 44.8%） ※熊谷地域：679 票、大里地域：133 票、妻沼地域：360 票、江南地域：154 票、住所無回答：19 票

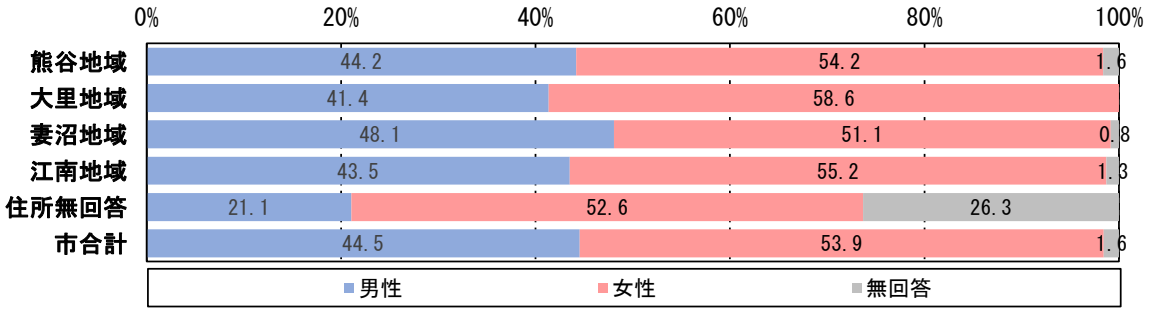
（１）回答者の属性

回答者の性別については「女性」の回答者が 53.9％と男性よりも多く、年齢は「60 歳代（25.5％）」が最も多く、60 歳以上の方が 51.4％を占めている。

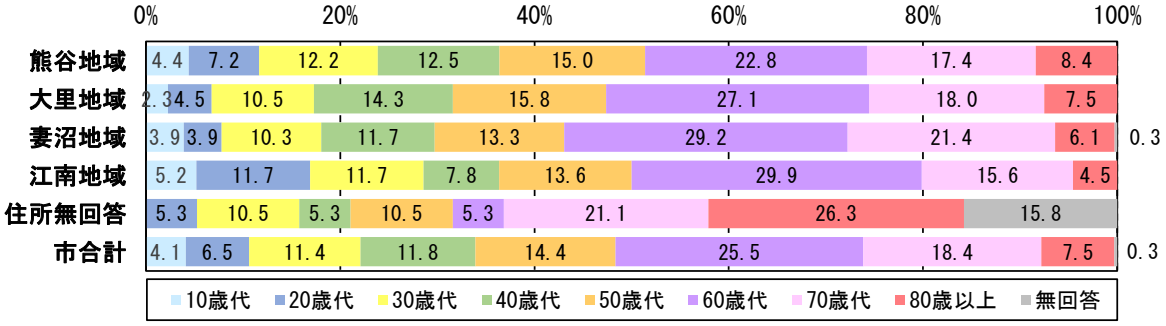
回答者の職種は「会社員・公務員」が 24.5％と最も多く、次いで「無職（23.0％）」、「専業主婦・主夫（19.3％）」となっている。

運転免許証の有無をみると、回答者の約 80％の人が自動車運転免許もしくはバイク運転免許を保有しており、回答者の約 20％の人はいずれの免許も保有していない。自動車などの保有状況をみると、自動車もしくはバイク、自転車のいずれも保有していない人は全回答者の 10.0％となっている。

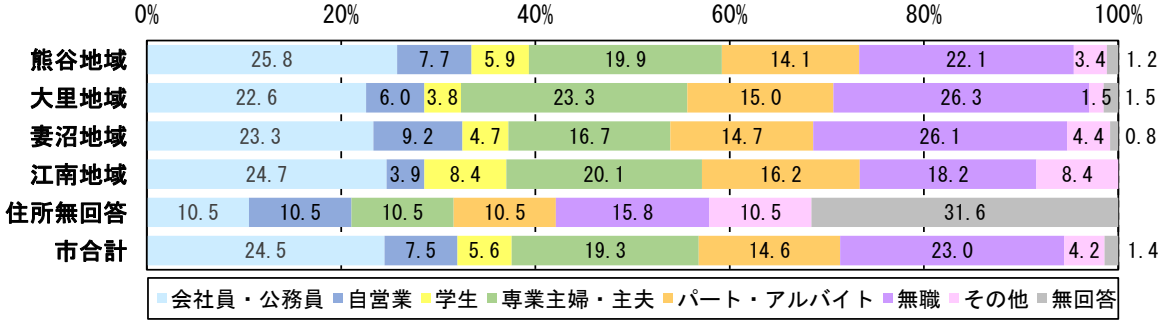
■性別



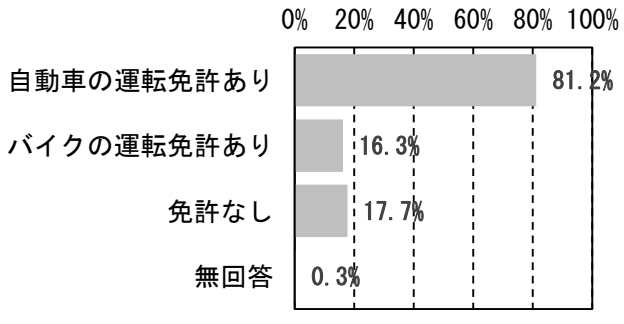
■年齢



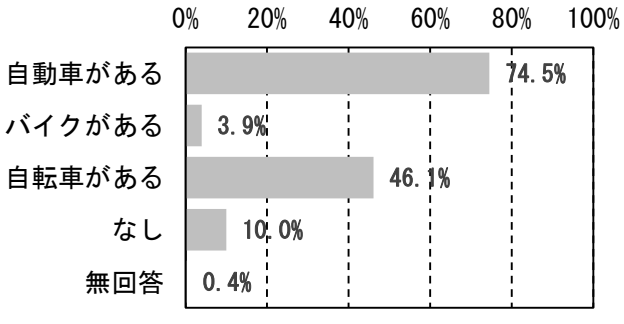
■職種



■運転免許証の有無

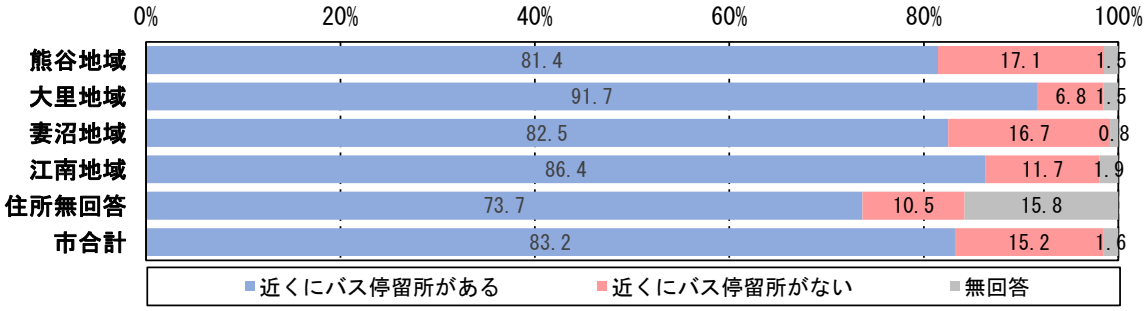


■自動車などの保有状況



自宅近くのバス停留所へのアクセスは、「近くにバス停留所がある」と回答した方が 83.2%を占め、各地域とも約 80%を超えている。

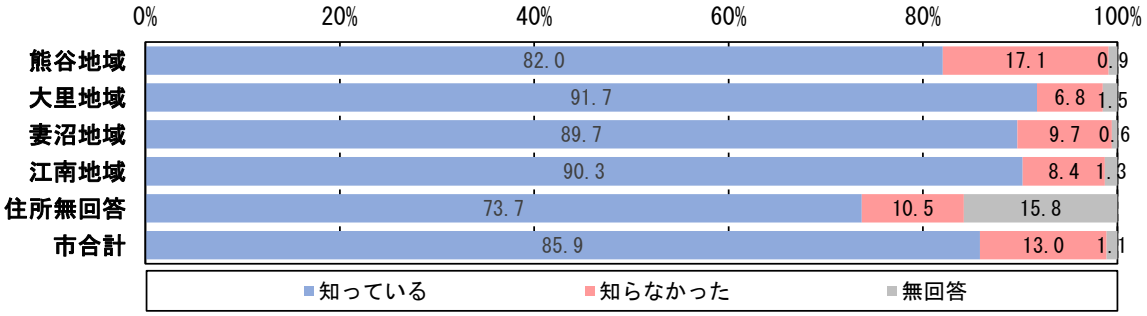
■自宅近くのバス停留所の有無



（2）ゆうゆうバスの認知度

ゆうゆうバスの認知度は、85.9%の人が「知っている」と回答し、各地域とも約 80%を超えている。

■ゆうゆうバスの認知度



（３）日常的な交通行動

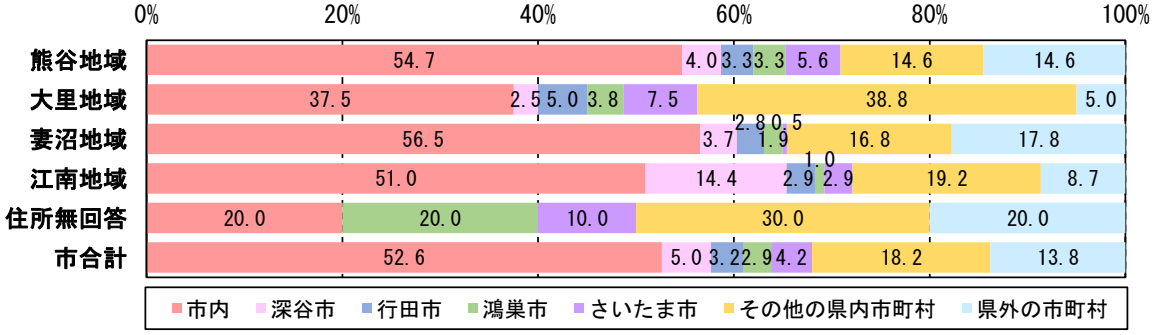
①通勤・通学の場合

通勤・通学先は、熊谷・妻沼・江南地域で「市内」への移動が最も多いものの、大里地域で「その他の県内市町村」が多くなっている。

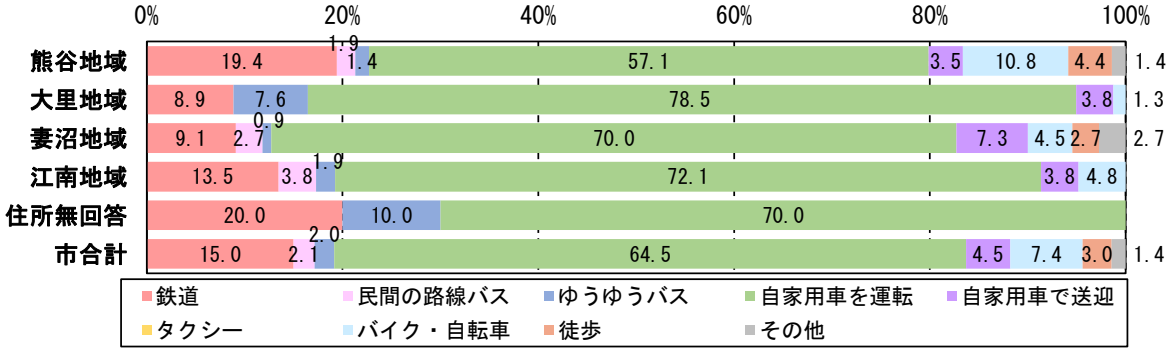
通勤・通学時の交通手段として、市合計で64.5%の人が「自家用車を運転」と回答し、民間の路線バスとゆうゆうバスは4.1%となっている。

通勤・通学目的による外出頻度は、どの地区も「週に５日以上」が最も多くなっている。

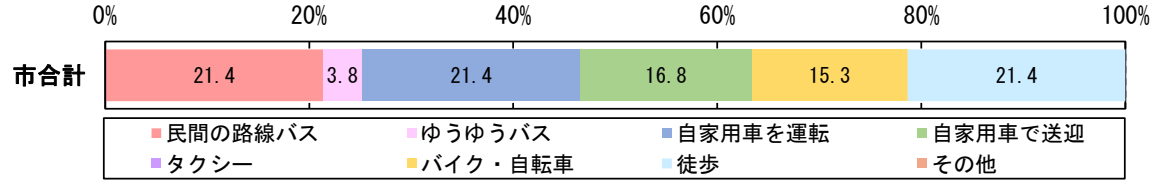
■通勤・通学目的による主な行き先



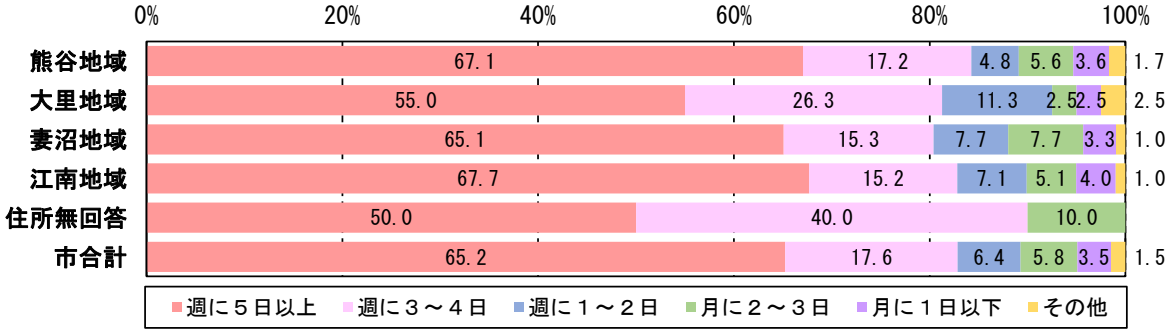
■通勤・通学目的による交通手段



■通勤・通学目的の駅までの交通手段



■通勤・通学目的による外出頻度



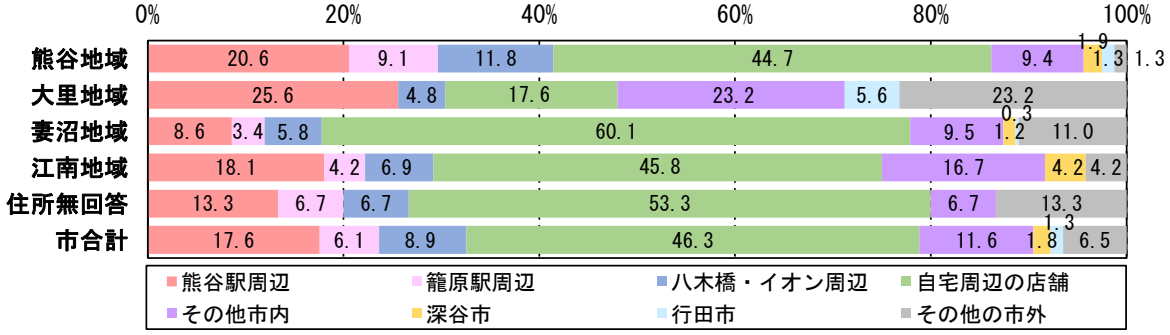
②買物（食料等最寄品）の場合

買物時の行き先は、「自宅周辺の店舗」が 46.3%と最も多く、次いで「熊谷駅周辺（17.6%）」となっており、地域別にみると、大里地域で「その他の市外」「行田市」と市外への移動が 28.8%と多くなっている。

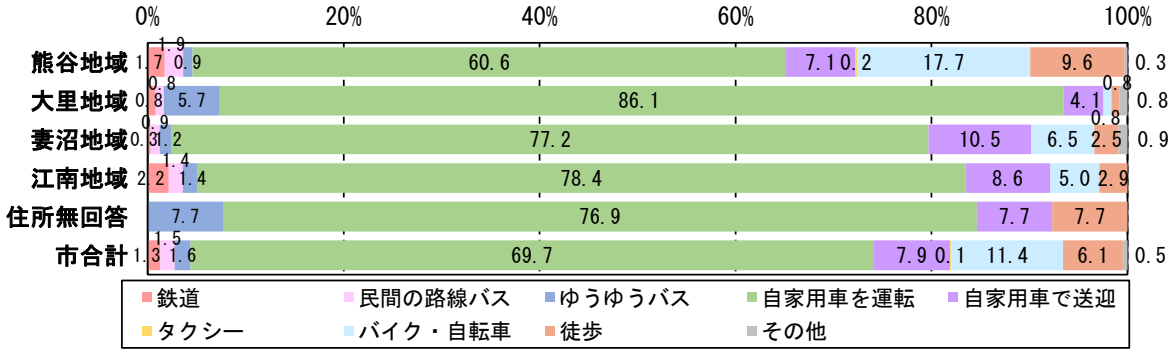
買物時の交通手段として、市合計で 69.7%の人が「自家用車を運転」と回答し、民間の路線バスとゆうゆうバスは 3.1%となっている。

買物目的による外出頻度は、どの地域も「週に１～２日」が最も多くなっている。

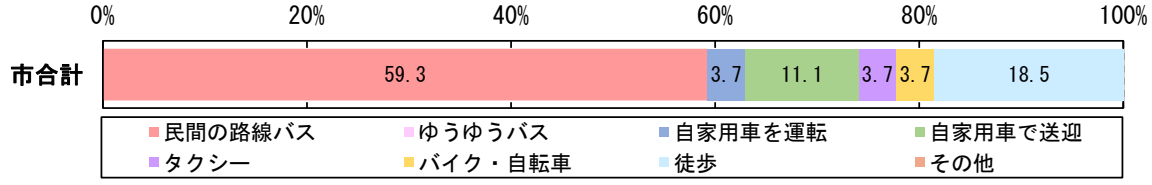
■買物（食料等最寄品）目的による主な行き先



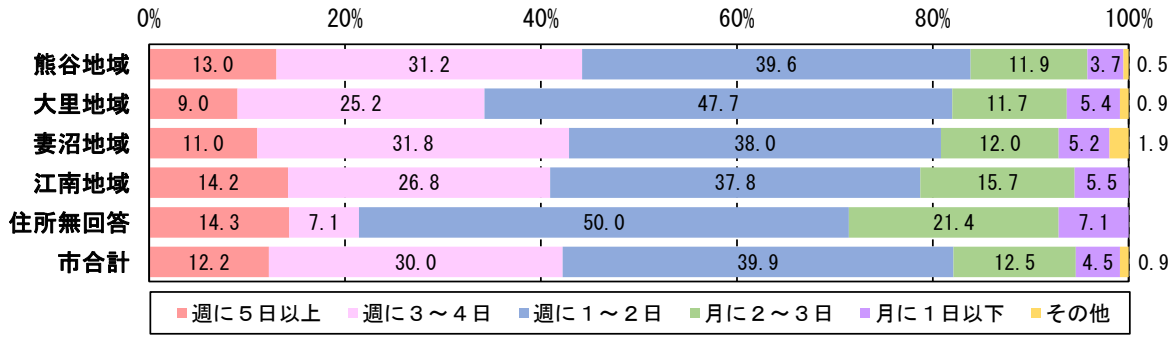
■買物（食料等最寄品）目的による交通手段



■買物（食料等最寄品）目的の駅までの交通手段



■買物（食料等最寄品）目的による外出頻度



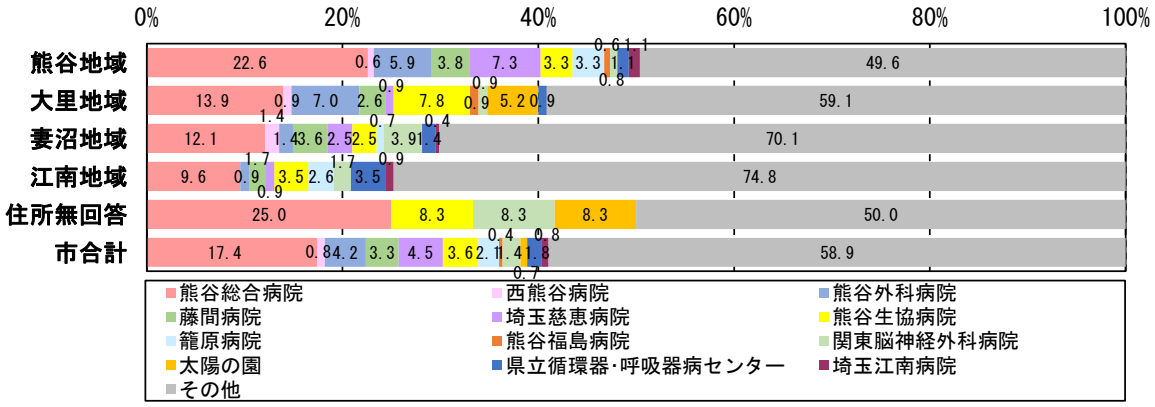
③通院の場合

通院先は、どの地域も「その他」が最も多く、次いで「熊谷総合病院」が多くなっている。

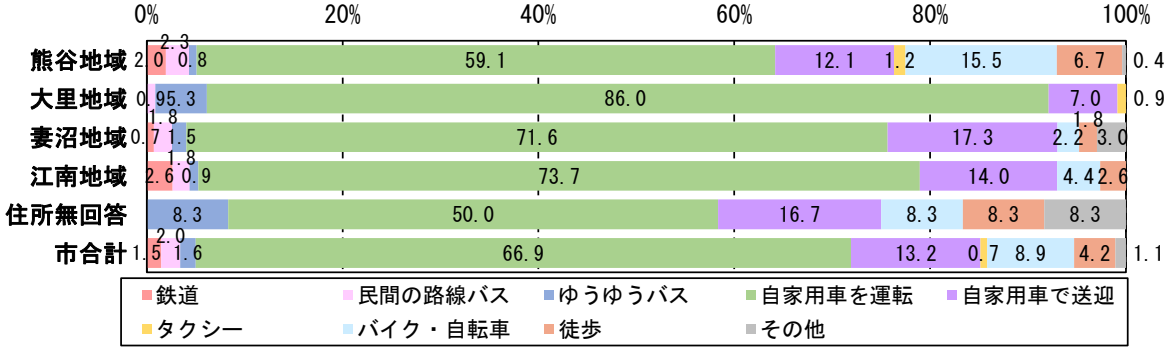
通院時の交通手段として、市合計で66.9%の人が「自家用車を運転」と回答し、次いで「自家用車で送迎（13.2%）」が多く、民間の路線バスとゆうゆうバスは3.6%となっている。

通院目的による外出頻度は、どの地域も「月に１日以下」が最も多くなっている。

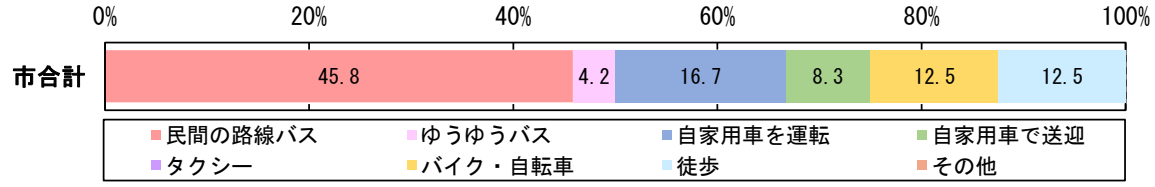
■通院目的による主な行き先



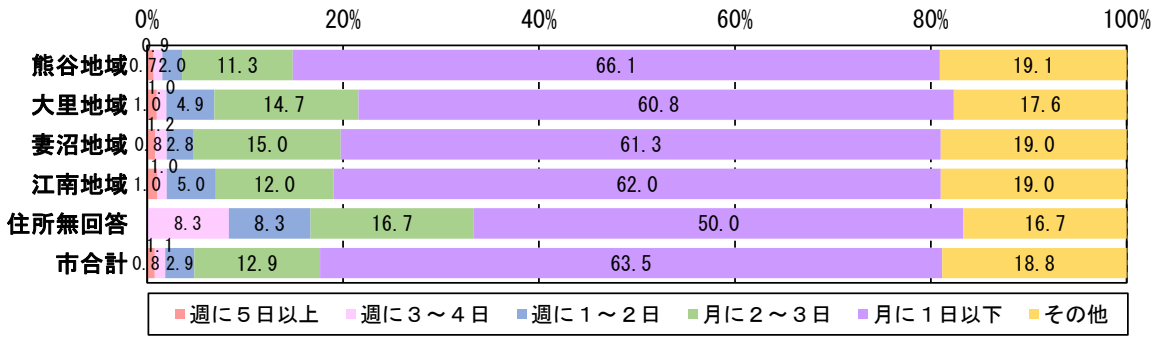
■通院目的による交通手段



■通院目的の駅までの交通手段



■通院目的による外出頻度



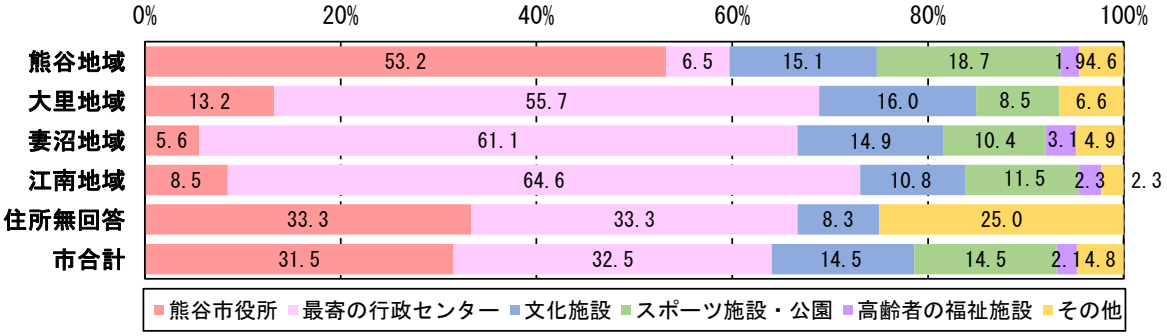
④公共施設利用の場合

公共施設利用時の行き先は、熊谷地域が「熊谷市役所（53.2%）」、その他３地域で「最寄りの行政センター」が最も多くなっている。

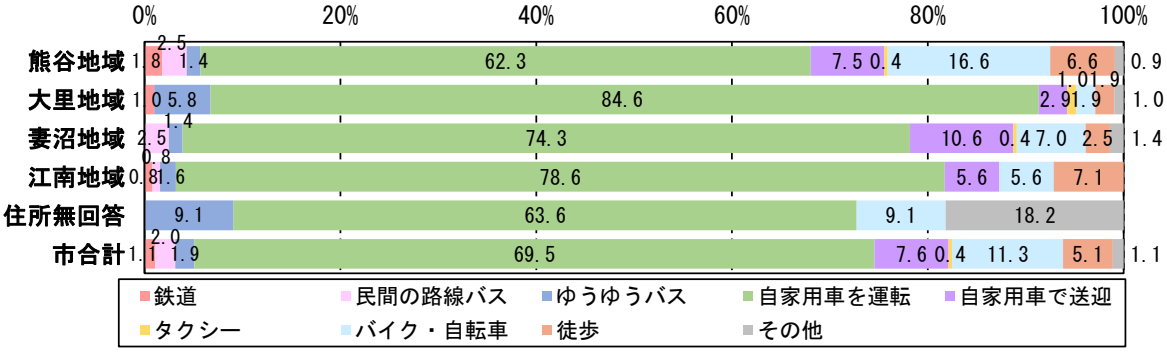
公共施設利用目的の交通手段として、市合計で69.5%の人が「自家用車を運転」と回答し、民間の路線バスとゆうゆうバスは3.9%となっている。

公共施設利用目的による外出頻度は、どの地域も「月に１日以下」が最も多くなっている。

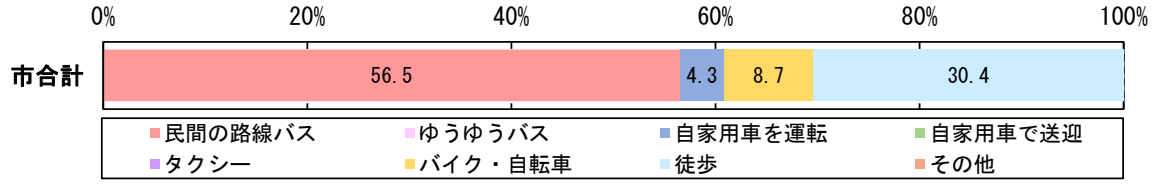
■公共施設利用目的による主な行き先



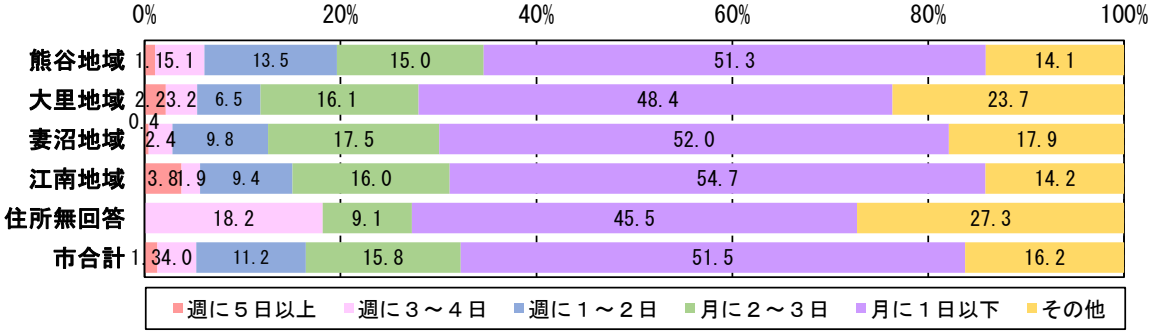
■公共施設利用目的による交通手段



■公共施設利用目的の駅までの交通手段



■公共施設利用目的による外出頻度



（４）バス（民間の路線バス、ゆうゆうバス）の利用状況等

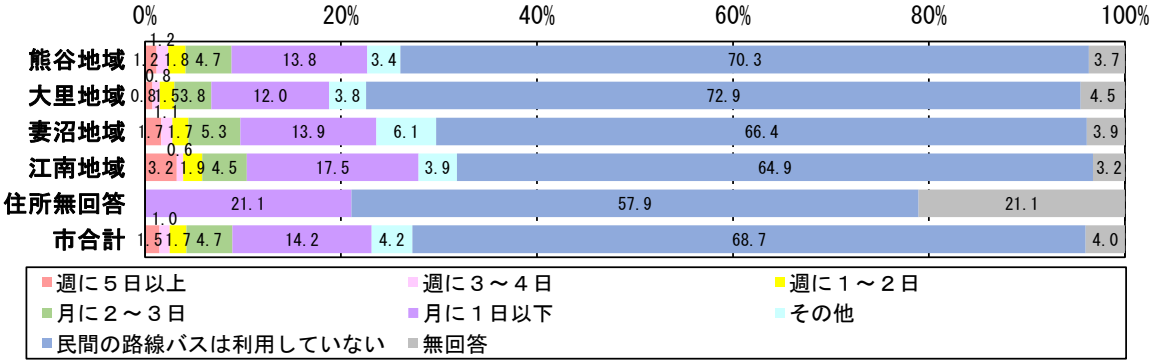
①バスの利用状況

バスの利用頻度としては、民間の路線バスが 27.3%、ゆうゆうバスが 12.6%の方が利用しているものの、「月に１日以下」、「月に２～３日」といった低頻度の利用が多くなっている。

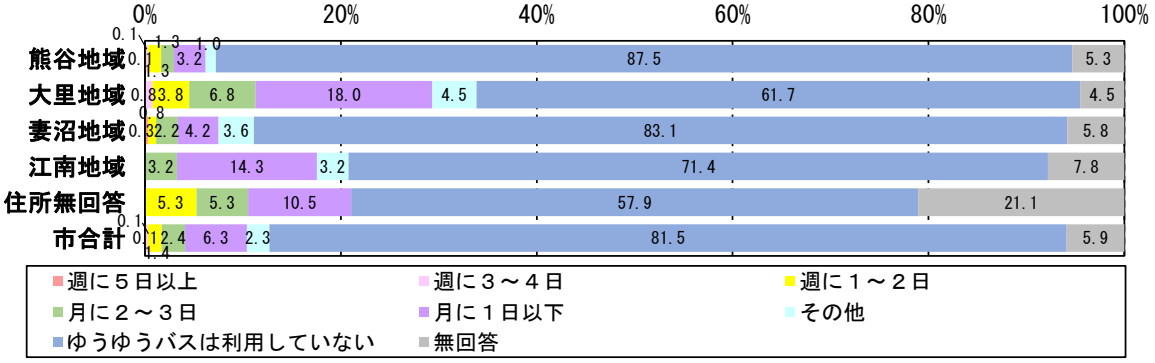
利用目的としては、民間の路線バス、ゆうゆうバスともに「趣味・娯楽」、「買物」目的が多くなっている。

■利用頻度

【民間の路線バス】

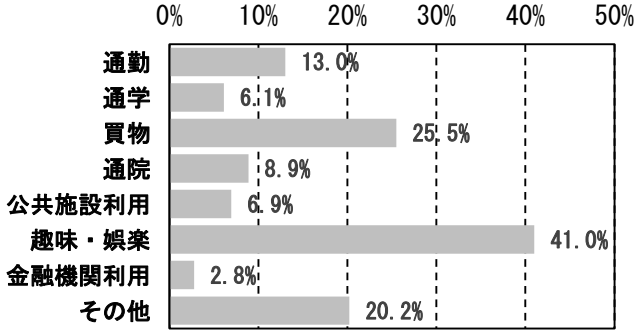


【ゆうゆうバス】

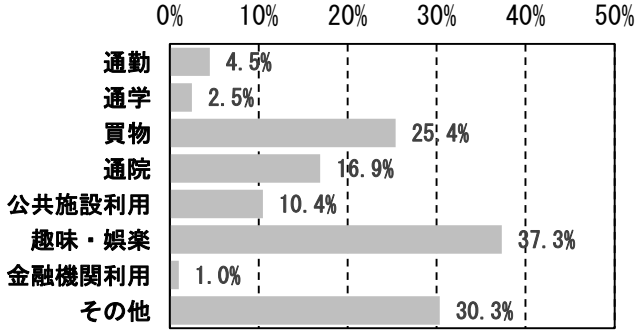


■利用目的

【民間の路線バス】



【ゆうゆうバス】

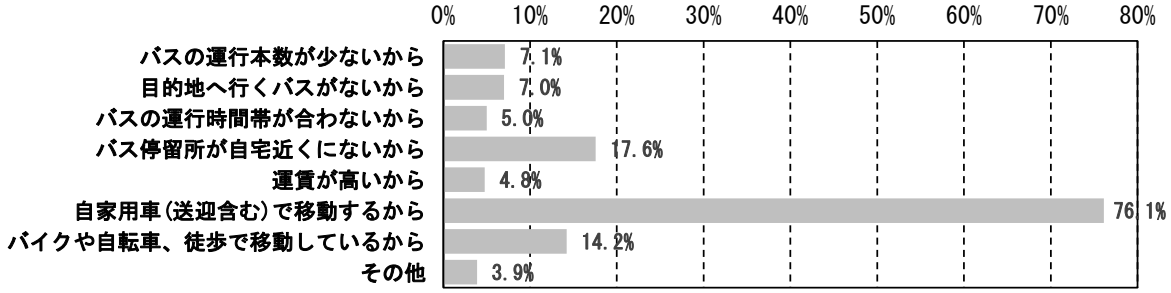


バスを利用しない理由としては、民間の路線バス、ゆうゆうバスともに「自家用車（送迎含む）で移動するから」が最も多く、次いで「バス停留所が自宅近くにないから」となっている。

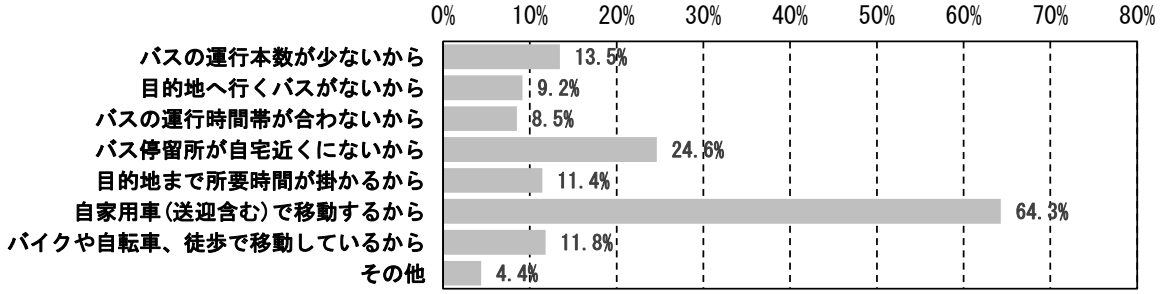
サービスが改善された場合の利用意向としては、「利用すると思う」と回答した方は民間の路線バスが 29.7%、ゆうゆうバスが 37.6%を占めている。

■利用しない理由（「利用していない」と回答した方のみ）

【民間の路線バス】

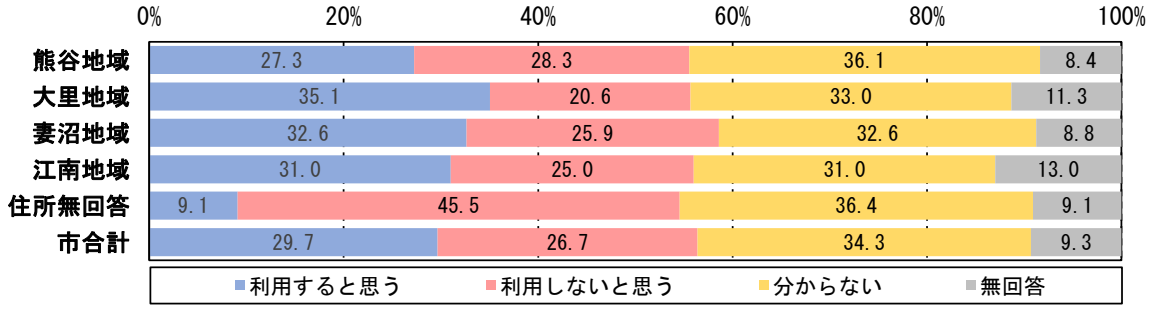


【ゆうゆうバス】

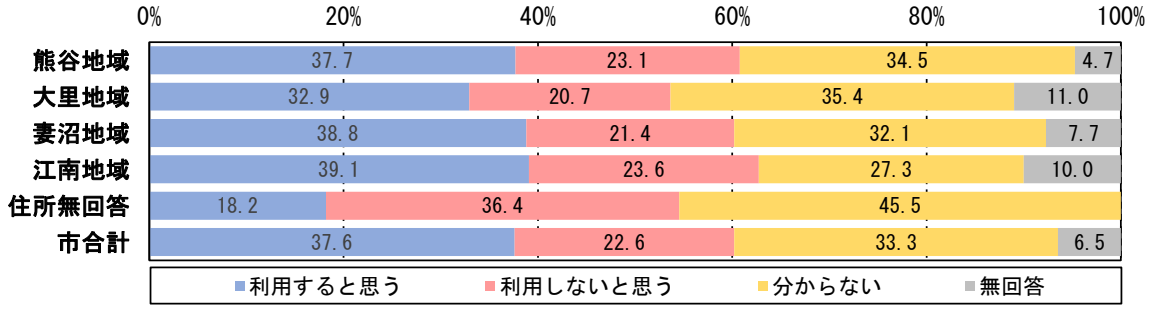


■サービスが改善された場合の利用意向（「利用していない」と回答した方のみ）

【民間の路線バス】



【ゆうゆうバス】



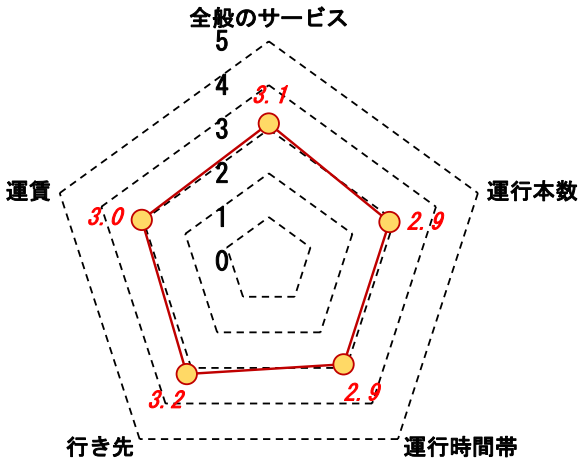
②運行サービスに対する満足度

運行サービスに対する満足度として、民間の路線バスは全体的に平均的な評価となっている。

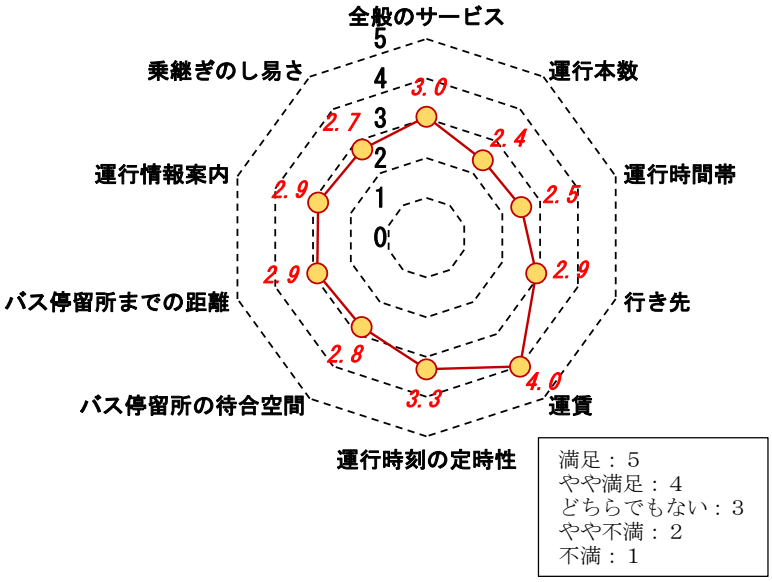
ゆうゆうバスは、「運賃」で高い評価を得ているものの、「運行本数」、「運行時間帯」及び「乗継ぎのし易さ」などで評価が低くなっている。

■運行サービスに対する満足度

【民間の路線バス】



【ゆうゆうバス】

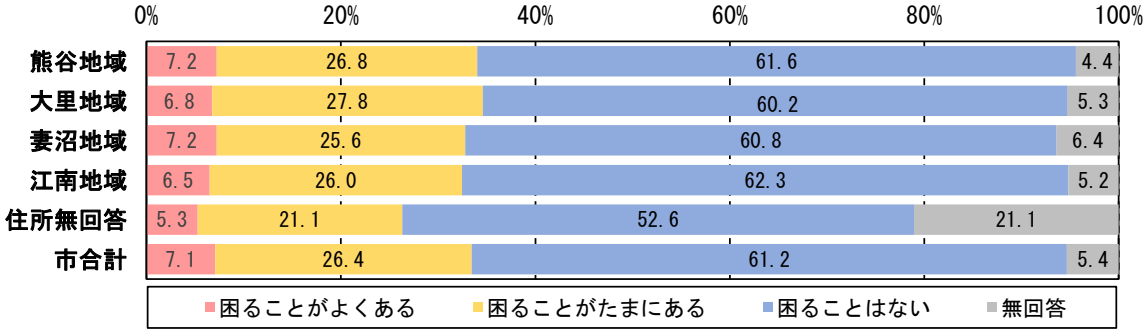


満足：5
やや満足：4
どちらでもない：3
やや不満：2
不満：1

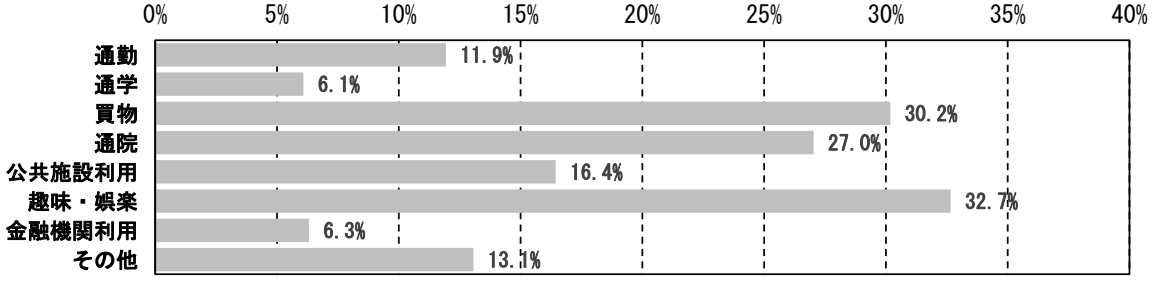
③外出する時に困ることの有無と困っている時の外出目的

回答者全体のうち、外出する時に7.1%の人が「困ることがよくある」、26.4%の人が「困ることがたまにある」との回答があり、特に「趣味・娯楽（32.7%）」、「買物（30.2%）」、「通院（27.0%）」目的で外出する時に困るとの回答が多くなっている。

■外出する時に困ることの有無



■困っている時の外出目的（「困ることがよくある」、「困ることがたまにある」と回答した方のみ）



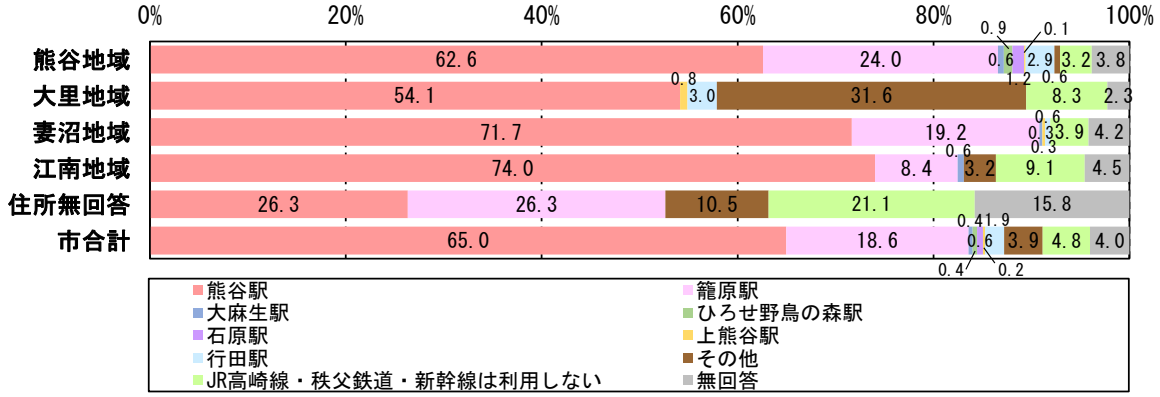
（５）鉄道（JR 高崎線・秩父鉄道・新幹線）の利用状況等

主な利用鉄道駅は、どの地域も「熊谷駅」が多く、次いで地域別にみると、大里地域で「その他（31.6%）」が多くなっている。

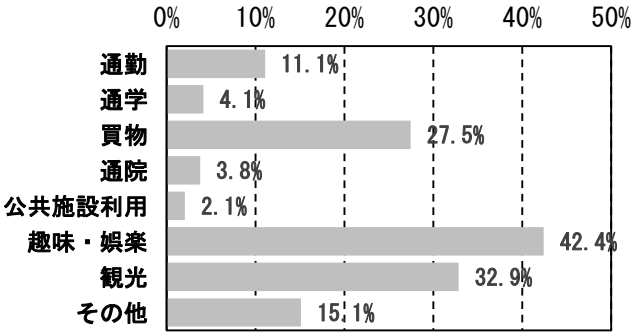
利用目的としては、「趣味・娯楽（42.4%）」、「観光（32.9%）」及び「買物（27.5%）」目的での利用が多くなっている。

運行サービスに対する満足度として、全体的に高い評価を得ている。

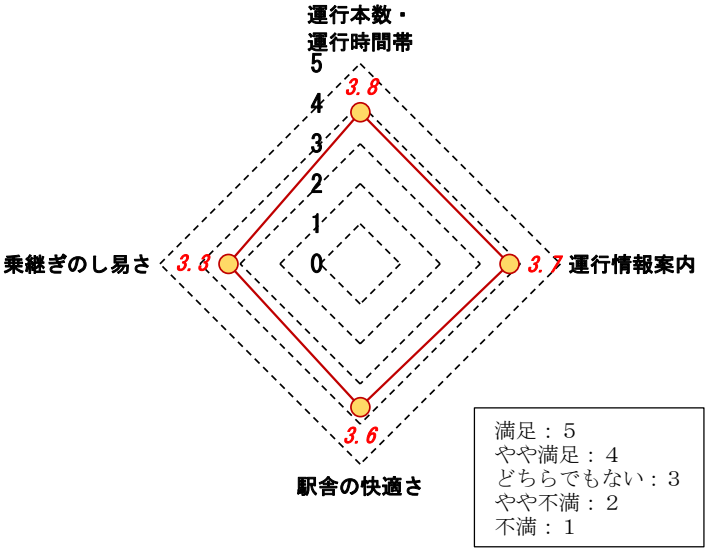
■主な利用鉄道駅



■利用目的



■運行サービスに対する満足度



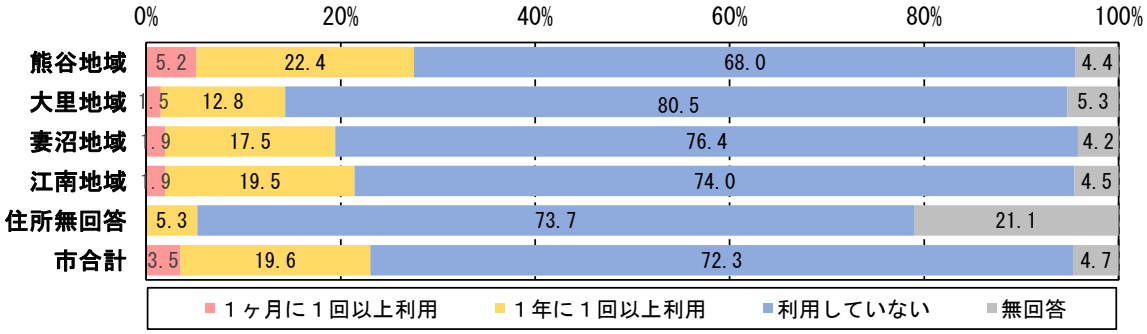
（６）タクシーの利用状況等

タクシーの利用頻度としては、3.5%の人が「１ヶ月に１回利用」、19.6%の人が「１年に１回以上」との回答となっている。

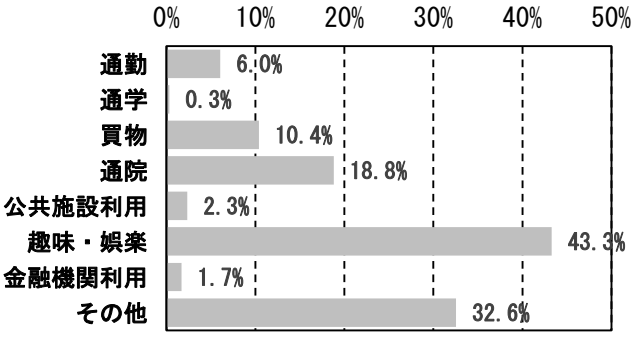
利用目的としては、「趣味・娯楽（43.3%）」、「通院（18.8%）」目的での利用が多くなっている。

運行サービスに対する満足度として、「車両の乗り心地・乗りやすさ」と「利用のし易さ（電話での呼び出し等）」で高い評価を得ているものの、「運賃」と「料金・サービス等の運行情報案内」で評価が低くなっている。

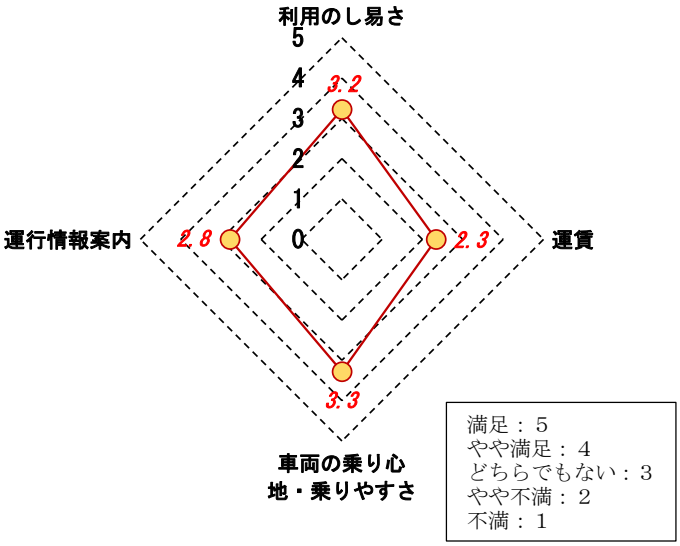
■タクシーの利用頻度



■利用目的



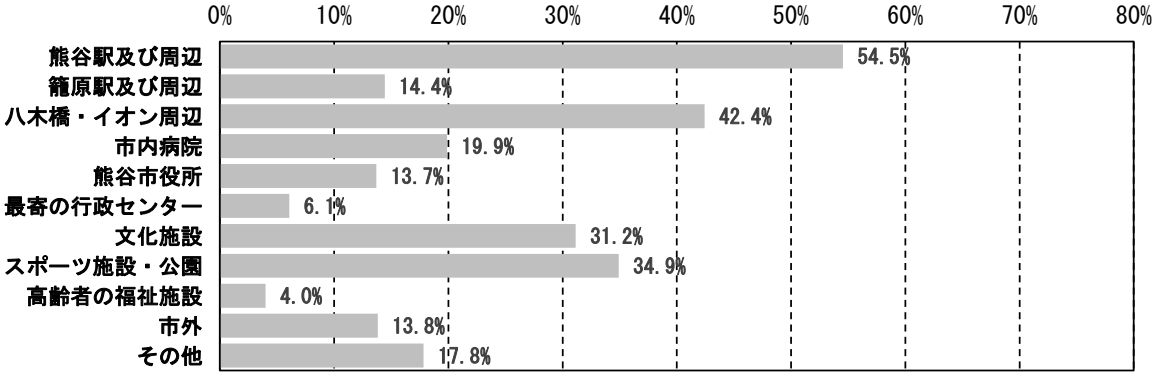
■運行サービスに対する満足度



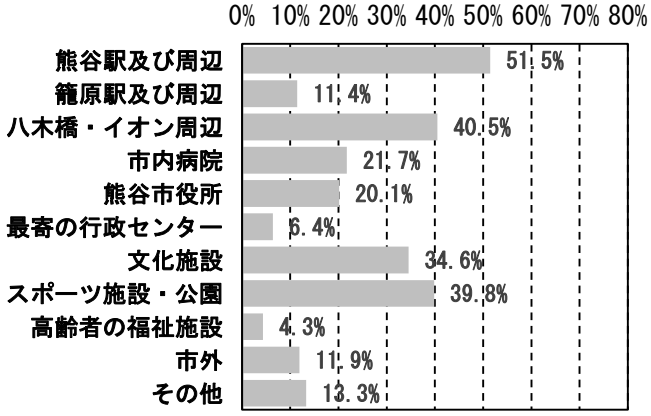
（７）公共交通の利用意向

バス等を利用して行きたい場所としては、「熊谷駅及び周辺」、「八木橋・イオン周辺」、「スポーツ施設・公園」、「文化施設」及び「市内病院」の順で多くなっている。

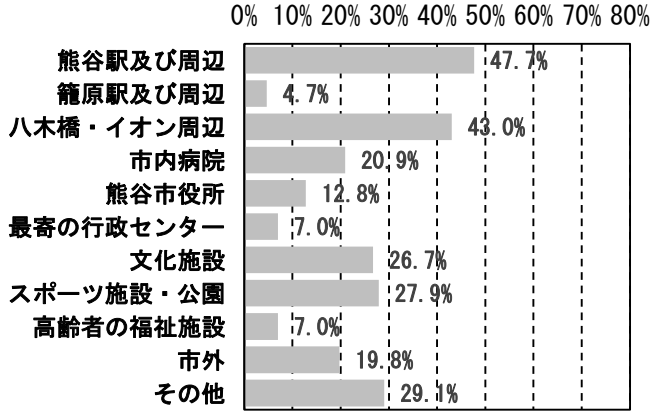
■バス等を利用して行きたい場所（市合計）



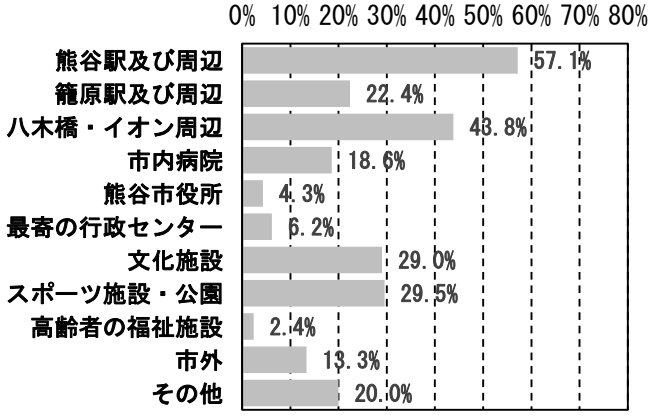
【熊谷地域】



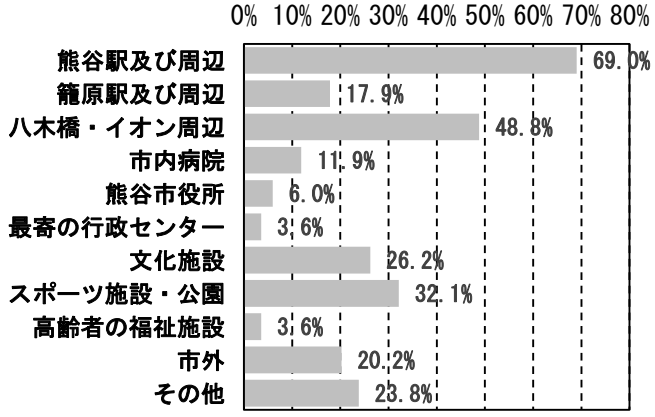
【大里地域】



【妻沼地域】



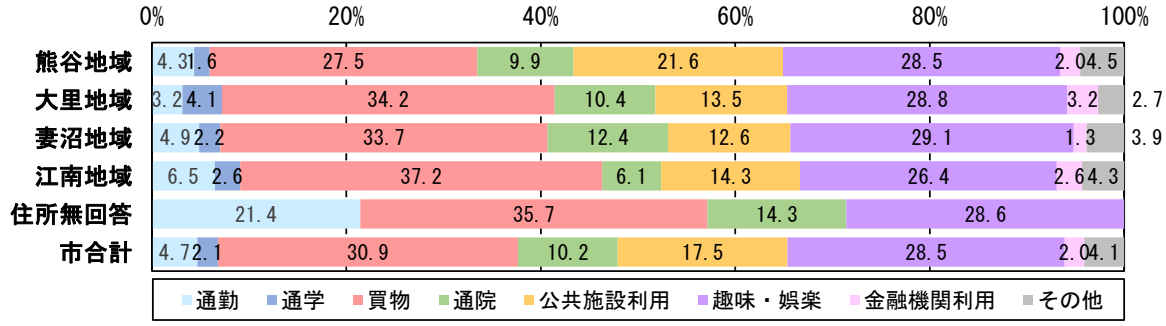
【江南地域】



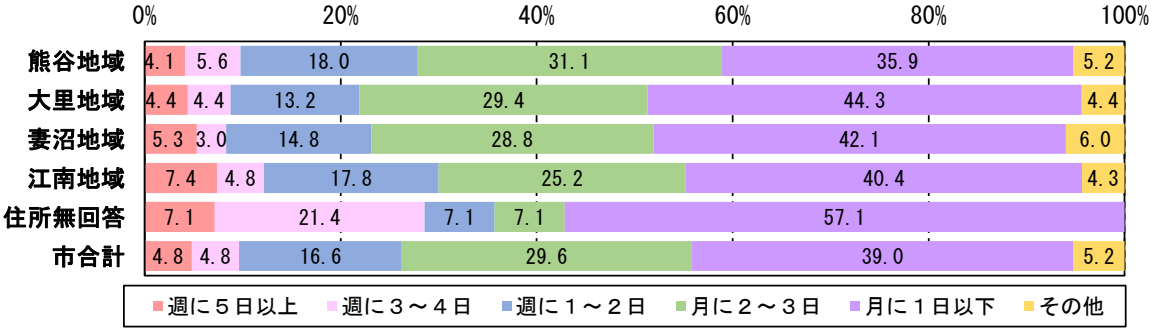
利用目的としては、「買物（30.9%）」、「趣味・娯楽（28.5%）」、「公共施設利用（17.5%）」が多く、利用頻度は利用目的に反映して、「月に１日以下（39.0%）」、「月に２～３日（29.6%）」が多くなっている。

利用時間帯は、「午前（９～11 時台）（54.4%）」、「午後（12～15 時台）（23.5%）」が多くなっている。

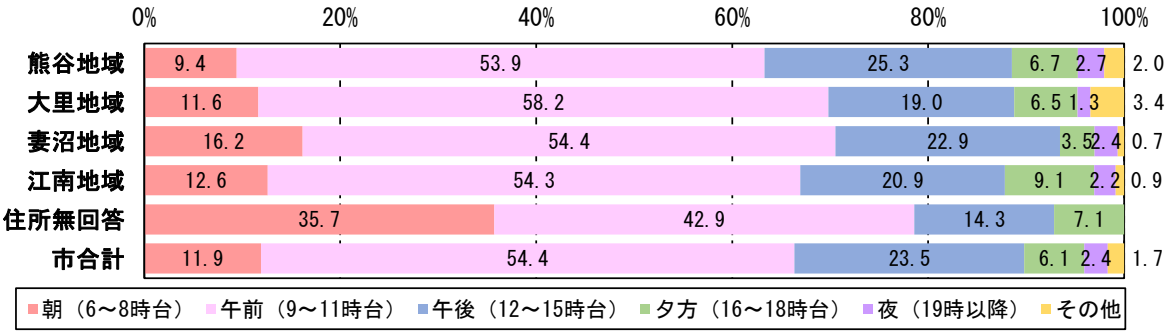
■利用目的



■利用頻度



■利用時間帯



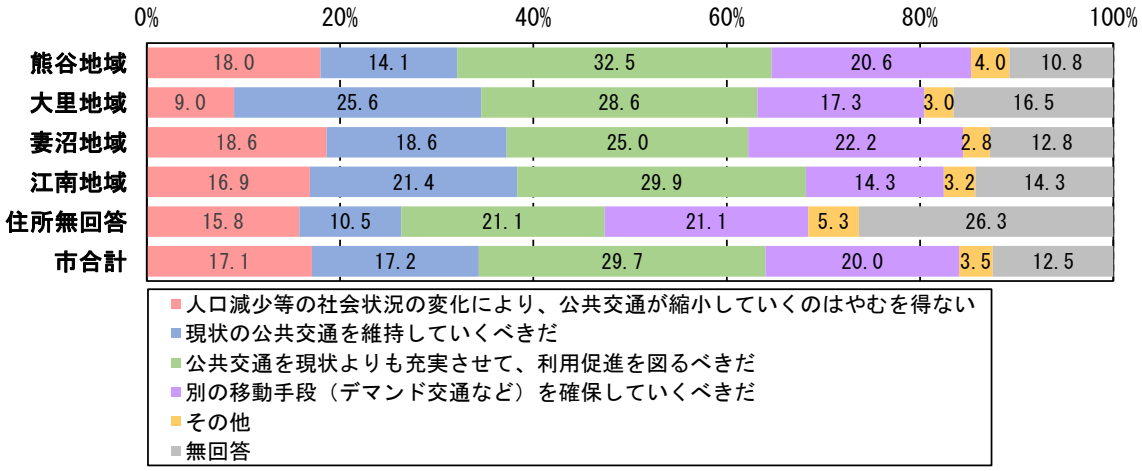
（８）公共交通の維持・確保意向

公共交通の取組みの方向性としては、「公共交通を現状よりも充実させて、利用促進を図るべきだ」と回答した方が 29.7%と多く、次いで「別の移動手段（デマンド交通など）を確保していくべきだ（20.0%）」となっている。

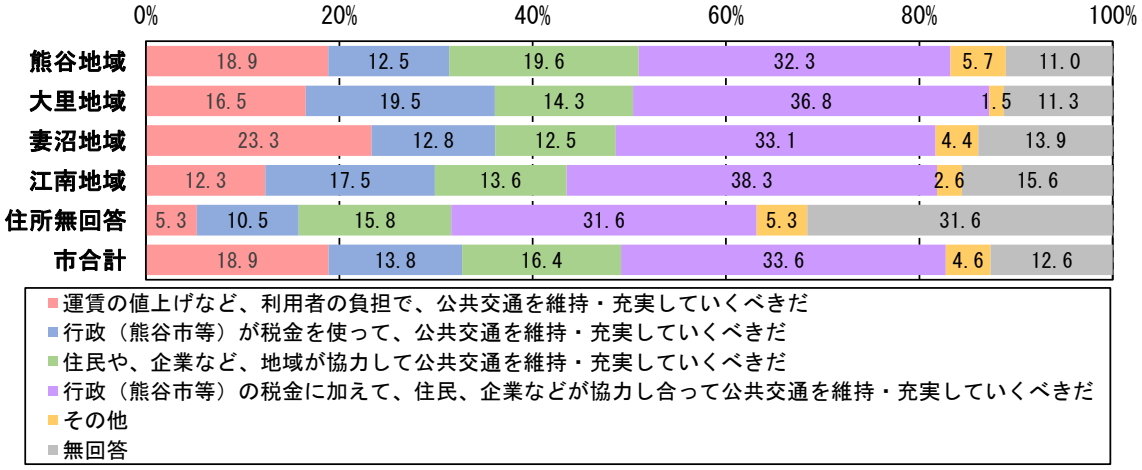
公共交通を維持・充実していくための方法は、「行政（熊谷市等）の税金に加えて、住民、企業などが協力し合って公共交通を維持・充実していくべきだ」と回答した方が 33.6%と多くなっている。

公共交通の利用促進を図るための効果的な取組みは、「民間の路線バスやゆうゆうバス等の運行ルートや時刻表、乗り方案内等を掲載した公共交通マップの作成・配布（46.1%）」、「観光施設や商業施設等と連携した公共交通割引チケット等の発行（25.5%）」、「パソコン・スマートフォン等への時刻表、乗継情報等の提供（25.2%）」の順で多くなっている。

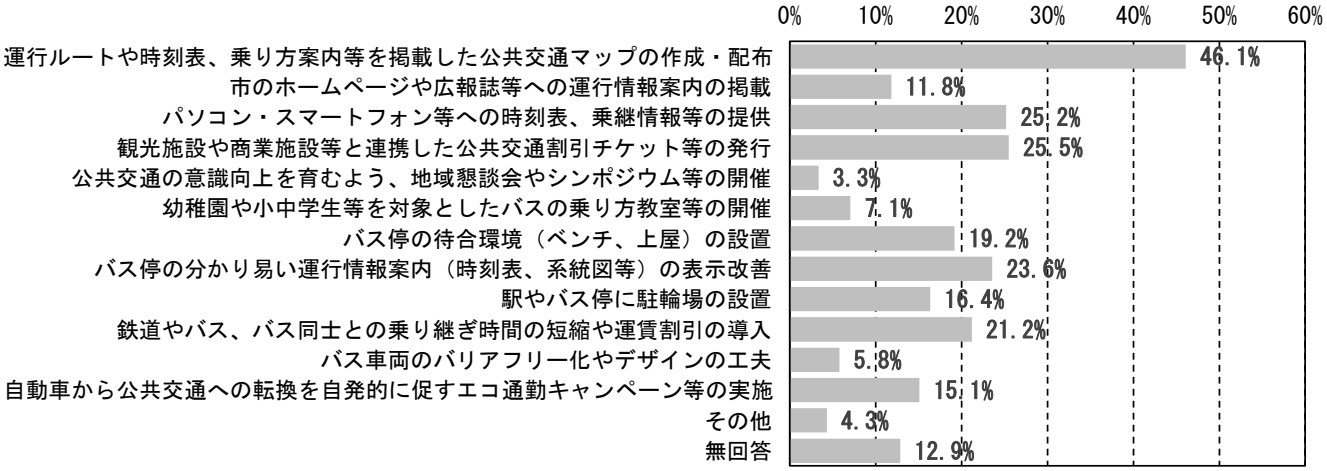
■公共交通の取組みの方向性



■公共交通を維持・充実していくための方法



■公共交通の利用促進を図るための効果的な取組み



２－２　ゆうゆうバス利用者アンケート調査

ゆうゆうバス利用者アンケート調査は、ゆうゆうバスの利用状況、運行サービスに対する満足度、乗り継ぎの有無と可能性、ゆうゆうバスの利用をより一層高めるために必要なサービスと支払い運賃可能額及び秩父鉄道新駅まで延伸した場合の利用意向（さくら号、グライダー号・ムサシトミヨ号のみ）を把握し、ゆうゆうバスを見直しに当たっての基礎資料として活用するために実施した。

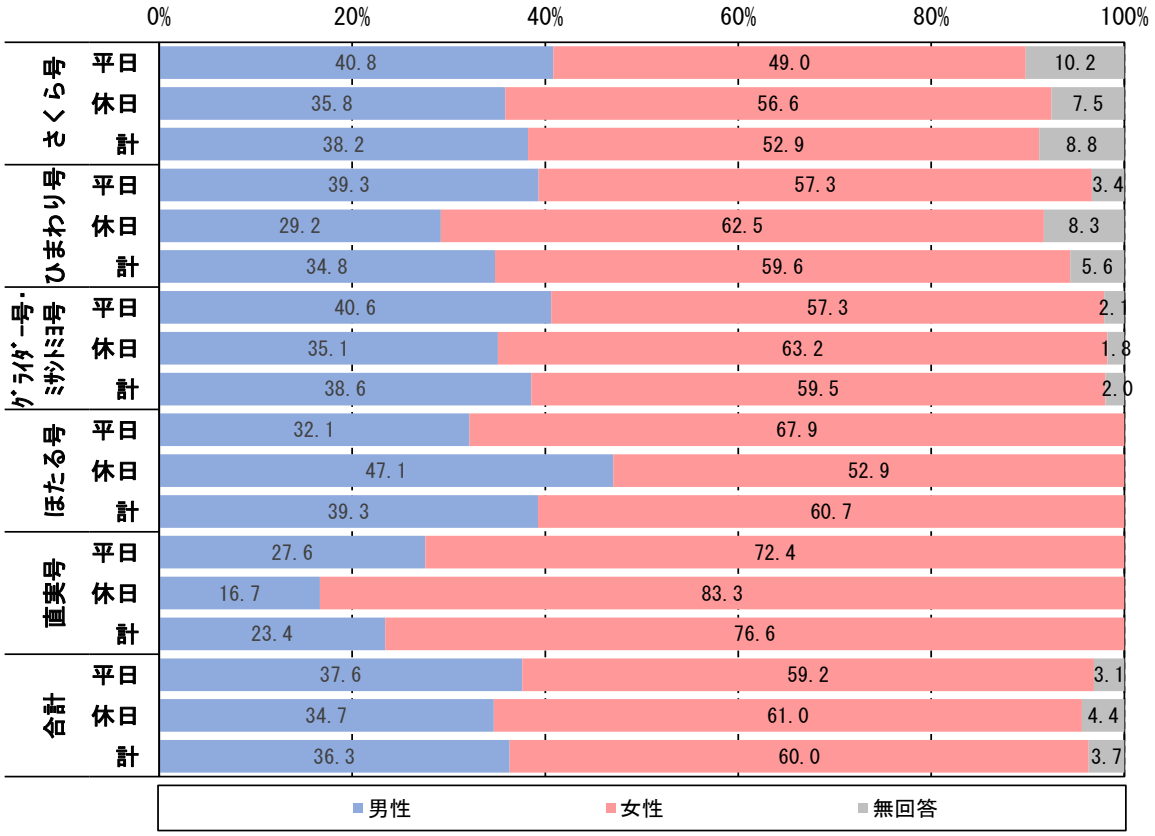
<table>
<tr><td>調査対象者</td><td>ゆうゆうバス利用者</td></tr>
<tr><td>調査方法</td><td>調査員による直接ヒアリング＋手渡し配布・郵送回収</td></tr>
<tr><td>調査日</td><td>平日：平成 27 年９月 28 日（月）、休日：平成 27 年９月 27 日（日）</td></tr>
<tr><td>調査項目</td><td>①回答者の属性（性別、年齢）
②ゆうゆうバスの利用状況（利用目的、利用頻度）
③運行サービスに対する満足度（運行本数、運行時間帯、行き先、運賃、運行時間の定時性、バス停の待合空間、自宅からバス停までの距離、時刻表・路線図等の運行情報案内、他のバスや鉄道との乗継ぎのし易さ、全般のサービス）
④乗り継ぎの有無と、運行サービスが向上する場合の乗り継ぎ可能性
⑤ゆうゆうバスの利用をより一層高めるために必要なサービスと支払い運賃可能額
⑥秩父鉄道新駅まで延伸した場合の利用意向（さくら号、グライダー号・ムサシトミヨ号のみ）</td></tr>
<tr><td>回収状況</td><td>全体 570 票（平日 319 票、休日 251 票）
<table>
<tr><th></th><th>平日</th><th>休日</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>さくら号</td><td>49 票</td><td>53 票</td><td>102 票</td></tr>
<tr><td>ひまわり号</td><td>89 票</td><td>72 票</td><td>161 票</td></tr>
<tr><td>グライダー号・ムサシトミヨ号</td><td>96 票</td><td>57 票</td><td>153 票</td></tr>
<tr><td>ほたる号</td><td>56 票</td><td>51 票</td><td>107 票</td></tr>
<tr><td>直実号</td><td>29 票</td><td>18 票</td><td>47 票</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>319 票</td><td>251 票</td><td>570 票</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

（１）回答者の属性

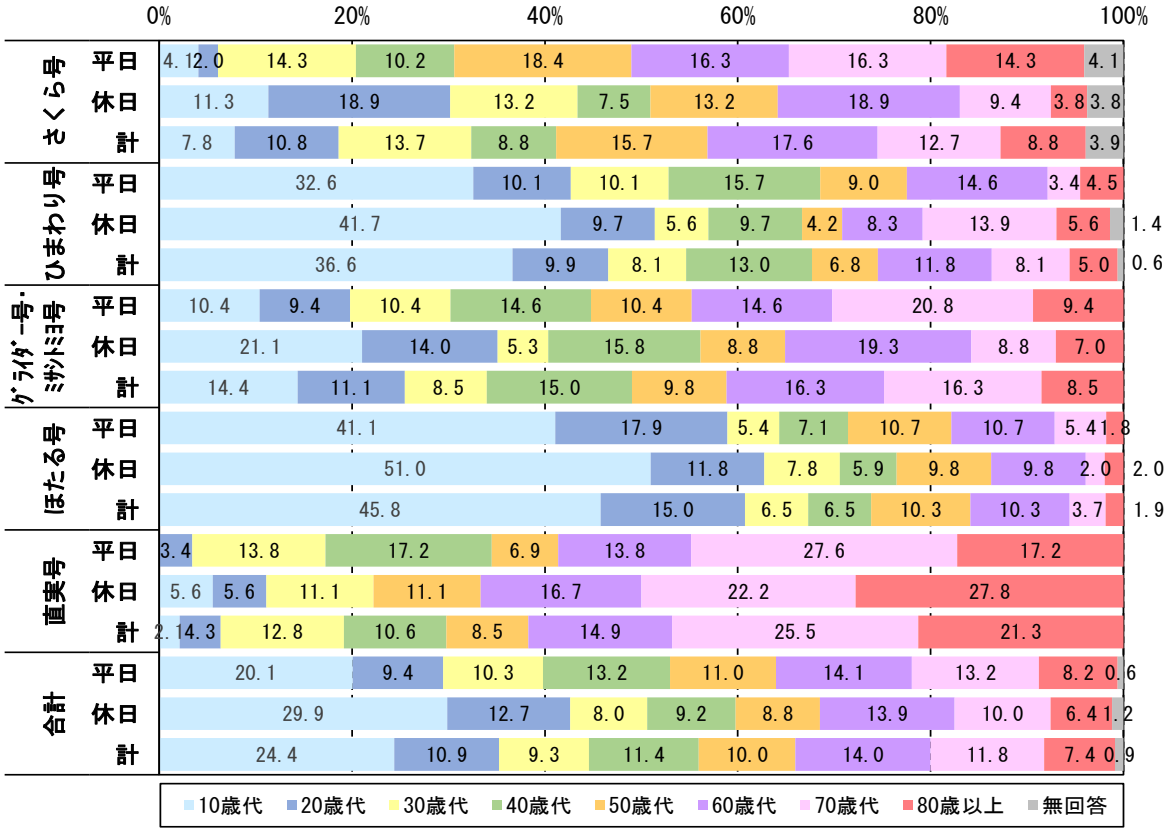
性別については、女性の回答者が 60.0%と男性よりも多い。

年齢については、ひまわり号とほたる号で 10 歳代の方が、直実号で 60 歳以上の方が、さくら号とグライダー号・ムサシトミヨ号で幅広い世代で多くなっている。

■性別



■年齢



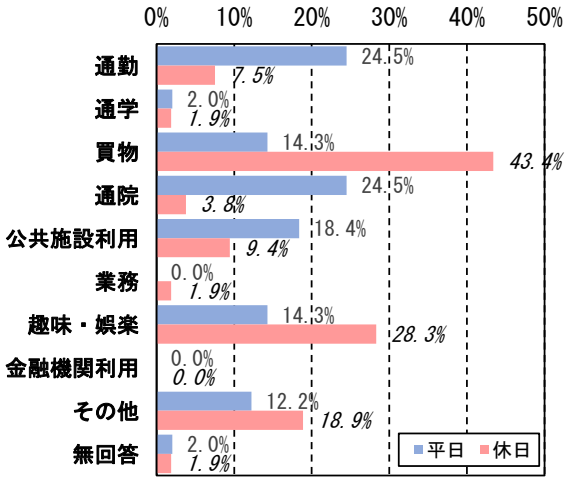
（２）ゆうゆうバスの利用状況

平日の利用目的については、さくら号とグライダー号・ムサシトミヨ号は通勤、通院目的が、ひまわり号とほたる号は通勤、通学目的が、直実号は通院、公共施設利用目的での利用が多くなっており、休日は、各系統とも買物目的が最も多くなっている。

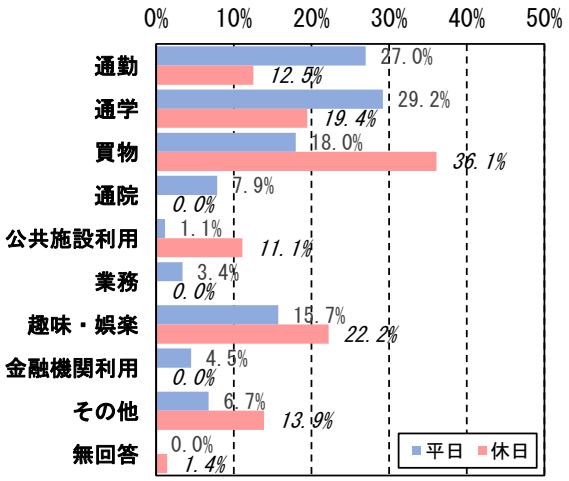
利用頻度は、通勤、通学目的での利用割合が多いひまわり号、グライダー号・ムサシトミヨ号及びほたる号で週５日以上の利用が多くなっている。

■利用目的

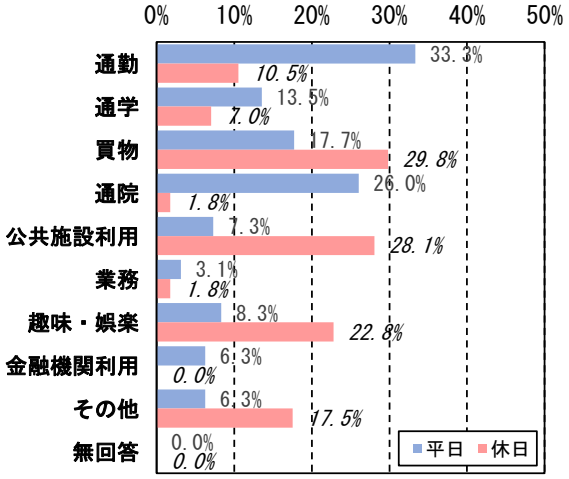
【さくら号】



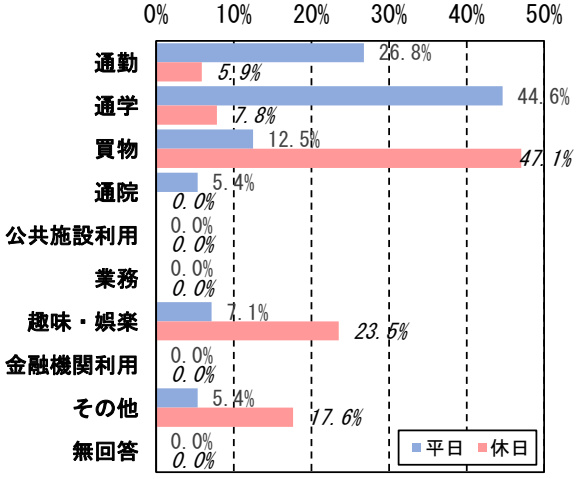
【ひまわり号】



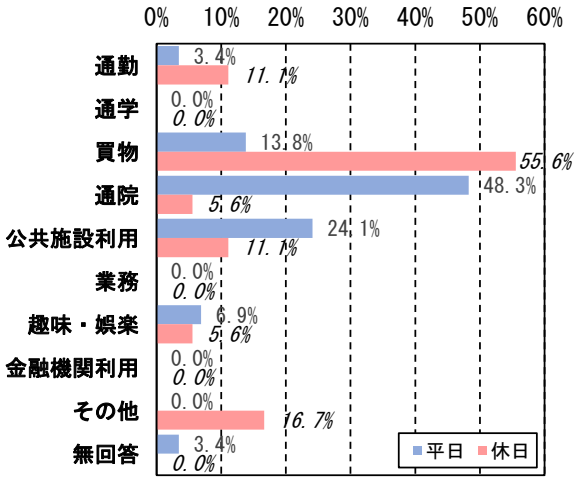
【グライダー号・ムサシトミヨ号】



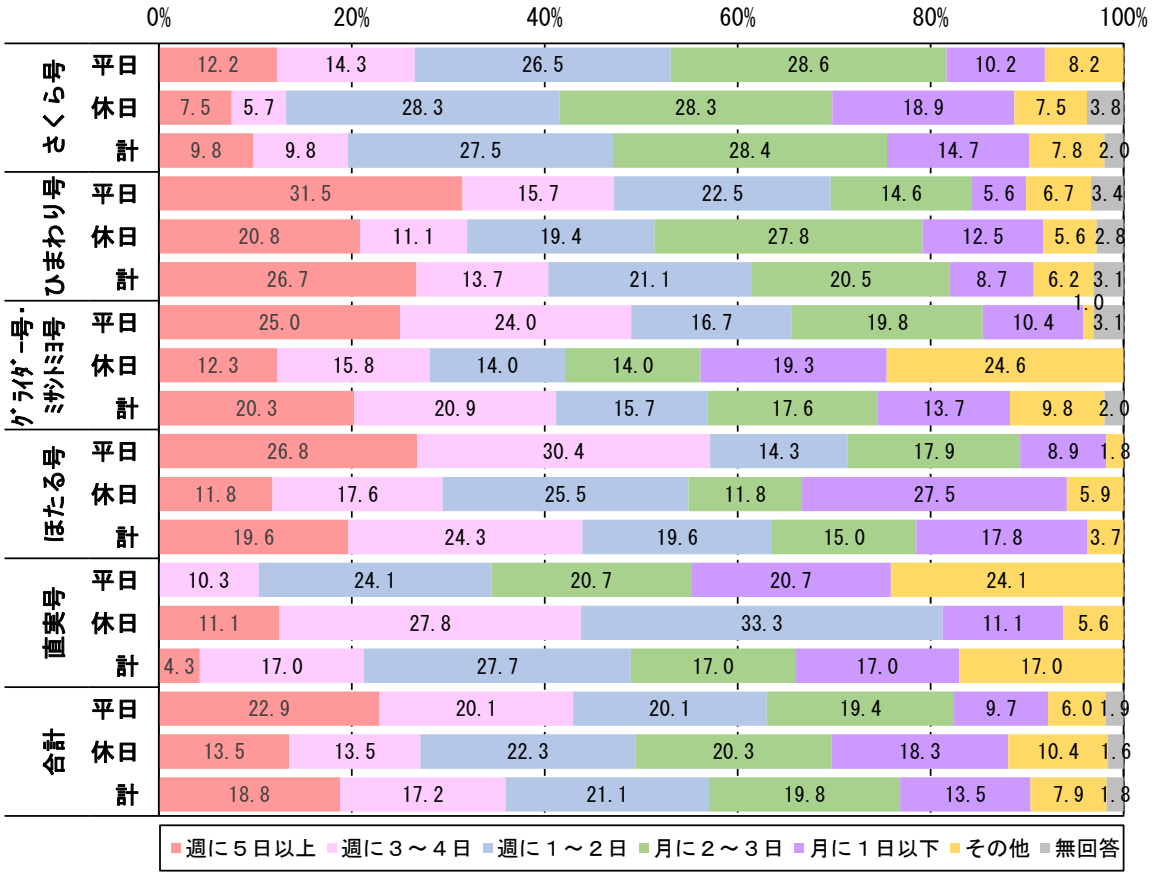
【ほたる号】



【直実号】



■利用頻度

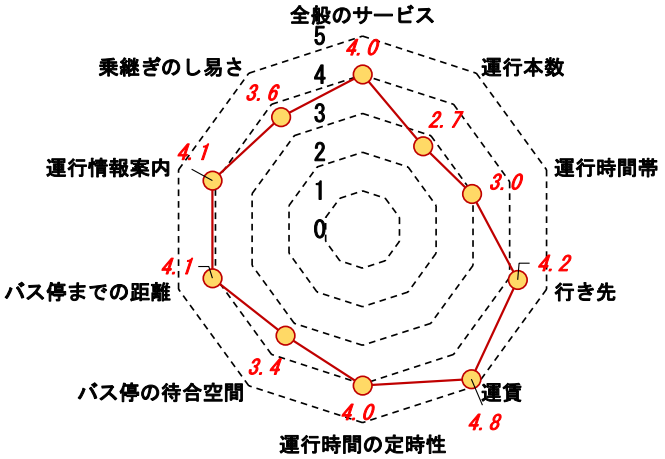

0%
20%
40%
60%
80%
100%
さくら号
平日 12.2 14.3 26.5 28.6 10.2 8.2
休日 7.5 5.7 28.3 28.3 18.9 7.5 3.8
計 9.8 9.8 27.5 28.4 14.7 7.8 2.0
ひまわり号
平日 31.5 15.7 22.5 14.6 5.6 6.7 3.4
休日 20.8 11.1 19.4 27.8 12.5 5.6 2.8
計 26.7 13.7 21.1 20.5 8.7 6.2 3.1
ｸﾞﾗｲﾀﾞｰ号・ﾐｻﾄ33号
平日 25.0 24.0 16.7 19.8 10.4 1.0 3.1
休日 12.3 15.8 14.0 14.0 19.3 24.6
計 20.3 20.9 15.7 17.6 13.7 9.8 2.0
ほたる号
平日 26.8 30.4 14.3 17.9 8.9 1.8
休日 11.8 17.6 25.5 11.8 27.5 5.9
計 19.6 24.3 19.6 15.0 17.8 3.7
直実号
平日 10.3 24.1 20.7 20.7 24.1
休日 11.1 27.8 33.3 11.1 5.6
計 4.3 17.0 27.7 17.0 17.0 17.0
合計
平日 22.9 20.1 20.1 19.4 9.7 6.0 1.9
休日 13.5 13.5 22.3 20.3 18.3 10.4 1.6
計 18.8 17.2 21.1 19.8 13.5 7.9 1.8
週に５日以上
週に３～４日
週に１～２日
月に２～３日
月に１日以下
その他
無回答

（３）運行サービスに対する満足度

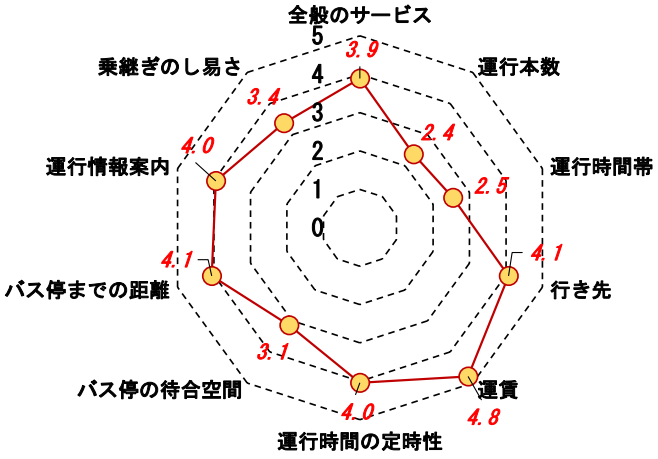
ゆうゆうバス全体としては、特に運賃、行き先、運行情報案内及びバス停までの距離で高い評価を得ているものの、運行本数で評価が低くなっている。

■運行サービスに対する満足度

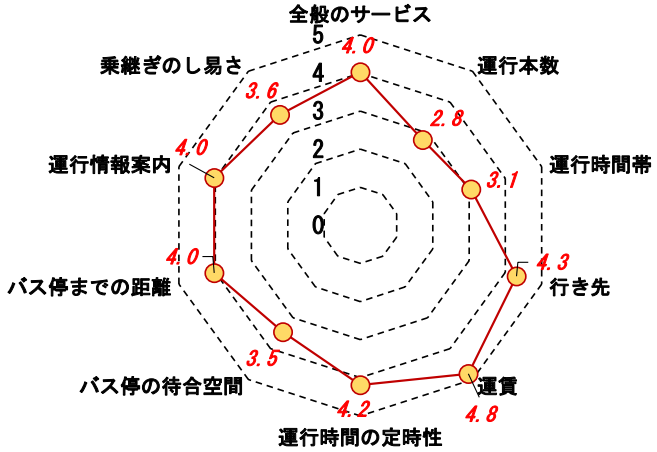
【ゆうゆうバス全体】



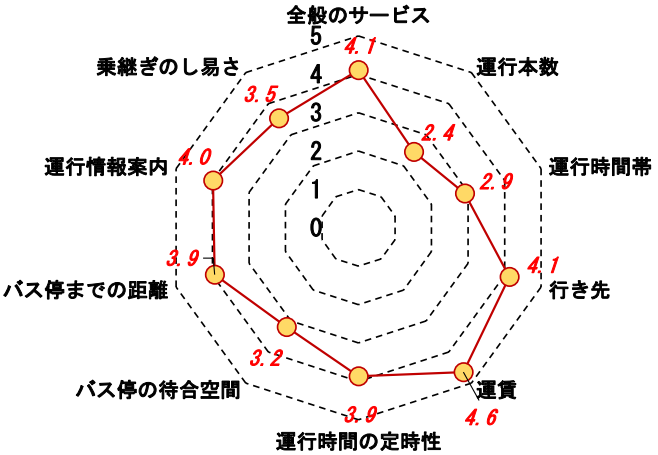
【さくら号】



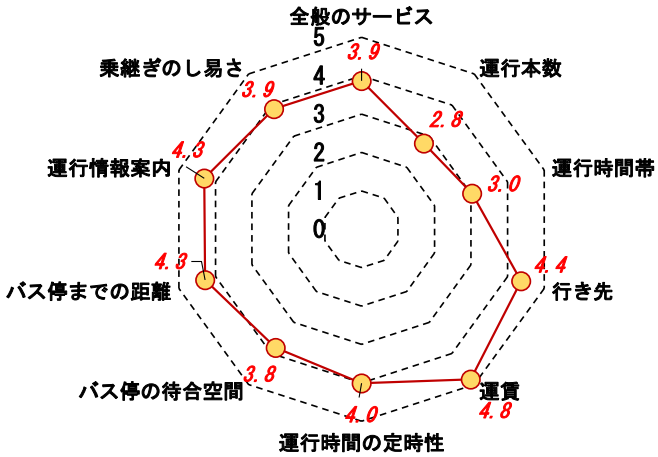
【ひまわり号】



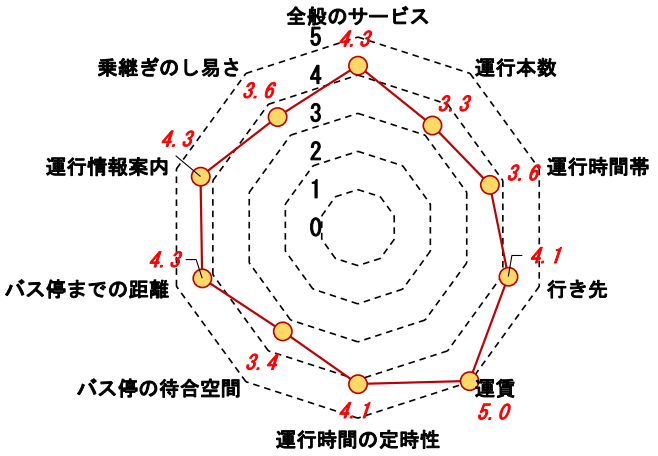
【グライダー号・ムサシトミヨ号】



【ほたる号】



【直実号】

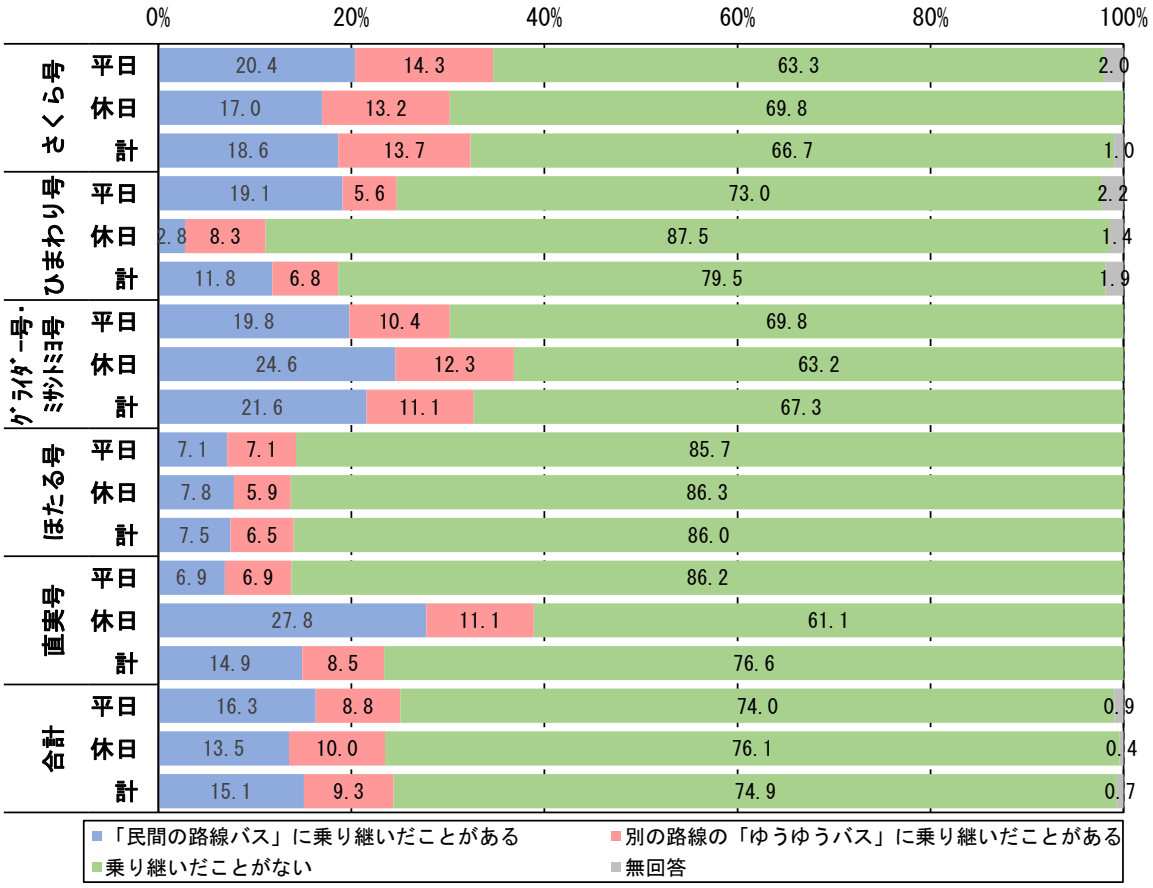


（４）乗り継ぎの有無と運行サービスが向上する場合の乗り継ぎ可能性

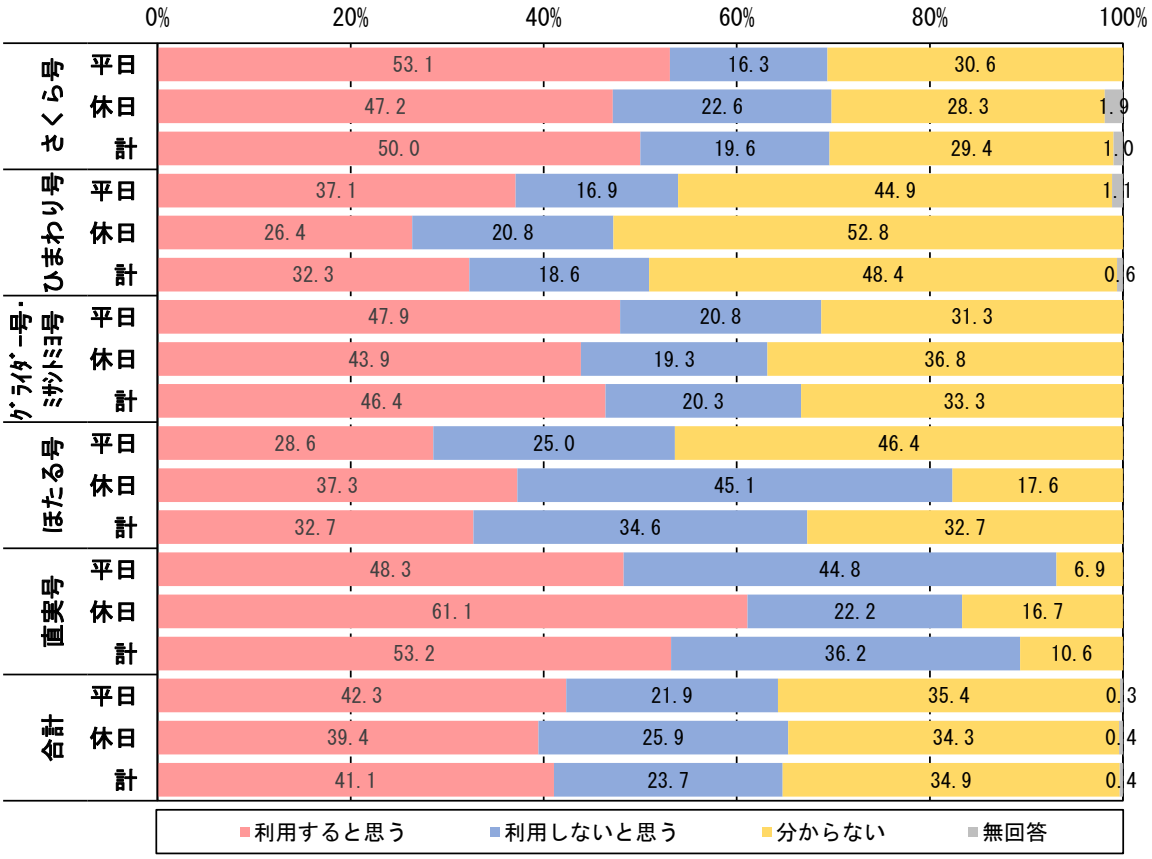
ゆうゆうバスから他のバスへの乗り継ぎ有無については、「乗り継いだことがない」と回答した方が 74.9%と多く、乗り継いだことがあると回答した方は 24.4%となっており、系統別に見ると、乗り継いだことがあると回答した方はグライダー号・ムサシトミヨ号で 32.7%、さくら号で 32.3%と多くなっている。

仮に運行サービスが向上する場合の乗り継ぎ可能性については、「利用すると思う」と回答した方が 41.1%と多く、系統別に見ると、直実号が 53.2%、さくら号が 50.0%と多くなっている。

■ゆうゆうバスから他のバスへの乗り継ぎ有無



■仮に運行サービスが向上する場合の乗り継ぎ可能性

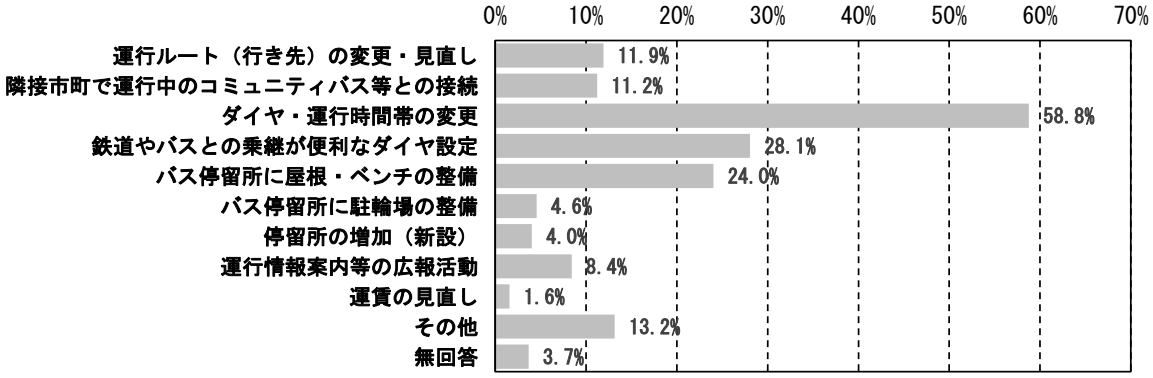


（５）ゆうゆうバスの利用をより一層高めるために必要なサービスと支払い運賃可能額

ゆうゆうバスの利用をより一層高めるために必要なサービスについては、「ダイヤ・運行時間帯の変更（58.8%）」が顕著に多く、次に「鉄道やバスとの乗継が便利なダイヤ設定（28.1%）」、「バス停留所に屋根・ベンチの整備（24.0%）」の順で多くなっている。

サービスが向上した場合の支払い可能な運賃については、現行と同様に「100 円」と回答した方が 46.7%と最も多く、次に「200 円（26.7%）」となっている。

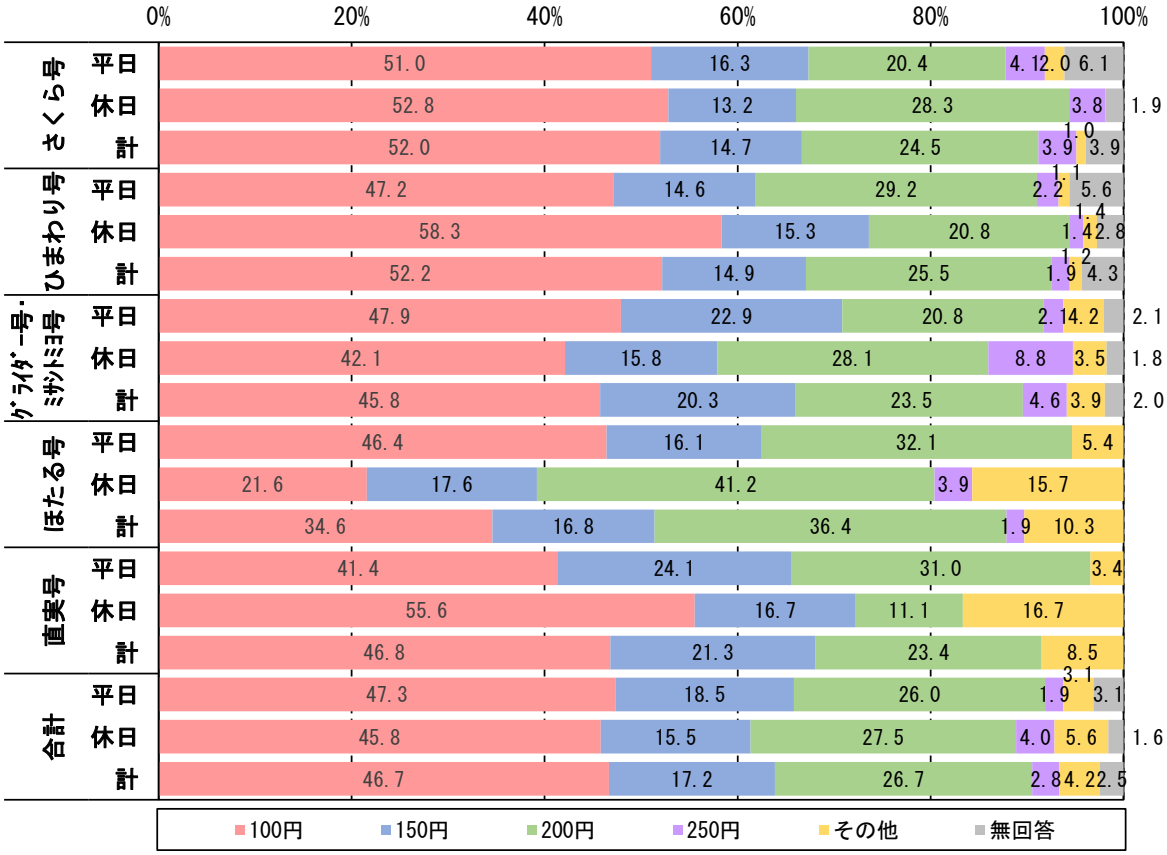
■ゆうゆうバスの利用をより一層高めるために必要なサービス【ゆうゆうバス全体】



※希望する経由地・市外：東松山市（駅）11 件、吹上駅６件、深谷駅２件

その他：運行本数の増便 25 件、今のままで良い８件、IC カードの導入５件

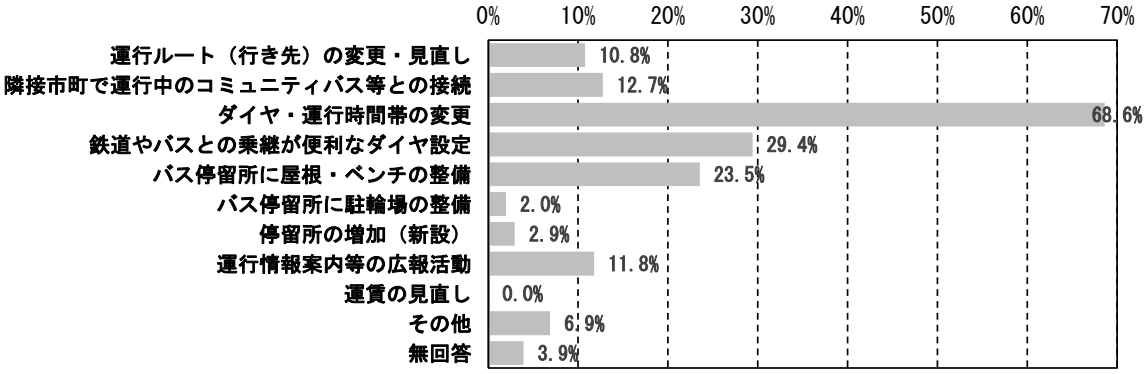
■サービスが向上した場合の支払い可能な運賃



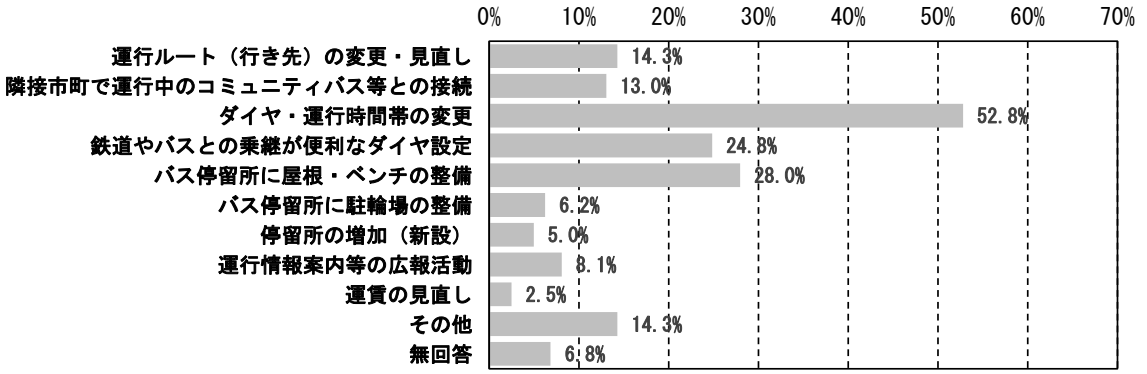
その他：「ゆうゆうバス 70」所持者のため関係ない８件、300 円５件

■系統別・ゆうゆうバスの利用をより一層高めるために必要なサービス

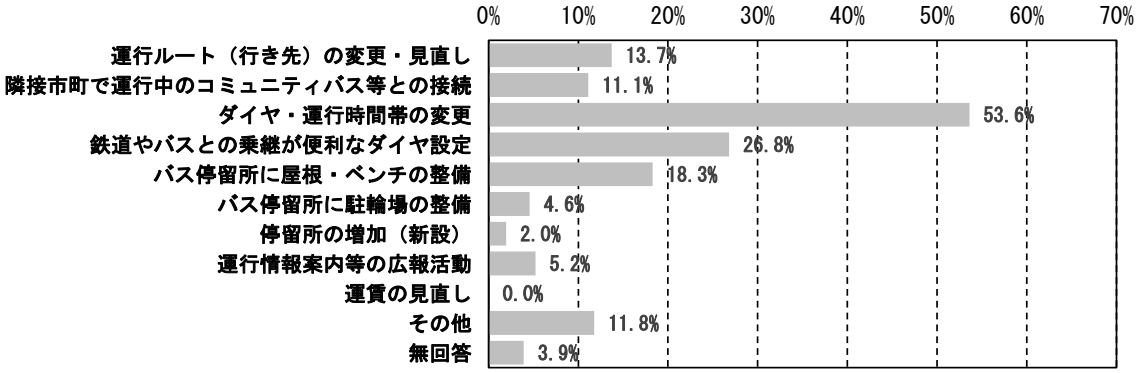
【さくら号】



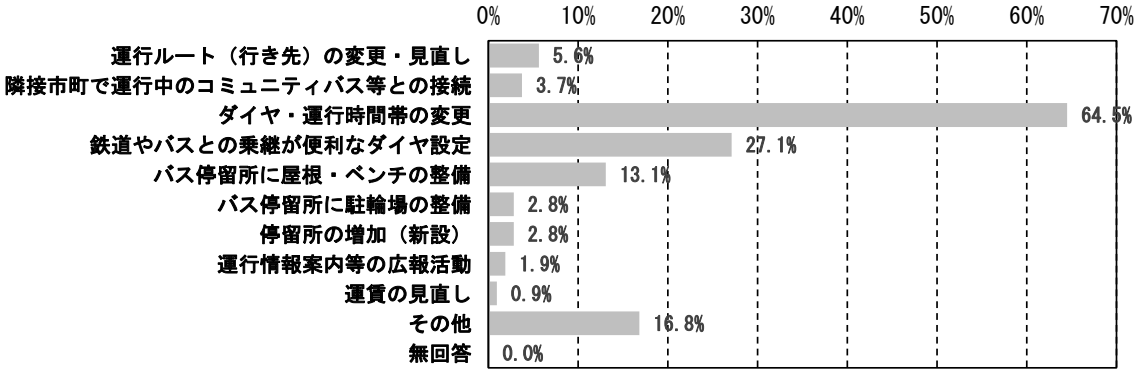
【ひまわり号】



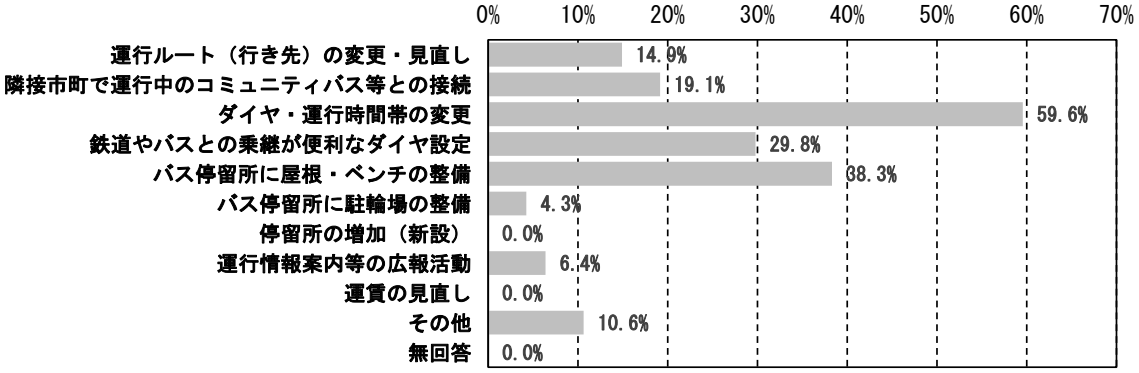
【グライダー号・ムサシトミヨ号】



【ほたる号】



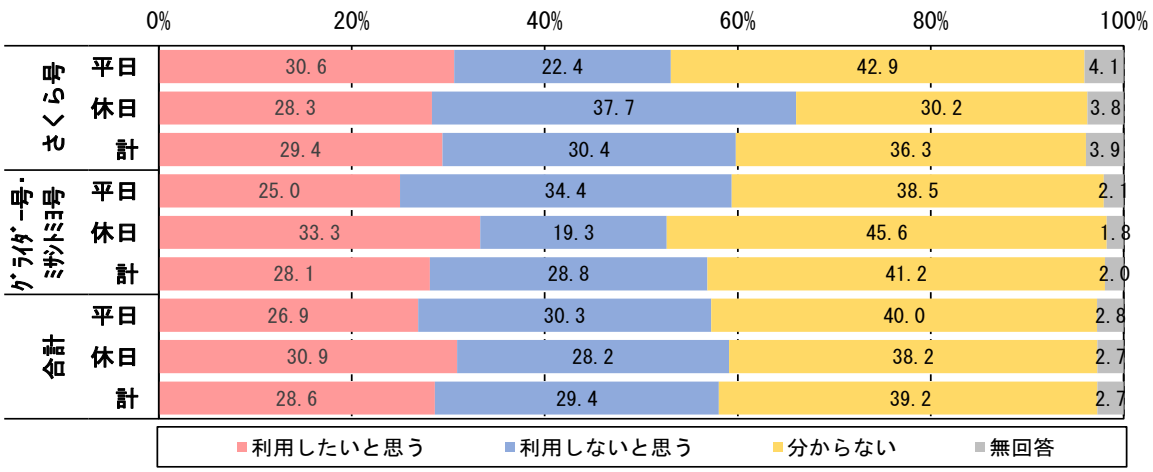
【直実号】



（６）秩父鉄道新駅まで延伸した場合の利用意向（さくら号、グライダー号・ムサシトミヨ号）

秩父鉄道新駅まで延伸した場合の利用意向は、「利用したいと思う」と回答した方が 28.6%、「利用しないと思う」と回答した方が 29.4%と同程度となっている。

■秩父鉄道新駅まで延伸した場合の利用意向



２－３　秩父鉄道新駅の利用に関するアンケート調査

秩父鉄道新駅の利用に関するアンケート調査は、秩父鉄道新駅の利用可能性や意向、市内の公共交通の利用状況等を把握し、秩父鉄道の新駅に対する利用可能性や利便性向上を検討するに当たっての基礎資料として活用するために実施した。

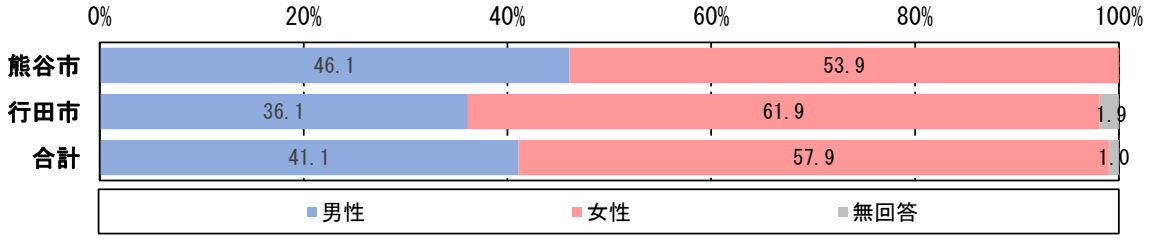
調査対象者	住民基本台帳から無作為抽出した新駅予定地の周辺地域の 15 歳以上の 600 人（熊谷市 300 人、行田市 300 人）
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査日	平成 27 年 10 月 16 日（金）～平成 27 年 10 月 30 日（金）
調査項目	①回答者の属性（性別、年齢、職種、居住地、運転免許証の有無、自由に使える自動車などの保有状況、鉄道を利用する場合の主な鉄道駅、駅までの交通手段） ②秩父鉄道新駅の利用可能性や意向（新駅の利用目的、自宅から新駅までの交通手段、降車または乗換駅、利用頻度、乗車券の種類、駅前広場及び周辺に必要と思う施設） ③市内の公共交通の利用状況（公共交通の利用有無、利用する公共交通の種類、利用目的、利用頻度、公共交通を利用しない理由）
回収状況	回収票数 309 票（回収率 51.5%）　※熊谷市：154 票、行田市：155 票

（１）回答者の属性

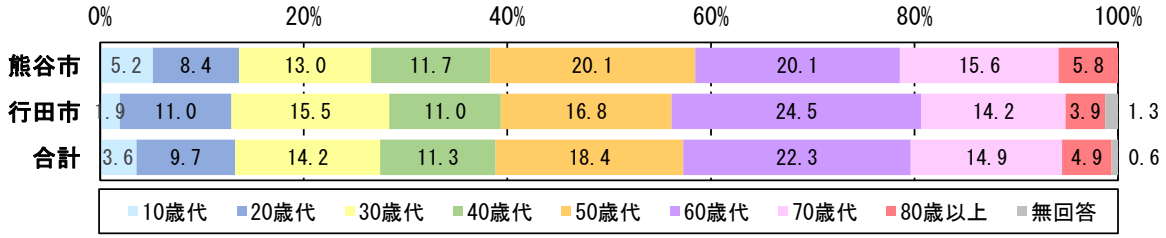
性別については、「女性」の回答者が 57.9%と男性よりも多く、年齢は、「60 歳代（22.3%）」が最も多く、次いで「50 歳代（18.4%）」、「70 歳代（14.9%）」となっている。

回答者の職種は、「会社員・公務員（32.0%）」が最も多くなっている。

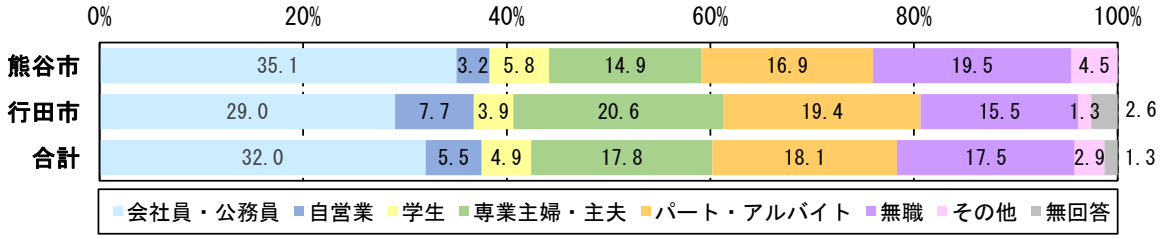
■性別



■年齢



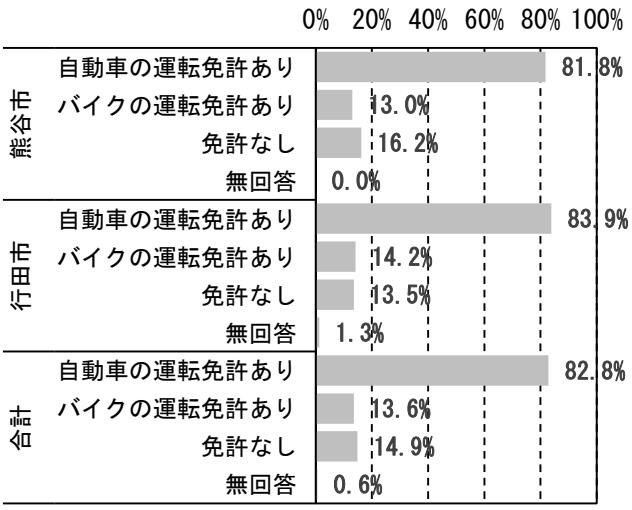
■職種



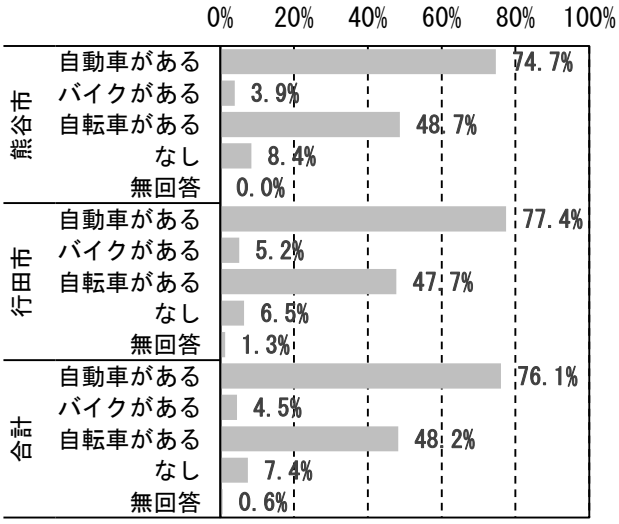
運転免許証の有無をみると、回答者の約 80%の人が自動車運転免許もしくはバイク運転免許を保有しており、回答者の約 14.9%の人はいずれの免許も保有していない。自動車などの保有状況をみると、自動車もしくはバイク、自転車のいずれも保有していない人は全回答者の 7.4%となっている。

鉄道を利用する場合の主な鉄道駅は、熊谷市が「熊谷駅（77.9%）」、行田市が「行田駅（54.2%）」が多く、駅までの主な交通手段として、合計で 39.9%の人が「自家用車を運転」と回答している。

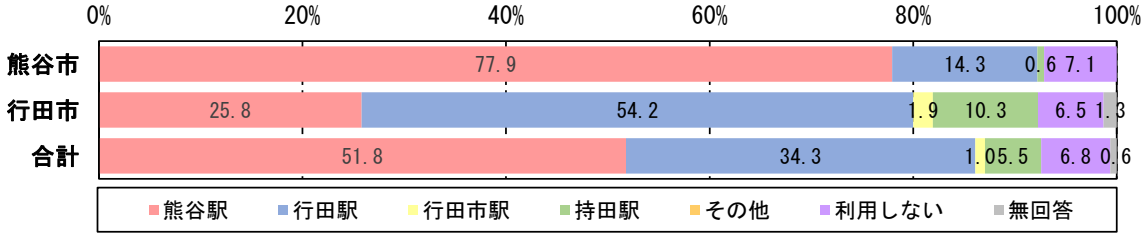
■運転免許証の有無



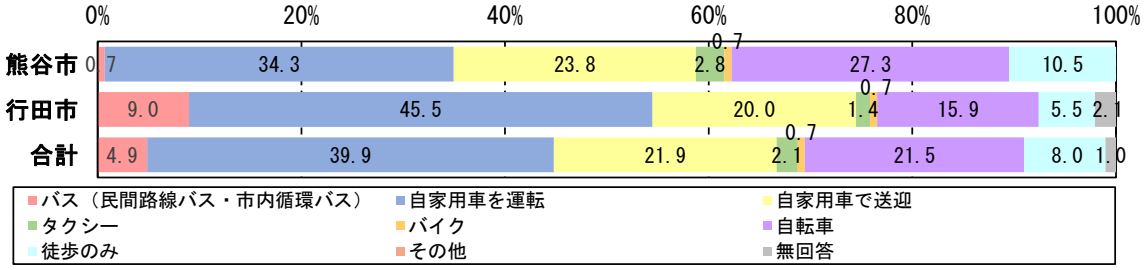
■自由に使える自動車等の所有状況



■鉄道を利用する場合の主な鉄道駅



■鉄道駅までの主な利用交通手段



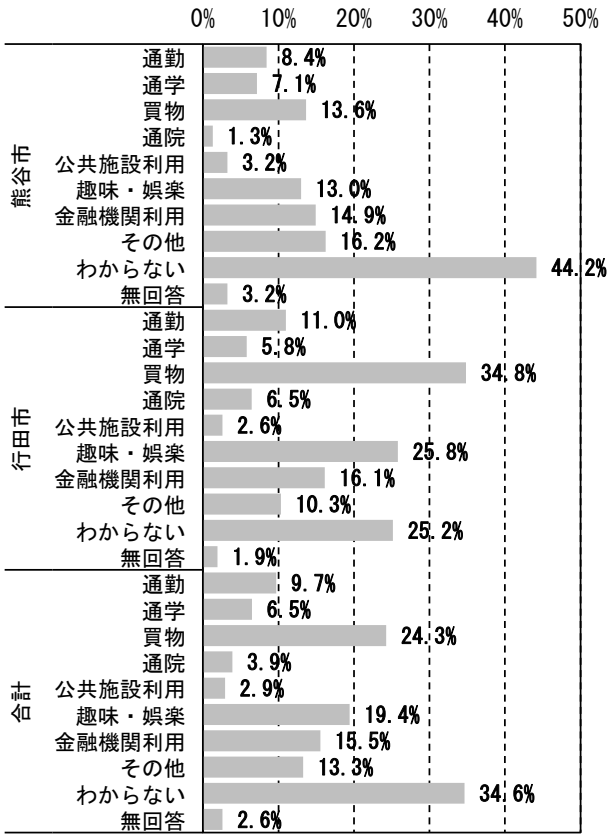
（２）秩父鉄道新駅の利用可能性や意向

新駅の利用目的については、「わからない」を除くと「買物（24.3%）」、「趣味・娯楽（19.4%）」及び「金融機関利用（15.5%）」目的での利用が多く、通勤・通学における現在の利用交通手段は、「JR 高崎線（50.0%）」、「自家用車を運転（40.5%）」及び「自転車（31.0%」が多くなっている。

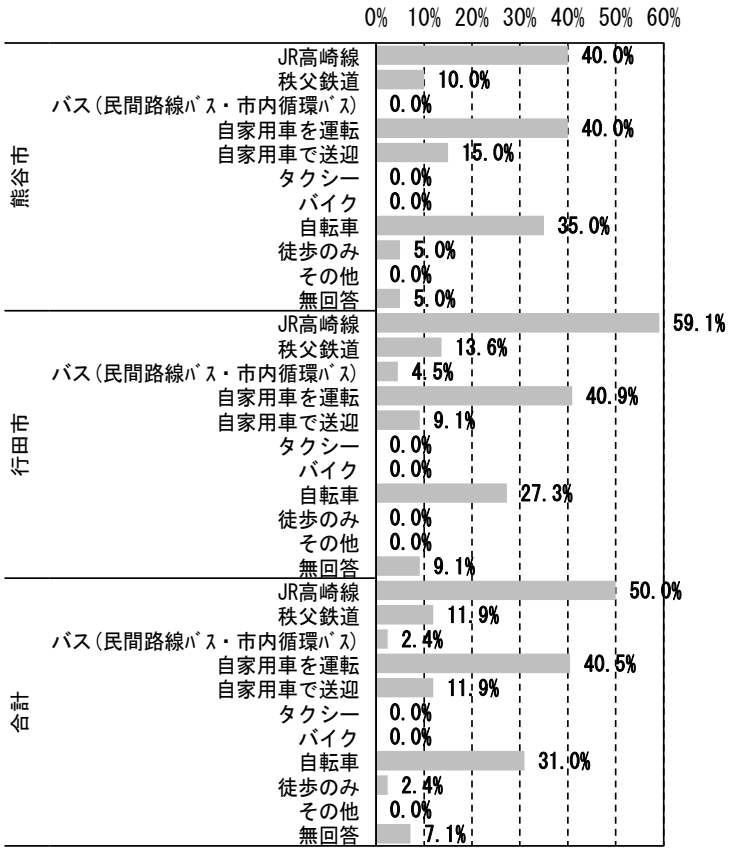
自宅から新駅までの利用交通手段については、「自転車」と回答した方が 37.9%と最も多く、次いで「徒歩のみ（20.1%）」となっている。

新駅乗車後に降車駅または乗換駅は、「熊谷駅」と回答した方が 61.5%と最も多くなっている。

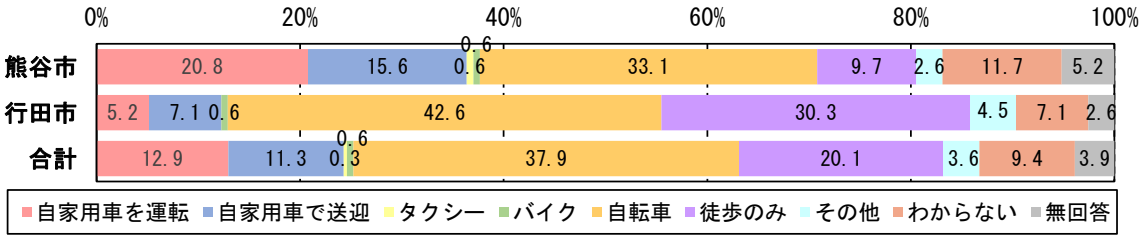
■新駅の利用目的



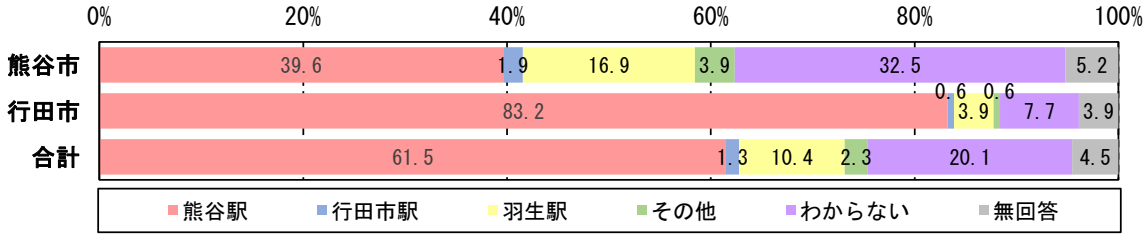
■通勤・通学時の現在の利用交通手段



■自宅から新駅までの利用交通手段



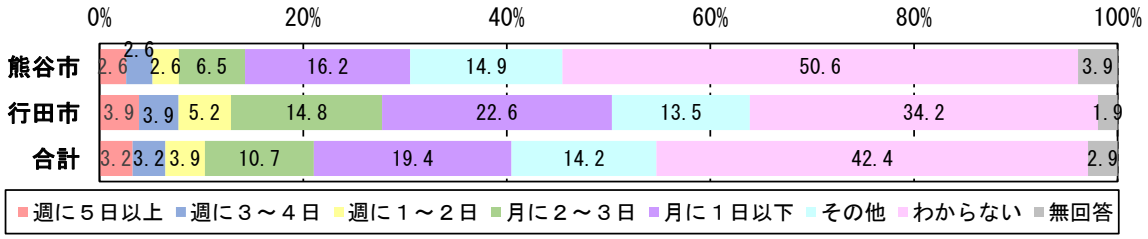
■新駅乗車後、降車駅又は乗換駅



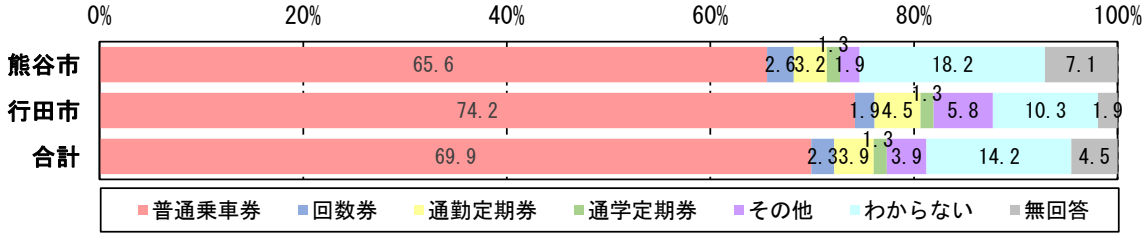
新駅の利用頻度は、「わからない」を除くと、「月に１日以下（19.4%）」が、乗車券の種類は、「普通乗車券（69.9%）」が最も多くなっている。

駅前広場及び周辺に必要と思う施設は、「駐輪場（50.8%）」、「駐車場（32.7%）」及び「送迎車スペース（32.4%）」の順で多い。

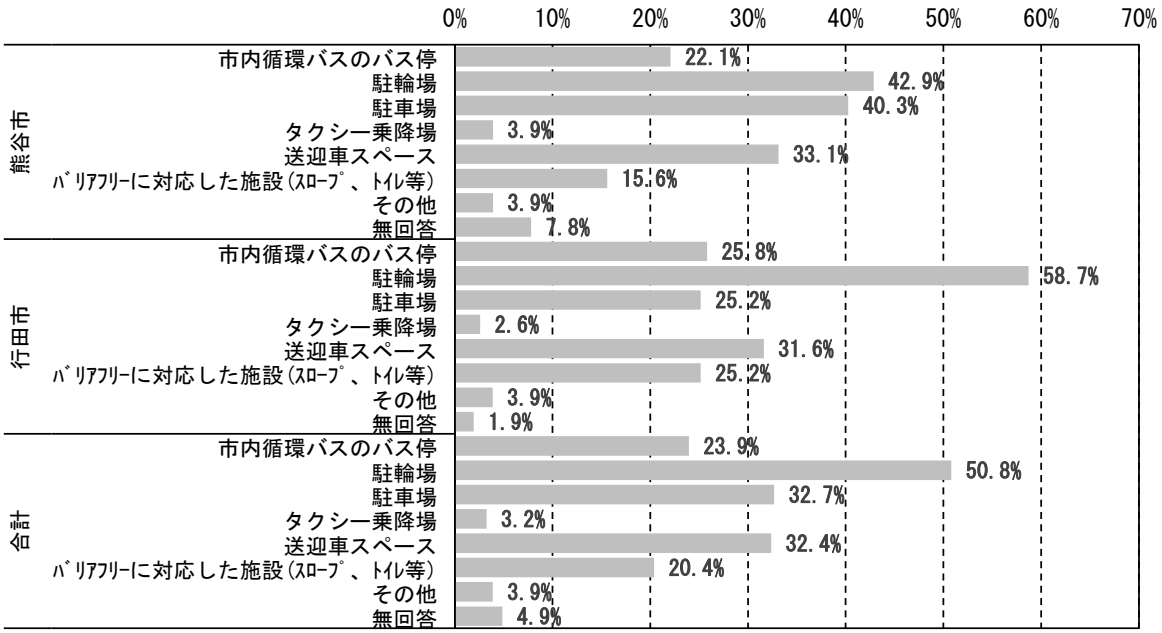
■新駅の利用頻度



■利用すると思う乗車券の種類



■駅前広場及び周辺に必要と思う施設

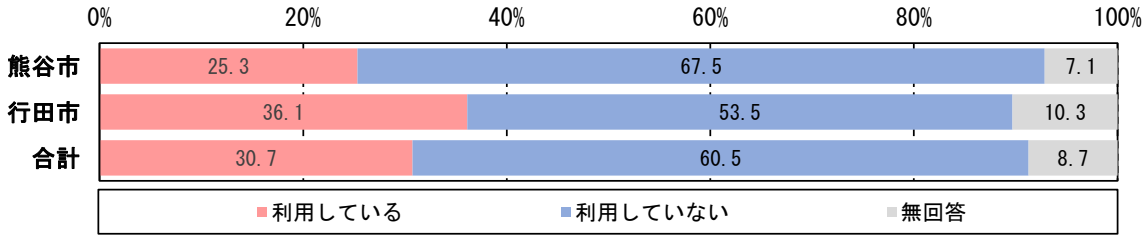


（３）市内の公共交通の利用状況

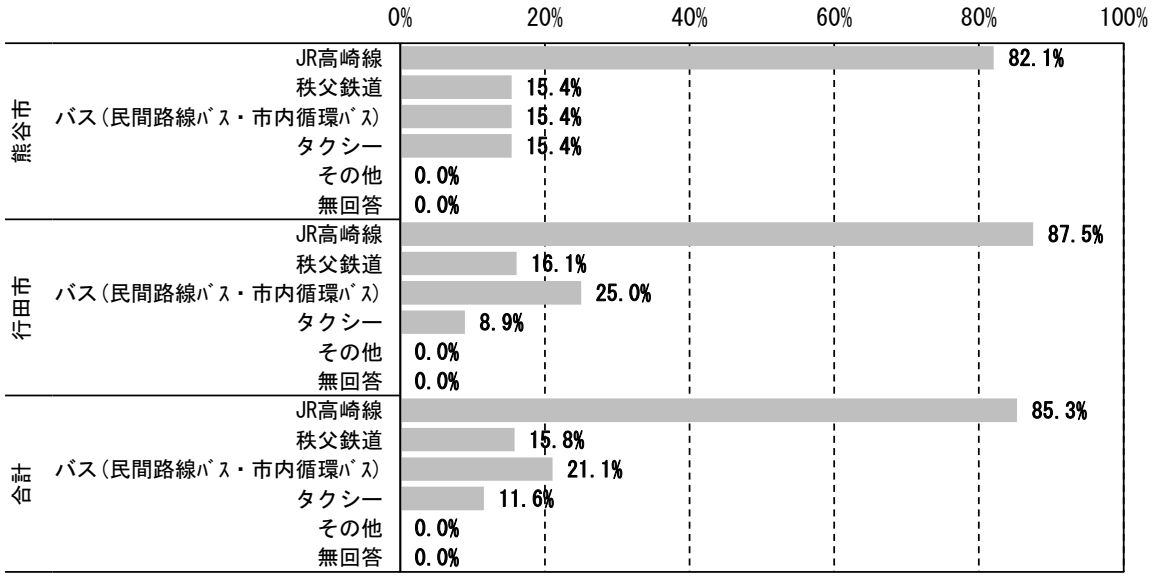
公共交通の利用有無については、「利用している」と回答した方が 30.7%で、公共交通の種類は熊谷市、行田市ともに「JR 高崎線」と回答した方が８割を超え多くなっている。

公共交通の利用目的は、熊谷市、行田市ともに「趣味・娯楽」、「買物」及び「通勤」の順で多くなっている。

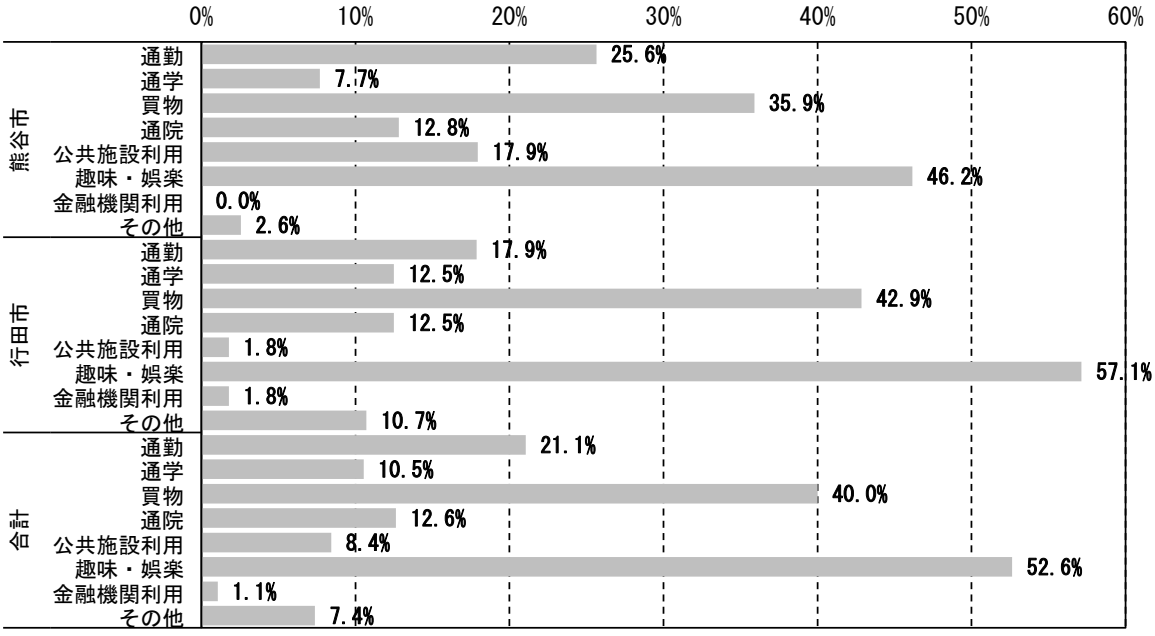
■公共交通の利用有無



■公共交通の種類



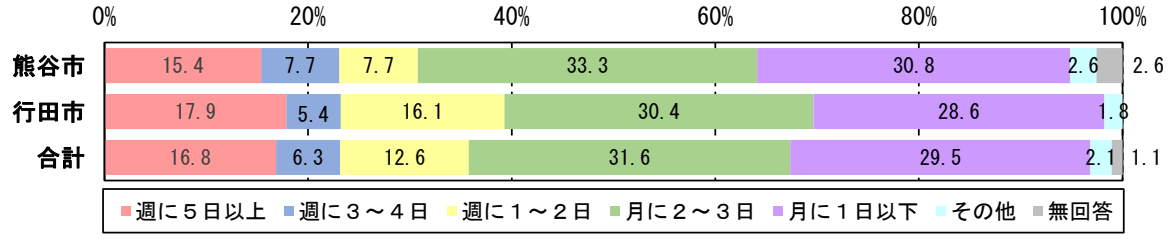
■利用目的



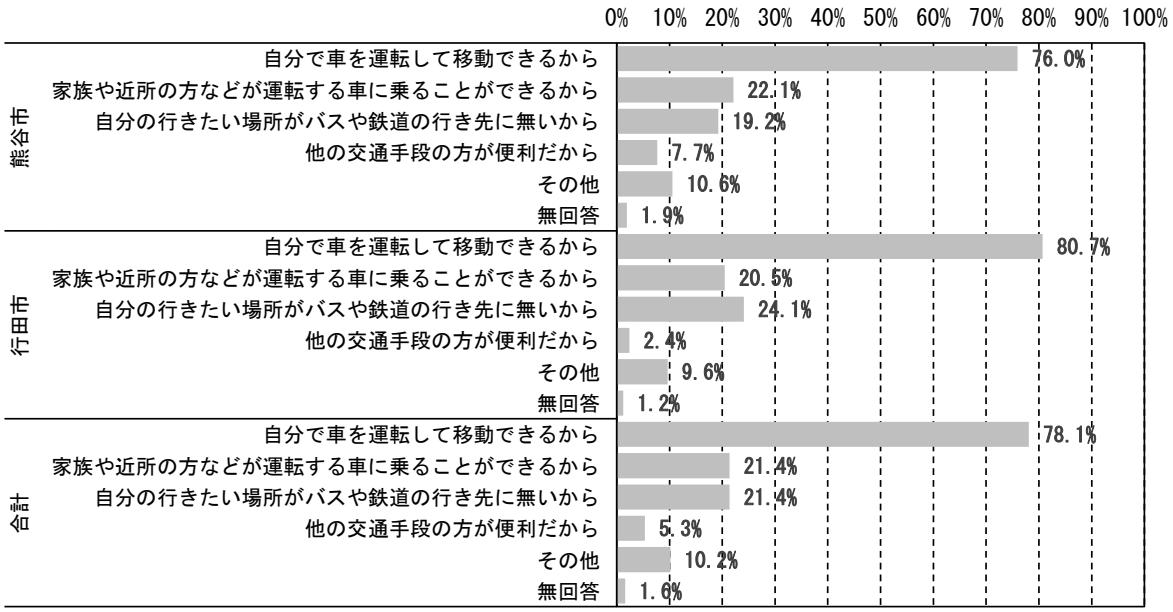
利用頻度は利用目的を反映して、「月に２～３日」、「月に１日以下」が多くなっている。

公共交通を利用しない理由については、熊谷市、行田市ともに「自分で車を運転して移動できるから」が最も多くなっている。

■利用頻度



■公共交通を利用しない理由



３　本市を取り巻く社会的要因の検証

３－１　公共交通を取り巻く課題の整理

人口減少及び少子高齢化社会等の社会的要因並びに現況調査及びアンケート結果を踏まえた公共交通等に関する課題を整理する。

【熊谷市内の公共交通に関する現況】

①人口特性

○熊谷市の総人口は平成 12 年頃をピークに微減傾向で、最新の国勢調査である平成 22 年時点では 203,180 人となっている。その一方で、世帯数は年々増加傾向にあるため、１世帯当り人員は減少傾向で核家族化が進行している。

○65 歳以上の高齢化率は平成 22 年に 21.8%と増加傾向にあり、老年人口は 20 年間で 2.04 倍と大幅に増加し、日常生活の足の確保の重要性が高まっている。

②既存公共交通の現状

○民間路線バスは熊谷駅を起点に 29 系統が運行されているが、これまで利用者数の減少等により路線が廃止されている。

○ゆうゆうバスは民間路線バスを補完しつつ、移動制約者や来訪者の足を確保するため、６系統が運行中である。総利用者数は既存ゆうゆうバス（４系統）の再編や、ほたると直実号の運行開始により年々微増傾向となっている。

○県内隣接市町では４市２町でコミュニティバスが運行しており、より広域的な視点により公共交通の利便性向上が必要である。

③連携計画における施策の達成状況

○平成 22 年度に策定した「熊谷市地域公共交通総合連携計画」で掲げられた７つの事業については、これまで全てスケジュール通り実施されている。

④上位計画での公共交通に関する位置付け及び関連計画との整合性

○上位計画として「熊谷市総合振興計画　後期基本計画（平成 25 年３月）」の中で、公共交通については駅舎や車両のバリアフリー化の推進、公共交通相互の連携や停留所の増設等運行方法の見直しが位置付けられている。

○関連計画として、「熊谷市環境基本計画（平成 20 年３月）、「熊谷市地球温暖化対策地域推進計画（平成 21 年３月）」、及び「熊谷市都市環境改善基本計画（平成 22 年 10 月）」の中でも、公共交通機関の利用促進やゆうゆうバスや民間路線バスの利便性の向上の検討などが位置付けられている。

【地域住民のニーズ】

《熊谷市公共交通に関する市民アンケート調査》

○外出する時に困ることの有無は「困ることがよくある（7.1%）」、「困ることがたまにある（26.4%）」を合わせると、約 34%の方が困っているとの回答があり、困っている時の外出目的は趣味・娯楽、買物及び通院で多い。

○民間路線バスは全体的に平均的な評価で、ゆうゆうバスは運賃と運行時刻の定時性で高い評価を得ているものの、運行本数、運行時間帯、乗継ぎのし易さ等で低い。

○公共交通の利用意向として、バス等を利用して行きたい場所は熊谷駅及び周辺、八木橋・イオン周辺、スポーツ施設・公園、文化施設及び市内病院の順で多い。その利用目的としては買物、趣味・娯楽及び公共施設利用が多く、利用時間帯は利用目的を反映して午前（９～11 時台）と午後（12～15 時台）が多い。

○公共交通の取組みの方向性としては、「公共交通を現状よりも充実させて、利用促進を図るべきだ（29.7%）」が、公共交通を維持・充実していくための方法としては、「行政（熊谷市等）の税金に加えて、住民、企業等が協力し合って公共交通を維持・充実していくべきだ（33.6%）」が最も多い。

○公共交通の利用促進を図るための効果的な取組みは、「公共交通マップの作成・配布（46.1%）」、「観光施設や商業施設等と連携した公共交通割引チケット等の発行（25.5%）」、「パソコン・スマートフォン等への時刻表、乗継情報等の提供（25.2%）」の順で多い。

《ゆうゆうバス利用者アンケート調査》

○ゆうゆうバスの利用目的は、平日が各系統により異なり、休日が買物目的での利用が多い。

○運行サービスに対する満足度としては、運賃、行き先、運行情報案内及びバス停までの距離で高い評価を得ているものの、運行本数で低い。

○ゆうゆうバスから他のバスへの乗継は、24.4%の方が乗り継いだことがあると回答。また、仮に運行サービスが向上する場合の乗継ぎ可能性は 41.1%の方が利用すると回答。

○ゆうゆうバスの利用をより一層高めるために必要なサービスは、ダイヤ・運行時間帯の変更（58.8%）が顕著に多く、次に鉄道やバスとの乗継が便利なダイヤ設定（28.1%）、バス停留所に屋根・ベンチの整備（24.0%）の順で多い。

○サービスが向上した場合の支払い可能な運賃は、現行と同様に 100 円（46.7%）が多い。

○秩父鉄道新駅までゆうゆうバスが延伸した場合の利用意向は、28.6%の方が利用したいと回答（さくら号、グライダー号・ムサシトミヨ号）。

《秩父鉄道新駅アンケート調査》

○新駅の利用目的は、買物、趣味・娯楽及び金融機関利用が多く、利用頻度は利用目的を反映して月に１日以下が、乗車券の種類は普通乗車券が多い。

○自宅から新駅までの交通手段は、自転車、徒歩のみが多い。

○駅前広場及び周辺に必要と思う施設は、「駐輪場（50.8%）」、「駐車場（32.7%）」及び「送迎車スペース（32.4%）」の順で多い。

○公共交通の利用有無は、30.7%の方が利用しているとの回答があり、その種類は JR 高崎線が多い。

○公共交通の利用目的は、趣味・娯楽、買物及び通勤目的での利用が多く、利用頻度は利用目的を反映して月に２～３日、月に１日以下と低頻度が多い。

【社会的要因】

○人口減少及び少子高齢化社会の進展

○秩父鉄道新駅設置

○ラグビーワールドカップ 2019 の開催

○地球環境問題への対応及び交通事故発生件数の抑制

【公共交通を取り巻く課題】

①まちづくりと一体となった地域公共交通の再編・見直し

②秩父鉄道新駅や広域的な交流促進等を踏まえた既存ゆうゆうバス（６系統）の運行ルート・サービス水準の見直し改善

③公共交通機関相互の連携強化（新駅等）

④ラグビーワールドカップ 2019 に向けた観客輸送計画やまちづくりとの連携方策の強化

⑤市民（地域）・交通事業者・行政との役割分担による持続可能な仕組みづくり

（1）社会的要因

①人口減少及び少子高齢化社会の進展

熊谷市の総人口は、最新の国勢調査である平成 22 年時点で 203,180 人と、平成 12 年頃をピークに微減傾向となっている。一方で、年齢３区分別人口は実数及び構成比ともに年少人口（０～14 歳）と生産年齢人口（15～64 歳）が減少し、老年人口（65 歳以上）が増加している。

人口減少や少子高齢化社会の進展により、生産年齢人口（通勤・通学需要）の減少による公共交通サービスの縮小やサービス低下、高齢者数の増加による買物、通院及び公共施設利用など移動ニーズの多様化などが懸念される。

このため、公共交通は、従来の移動手段の確保という役割だけでなく、高齢者の外出機会の増加の増加によるまちの賑わいの創出や健康増進、観光客など来訪者の交流の活性化など多様な目的を達成し、まちづくりと一体となった公共交通の再編が求められている。

②秩父鉄道新駅設置

熊谷市と行田市の行政界周辺（熊谷市佐谷田地内）では、平成 29 年３月に秩父鉄道新駅が開業する予定であり、熊谷・行田の両市民による交通行動の変化や市外（行田市）からの広域的な交流促進が想定される。

このため、新駅設置に伴い、ゆうゆうバス（グライダー号・ムサシトミヨ号、さくら号）の再編や、行田市で運行中の市内循環バスのルート変更や接続可能性などについて検討し、「小さな拠点」として公共交通ネットワークの再編が求められている。

③ラグビーワールドカップ 2019 の開催

ラグビーワールドカップ 2019 では、県営熊谷ラグビー場が２万４千席に改修され、多くの観客が熊谷市を来訪することが想定されるため、開催期間中に円滑に来場及び帰宅できるよう、観客輸送業務に取組むことが必要である。

さらに、大会期間中に留まらず、その後の利用も見据えたまちづくりにも寄与する継続的な交通手段の確保を念頭に検討することが求められている。

④地球環境問題への対応及び交通事故発生件数の抑制

「熊谷市環境基本計画（改訂版）（平成 26 年３月）」、「熊谷市地球温暖化対策地域推進計画（平成 21 年３月）」、及び「熊谷市都市環境改善基本計画（平成 22 年 10 月）」の中で、自家用車への過度な依存を改善し、公共交通機関へ利用を促進することにより、二酸化炭素の排出削減を進めるなど地球環境問題への対応が求められている。

さらに、近年高齢者の交通事故件数が増加傾向にあり、自動車から公共交通機関への転換による発生件数の抑制が求められている。

（２）公共交通を取り巻く課題

①まちづくりと一体となった地域公共交通の再編・見直し

熊谷市には、国宝・歓喜院聖天堂など豊富な文化財や、国内有数の規模を有するスポーツ施設、熊谷ブランドである「あついぞ！熊谷」など多様な資源・ブランドを有している。

地域公共交通は、地域活性化のために不可欠な社会インフラとして位置付けられるため、これら観光資源や商業活性化などまちづくりと一体となって、回遊性・快適性を支援するよう地域公共交通の再編・見直しが必要である。

②秩父鉄道新駅や広域的な交流促進等を踏まえた既存ゆうゆうバス（６系統）の運行ルート・サービス水準の見直し改善

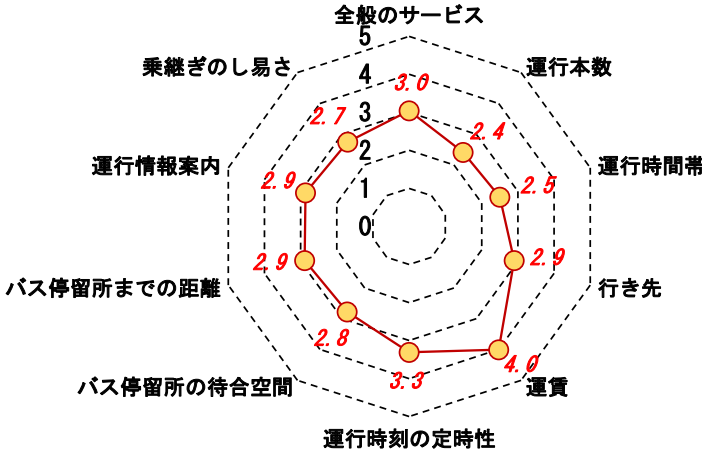
ゆうゆうバスの総利用者数は、年々微増傾向であるが、系統別にみると、伸び率（H26/H24）がグライダー号で 0.90 倍、ムサシトミヨ号で 0.93 倍と減少し、１便当り平均利用者数は運行ルートや時間帯により偏りが見受けられるものの、直実号で 4.0 人/便と少なくなっている。

ゆうゆうバスの運行サービスに満足度をみると、市民アンケート調査、ゆうゆうバス利用者アンケート調査ともに「運賃」で高い評価を得ているものの、市民アンケート調査では全体的に低くなっている。さらに、ゆうゆうバスの利用をより一層高めるために必要なサービスでも「ダイヤ・運行時間帯の変更」と回答した方が 58.8%と顕著に多くなっている。

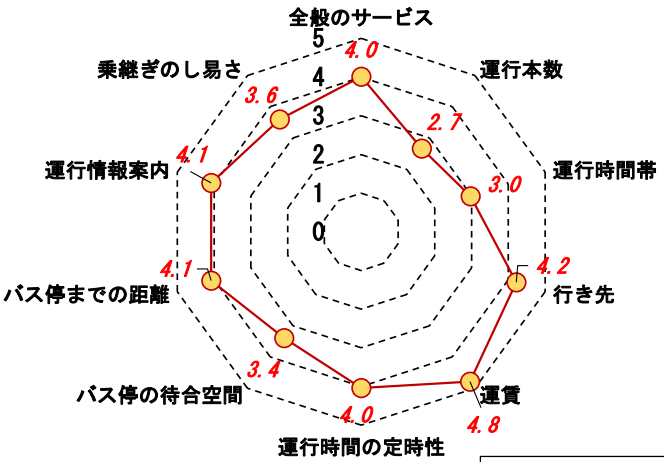
このため、既存ゆうゆうバス（６系統）については、利用状況や市民ニーズ等を考慮しつつ、秩父鉄道新駅や周辺市町と連携した広域的な交流促進等を踏まえた運行ルート・サービス水準の見直しを行うことが必要である。

■ゆうゆうバスの運行サービスに対する満足度

【市民アンケート調査】

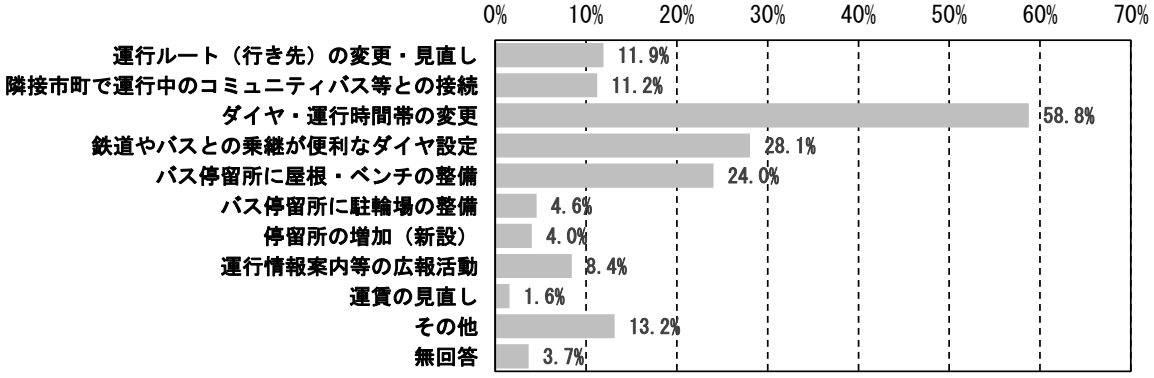


【ゆうゆうバス利用者アンケート調査】



満足：５
やや満足：４
どちらでもない：３
やや不満：２
不満：１

■ゆうゆうバスの利用をより一層高めるために必要なサービス【ゆうゆうバス利用者アンケート調査】



③公共交通機関相互の連携強化（新駅等）

熊谷市の公共交通は鉄道、民間路線バス、ゆうゆうバス及びタクシーといった多様な交通手段があるが、市民アンケート調査やゆうゆうバス利用者アンケート調査によると、必要なサービスとして「鉄道やバス、バス同士との乗り継ぎ時間の短縮や運賃割引の導入」、「鉄道やバスとの乗継が便利なダイヤ設定」に対する回答が２割程度を占めている。

このため、これら公共交通機関を総合的に捉え、公共交通機関相互が連携し、機能を最大限に発揮する上でも、秩父鉄道新駅などの交通結節点の整備や、運行ダイヤの接続などにより、利便性の高い公共交通ネットワークを確保することが必要である。

④ラグビーワールドカップ 2019 に向けた観客輸送計画やまちづくりとの連携方策の強化

ラグビーワールドカップ 2019 では、スポーツの街としての認知度向上による観光訪問者の増加や外国人訪問者の増加による国際交流の促進などに寄与し、さらには中心市街地などの賑わいなどにも波及することが期待されるため、ラグビーワールドカップ 2019 を契機にした、観光振興などまちづくりと連携した方策について検討することが必要である。

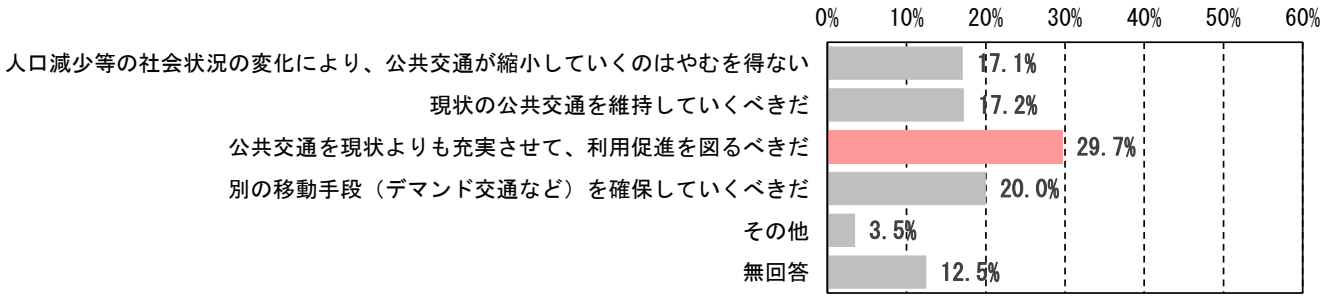
⑤市民（地域）・交通事業者・行政との役割分担による持続可能な仕組みづくり

ゆうゆうバス６系統は利用者の運賃だけで採算が取れないことから、熊谷市がバス事業者に対し運行経費（利用者１人当り約 410 円）を補助し運行の維持を図っているが、市民アンケート調査によると、公共交通の取組みの方向性としては「公共交通を現状よりも充実させて、利用促進を図るべきだ」との回答が 29.7%と最も多くなっている。

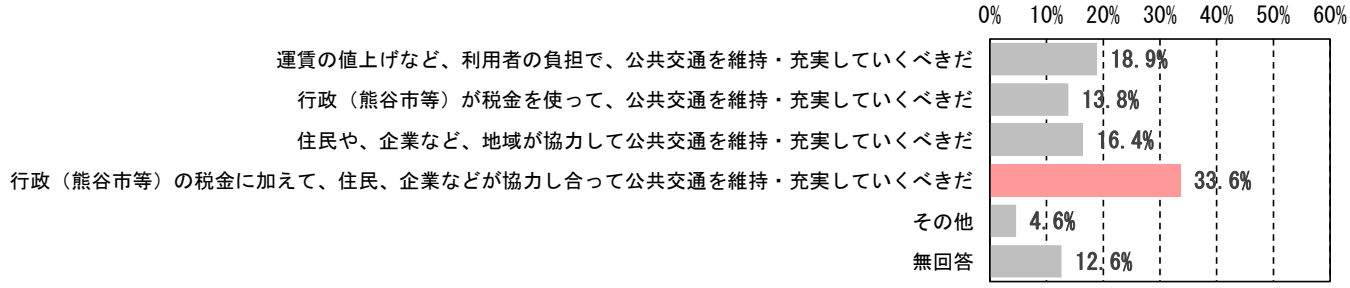
また、公共交通を維持・充実していくための方法としては「行政（熊谷市等）の税金に加えて、住民、企業などが協力し合って公共交通を維持・充実していくべきだ」との回答が 33.6%と最も多くなっている。

公共交通を維持・確保していくためには、交通事業者の自助努力や、市の支援に加え、市民（地域）が自分達の地域の移動手段の維持に対して負担の責務を負う意識が必要で、市民（地域）、交通事業者、行政との役割分担による持続可能な仕組みについて考えていくことが必要である。

■公共交通の取組みの方向性【市民アンケート調査】



■公共交通を維持・充実していくための方法【市民アンケート調査】



３－２　新たな交通結節点の必要性の検証

「熊谷市地域公共交通総合連携計画（平成 23 年３月）」で乗継拠点として熊谷駅と籠原駅が、乗継ポイントとして聖天山が位置付けられている。

新たな交通結節点として、公共交通に関する現状や地域住民のニーズなどを踏まえ、乗継拠点として秩父鉄道新駅を、乗継ポイントとして熊谷スポーツ文化公園、江南行政センター（コンビニ）を追加する。

これら乗継拠点・乗継ポイントについては、乗り継ぎが効率的にできるよう、乗継が便利なダイヤ設定や、屋根・ベンチの整備、スポーツ・観光施設との連携（公共交通割引チケット等）等について検討することが必要である。

【熊谷市内の公共交通に関する現況】

①既存公共交通の現状

○ゆうゆうバスの総利用者数は年々微増傾向であるが、系統別にみると、伸び率（H26/H24）はグライダー号で 0.90 倍、ムサシトミヨ号で 0.93 倍と減少。

○県内隣接市町では４市２町でコミュニティバスが運行しており、より広域的な視点により公共交通の利便性向上が必要。

②秩父鉄道新駅

○秩父鉄道新駅は平成 29 年３月に開業予定で、国道 125 号を運行していた路線バスの廃止に伴い、熊谷・行田の両市民が利活用できるよう「小さな拠点」として交通ネットワークの再編が必要。

③ラグビーワールドカップ 2019

○ラグビーワールドカップ 2019 では開催期間中の観客輸送業務だけでなく、開催後のまちづくりにも寄与する継続的な交通手段確保を念頭に検討することが必要。

【地域住民のニーズ】

①市民アンケート調査

○ゆうゆうバスの運行サービスに対する満足度として、全体的に評価が低い。

②ゆうゆうバス利用者アンケート調査

○運行サービスに対する満足度は、市民アンケート調査と比較して、全体的に評価が高いものの、運行本数、運行時間帯で低い。

○仮に運行サービスが向上する場合の乗継可能性は、41.1%の方が利用すると回答し、現在乗り継いだことがある方の割合（24.4%）より多い。

○秩父鉄道新駅までゆうゆうバスが延伸した場合の利用意向は、28.6%の方が利用したいと回答。

③秩父鉄道新駅アンケート調査

○駅前広場及び周辺に必要と思う施設として、23.9%の方が市内循環バスのバス停と回答。

【交通結節点（乗継拠点・乗継ポイント）】

	現行	新規追加
乗継拠点	熊谷駅、籠原駅	秩父鉄道新駅
乗継ポイント	聖天山	熊谷スポーツ文化公園、江南行政センター（コンビニ）

３－３　望ましい公共交通網のあり方

熊谷市の公共交通網の方向性は、「熊谷市地域公共交通総合連携計画（平成 23 年３月）」の中で、幹線交通システム（鉄道）、幹線交通システム（バス交通等）、支線交通システム、及び補完交通システムの４段階に機能分類し、公共交通機関相互の連携により、利便性向上と効率的な運行を目指したネットワークが位置付けられている。

このため、連携計画での考え方を踏襲しつつ、前項での新たな交通結節点での必要性を踏まえ、次の考え方により有機的に接続する面的なネットワークの形成を目指す。

①乗継拠点・乗継ポイントとして、新たに「秩父鉄道新駅」、「熊谷スポーツ文化公園」及び「江南行政センター（コンビニ）」を追加し、ゆうゆうバスの再編により、運行の効率性や利便性向上を目指す。
➡グライダー号・ムサシトミヨ号は大きく市域を周回し、１運行当り所要時間が１時間 45 分と長大なため、乗継ポイントと乗継拠点（鉄道駅）を往復する運行ルートに見直す（検討）。
➡グライダー号・ムサシトミヨ号とさくら号は新駅への乗入れを検討する。
②「秩父鉄道新駅」はゆうゆうバス（熊谷市）と市内循環バス（行田市）との連携により、両地域の交流促進を目指す。

■公共交通の機能分担

機能分類		性格	
鉄道	**幹線交通システム**	・都市間や市内を連絡するメインの公共交通軸。	JR 上越・北陸新幹線、JR 高崎線、秩父鉄道本線
バス交通等		・幹線交通システム（バス交通等）とは、乗継拠点（※）を起点に、市内及び周辺市町を連絡する骨格路線として、重要な機能を担う路線。 ・通勤、通学、通院、買物等の多様な目的に対応。	民間路線バス
	支線交通システム	・支線交通システム（バス交通等）とは、幹線交通システム（鉄道、バス交通等）と補完し、市内の移動サービスを支援する路線。 ・地域の実情に合わせて、主として通勤、通学、通院、買物等の多様な目的に対応。	ゆうゆうバス
	補完交通システム	・鉄道、バス交通等（幹線交通システム、支線交通システム）を補完し、高齢者などの移動を支援。	タクシー
乗継拠点・乗継ポイント（※）		・乗継拠点とは、幹線交通システム（鉄道、バス交通等）と支線交通システム、及び補完交通システム（タクシー）等を連絡する鉄道駅と位置付け、待合空間の整備等機能強化を図るべき拠点。 ・乗継ポイントとは民間路線バスとゆうゆうバス相互を連絡するバス停と位置付け、待合空間の整備等機能強化を図るべきポイント。	○乗継拠点：熊谷駅、籠原駅、**秩父鉄道新駅** ○乗継ポイント：聖天山、**熊谷スポーツ文化公園**、**江南行政センター（コンビニ）**

※赤字は連携計画と比較して、新規追加を示す。

■公共交通ネットワークの骨格形成イメージ

